

\*\*\*\*\*  
**会 告 ・ 通 知**  
\*\*\*\*\*

会告欄は本会ホームページからも御覧になれます  
<http://www.ieice.org/jpn/kaikoku/kaikoku-tsuuchi.html>  
(本会ホームページ→左側 MENU 上から3番目会告ページ入る)

————— 平成 25 年 1 月号会告・通知目次 —————

◇第一種研究会開催案内（平成 25 年 1 月 10 日～2 月 1 日）	2
◇第二種研究会開催案内・発表募集案内	41
◇研究専門委員会新設及び名称変更	
・通信サイエティ「知的環境とセンサネットワーク」研究専門委員会新設	44
「短距離無線通信」研究専門委員会新設	44
「モバイルネットワークとアプリケーション」研究専門委員会名称変更	45
◇2013 年総合大会開催案内	46
◇講演会・講習会・学術研究集会等	
・東海支部 平成 24 年度専門講習会「医工・産学官連携による近未来リハビリテーション支援ロボットの 開発動向」	47
・関西支部 電気四学会関西支部専門講習会「超高精細映像技術の最新動向」	47
電気四学会関西支部専門講習会「油入変圧器 保守診断技術の最新動向」	47
電子情報通信学会関西支部第 18 回学生会研究発表講演会	48
・本会が協賛等のもの	48
◇国際会議	49
◇受賞候補者募集等	49
◇求人欄	50
◇国際会議開催案内一覧	50
◇お知らせ	
・シニア会員申請登録は 1 月 31 日が締切です！	52
・平成 25 年度会費お払込みのお願い	52
・登録情報の変更・確認はマイページを御利用下さい	52
・本会のホームページ、メール転送サービスの臨時休業のお知らせ	52
・和文論文誌 C 随時公開開始のお知らせ	52
・平成 25 年 1 月号及び 2 月号和・英論文誌特集・小特集テーマ	52
・平成 25 年度各研究会（第一種）開催予定	53
◇論文特集原稿募集	
・暗号と情報セキュリティ小特集（英文論文誌 A）論文募集	64
・システム数理学と応用小特集（英文論文誌 A）論文募集	64
・通信技術の革新を担う学生論文特集（和文論文誌 B）論文募集	65
・次世代電子機器を支える三次元積層技術と先端実装の設計・評価技術特集（和文論文誌 C）論文募集	66
・大学発マイクロ波論文特集（和文論文誌 C）論文募集	67
・電磁界理論の進展とその応用小特集（英文論文誌 C）論文募集	67
◇論文特集論文募集カレンダー	69
◇IEICE Communications Express (ComEX) 投稿案内	71
◇FIT2013 第 12 回情報科学技術フォーラム論文講演募集予告	72
♣各種証明、閲覧の手数料について	45
♣複写される方へ	68
♣本会発行図書案内	
・[ブレインコミュニケーション——脳と社会の通信手段——]	43
・[Excel で学ぶ組込みシステム要素技術]	63
♣総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開について	51

## 電子情報通信学会各研究会開催通知

第一種研究会                      平成 25 年 1 月 10 日～2 月 1 日

開催プログラムは変更になることがあります。  
最新情報は学会ホームページのイベント日程等で御確認下さい。  
<http://www.ieice.org/event/workshops.php>

### ◎基礎・境界ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告頁
V L S I 設 計 技 術 コ ン ピ ュ ー タ シ ス テ ム リ コ ン フ ィ ギ ャ ラ ブ ル シ ス テ ム	16日(水) 17日(木)	9：10～18：15 9：10～16：05	慶應義塾大学・日吉キャンパス・来往舎	5
情 報 理 論	21日(月)	10：30～17：55	電気通信大学	7
非 線 形 問 題 ニ ュ ー ロ コ ン ピ ュ ー テ ィ ン グ	24日(木) 25日(金)	9：30～18：20 9：30～18：00	北海道大学・百年記念会館	10
シ ス テ ム 数 理 と 応 用	22日(火) 23日(水)	10：45～16：50 9：15～16：35	大阪国際会議場	16
超 音 波 応 用 音 響	24日(木) 25日(金)	10：40～17：20 10：20～15：20	同志社大学・室町キャンパス・寒梅館	19
イ メ ー ジ ・ メ デ ィ ア ・ ク オ リ テ ィ	25日(金)	13：00～16：40	神戸大学・六甲台第2キャンパス・百年記念館	23
信 号 処 理 無 線 通 信 シ ス テ ム	31日(木) 2月1日(金)	9：30～17：30 9：00～16：30	ビュー・ポートくれ	25
回 路 と シ ス テ ム	28日(月) 29日(火)	9：00～17：30 9：00～17：45	別府国際コンベンションセンター	40
1 月休会の研究会；信頼性，情報セキュリティ，ワイドバンドシステム，思考と言語，技術と社会・倫理，安全性，ITS，スマートインフォメディアシステム				

### ◎通信ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告頁
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ク オ リ テ ィ	25日(金)	10：00～17：40	機械振興会館	8
モ バ イ ル マ ル チ メ デ ィ ア 通 信 ア ド ホ ッ ク ネ ッ ト ワ ー ク ユ ビ キ タ ス ・ セ ン サ ネ ッ ト ワ ー ク	24日(木) 25日(金)	9：00～16：50 9：20～17：10	作並温泉ゆづくし Salon 一の坊	12
ソ フ ト ウ ェ ア 無 線	24日(木) 25日(金)	13：15～17：15 9：30～14：55	長野市ものづくり支援センター	14
フ ォ ト ニ ッ ク ネ ッ ト ワ ー ク 電 磁 界 理 論 光 エ レ ク ト ロ ニ ッ ク ス レ ー ザ ・ 量 子 エ レ ク ト ロ ニ ッ ク ス エ レ ク ト ロ ニ ッ ク ス シ ミ ュ レ ー シ ョ ン マ イ ク ロ 波 ・ ミ リ 波 フ ォ ト ニ ッ ク ス	24日(木) 25日(金)	9：00～18：30 9：00～18：30	大阪大学・吹田キャンパス	21
無 線 通 信 シ ス テ ム 信 号 処 理	31日(木) 2月1日(金)	9：30～17：30 9：00～16：30	ビュー・ポートくれ	25
通 信 方 式 光 通 信 シ ス テ ム	24日(木) 25日(金)	13：30～18：00 9：00～14：35	愛媛大学・城北地区	27
光 フ ェ イ バ 応 用 技 術	24日(木) 25日(金)	13：00～17：40 9：00～12：10	アスティとくしま	28
環 境 電 磁 工 学	10日(木) 11日(金)	10：00～17：15 12：55～17：15	長崎大学・文教キャンパス・工学部	29
情 報 通 信 マ ネ ジ メ ン ト ラ イ フ イ ン テ リ ジ ェ ン ス と オ フ ィ ス 情 報 シ ス テ ム	17日(木) 18日(金)	9：30～17：40 9：30～14：30	佐賀市民会館	31
ア ン テ ナ ・ 伝 播	23日(水) 24日(木) 25日(金)	10：10～17：05 9：35～17：15 9：35～17：05	ホテルメリージュ（宮崎市）	32

宇宙・航行エレクトロニクス	24日(木) 25日(金)	10：30～17：15 10：30～16：10	長崎県美術館	33
ネットワークシステム	24日(木) 25日(金)	13：00～18：40 9：25～16：35	熊本大学・黒髪南地区	34
情報ネットワーク	24日(木) 25日(金)	14：30～17：10 10：00～15：50	鹿児島県産業会館	35
電子通信エネルギー技術 電子部品・材料	24日(木) 25日(金)	10：00～18：15 9：00～16：10	阿蘇ファームランド	35
1月休会の研究会；衛星通信，インターネットアーキテクチャ				

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日時		会場	告頁
電子デバイス マイクロ波	17日(木) 18日(金)	14：30～17：15 10：00～15：45	機械振興会館	6
機構デバイス	25日(金)	13：30～17：10	ゆとりうむ日立	8
シリコン材料・デバイス	30日(水)	9：30～17：00	機械振興会館	9
集積回路	31日(木) 2月1日(金)	10：00～17：50 10：00～15：30	早稲田大学・グリーン・コンピューティン グ・システム研究開発センター	10
有機エレクトロニクス	24日(木)	13：00～16：50	ウインクあいち	15
電子ディスプレイ	24日(木) 25日(金)	13：30～17：00 9：30～15：00	静岡大学・浜松キャンパス・佐鳴会館	15
電磁界理論 光エレクトロニクス レーザー・量子エレクトロニクス エレクトロニクスシミュレーション マイクロ波・ミリ波フォトンクス フォトリソグラフィネットワーク	24日(木) 25日(金)	9：00～18：30 9：00～18：30	大阪大学・吹田キャンパス	21
磁気記録・情報ストレージ	25日(金)	13：00～17：30	パナソニック企業年金基金・松心会館	23
超伝導エレクトロニクス	24日(木)	9：00～16：15	岡山大学・津島西キャンパス・創立五十周年記念館	25
電子部品・材料 電子通信エネルギー技術	24日(木) 25日(金)	10：00～18：15 9：00～16：10	阿蘇ファームランド	35
1月休会の研究会；なし				

◎情報・システムソサイエティ

研究会名	日時		会場	告頁
教育工学	12日(土)	10：00～16：40	東京農工大学・小金井地区	5
コンピュータシステム リコンフィギャラブルシステム VLSI設計技術	16日(水) 17日(木)	9：10～18：15 9：10～16：05	慶應義塾大学・日吉キャンパス・来往舎	5
知能ソフトウェア工学	28日(月) 29日(火)	13：25～16：50 10：30～17：05	機械振興会館	9
ニューロコンピューティング 非線形問題	24日(木) 25日(金)	9：30～18：20 9：30～18：00	北海道大学・百年記念会館	10
マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント	29日(火) 30日(水)	13：00～17：30 9：00～15：30	東北大学・電気通信研究所	14
パターン認識・メディア理解 マルチメディア・仮想環境基礎	23日(水) 24日(木)	9：00～18：10 9：00～17：25	京都大学・吉田キャンパス・百周年時計台 記念館	17
音 声	30日(水) 31日(木)	13：30～17：15 10：00～16：45	同志社大学・京田辺キャンパス・恵道館	24
ソフトウェアサイエンス	10日(木) 11日(金)	13：00～17：30 9：00～12：15	石垣市民会館	30
ライフインテリジェンスとオフィス情報システム 情報通信マネジメント	17日(木) 18日(金)	9：30～17：40 9：30～14：30	佐賀市民会館	31

医 用 画 像	24日(木) 25日(金)	9:50~17:50 9:15~16:30	沖縄ぶんかテンプス館	37
MEとバイオサイバネティクス	25日(金) 26日(土)	13:00~17:55 9:30~16:25	九州工業大学・情報工学部・飯塚キャンパス	39
1月休会の研究会；画像工学，言語理解とコミュニケーション，コンピューテーション，人工知能と知識処理，データ工学，ディペンダブルコンピューティング，ソフトウェアインタプライズモデリング，情報通信システムセキュリティ，情報論的学習理論と機械学習，クラウドネットワークロボット，サービスコンピューティング				

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

研究会名	日 時	会 場	告 頁
マルチメディア・仮想環境基礎 パターン認識・メディア理解	23日(水) 9:00~18:10 24日(木) 9:00~17:25	京都大学・吉田キャンパス・百周年時計台 記念館	17
ヒューマンコミュニケーション基礎	24日(木) 12:50~16:50 25日(金) 9:15~16:45	高知市文化プラザかるぼーと	29
1月休会の研究会；ヒューマン情報処理，福祉情報工学			

◇第二種研究会開催案内

光応用電磁界計測 (PEM) 時限研究専門委員会 第2回研究会	1月11日(金)	長崎大学・文教キャンパス・工学部	41
テラヘルツ応用システム研究会	1月17日(木)	NTT・武蔵野研究開発センタ	41
平成24年度第3回医療情報通信技術研究会	1月18日(金)	首都大学東京・秋葉原サテライトキャンパス	42
次世代ナノ技術研究会	1月29日(火)	電気通信大学	42

◇第二種研究会発表募集案内

第23回サイバーワールド (CW) 研究会	3月8日(金)/11日(月)	神奈川工科大学	42
第50回機能集積情報システム研究会	3月15日(金)	宮崎大学・木花キャンパス	43

## ★教育工学研究会 (ET)

専門委員長 中村直人 副委員長 小西達裕  
幹事 國宗永佳・渡辺健次 幹事補佐 西尾典洋・森本容介

日時 1月12日(土) 10:00~16:40  
会場 東京農工大学小金井地区(小金井市中町2-24-16. JR中央線:東小金井駅下車, 徒歩約10分. [http://www.tuat.ac.jp/basic\\_information/access/index.html](http://www.tuat.ac.jp/basic_information/access/index.html) TEL [042] 388-7489 金子敬一)

議題 特別な教育的ニーズへの対応と人にやさしい教育/一般

- マルチモーダル情報を用いた図形の提示  
○石川桂多(千葉工大)・遠西 学(目白大)・遠藤浩幸・中村直人(千葉工大)
  - 作問学習支援システムを利用する学習者の学習内容理解度の推定  
○伊藤悠太・平井佑樹・金子敬一(東京農工大)・野村綾美・檀山淳雄(学芸大)
  - 学習履歴を基にした問題推薦手法の提案  
○加藤まい・王 家宏・児玉英一郎・高田豊雄(岩手県立大)
  - 説明的文章における書き込みを利用した質問生成の検討  
岩根典之(広島市大)
  - 工学専門科目用eラーニング・コンテンツの拡充と高専学生の継続的意識調査  
森川 一(旭川高専)
- 午後
- 科学的説明には模型が有効—声の作られる過程で—  
鈴木誠史
  - Learning strategies and styles analyzed from portfolio for programming education  
○Dinh Dong Phuong・Yoshihiro Matsuoka・Hiromitsu Shimakawa(Ritsumeikan Univ.)
  - Time to Play to Know (T2P2K): First Report on a Digital Classroom Project in Grades 4 through 6 of Elementary Schools  
○Marat Zhanikeev・Takahito Tomoto・Hitoshi Watanabe(Tokyo Univ. of Science)
  - 教育に対する生体のプログラミング—特別支援を含めて—  
長山知由理(東大)
  - 知的障害のある学習者のための新しい教科書アクセシビリティの提案  
棟方哲弥(特総研)
  - バーチャルコミュニティにおける国内外の日本語教師の交流活動  
加藤由香里(東京農工大)
  - 特徴表示を伴う手書き文字入力とこれを利用した自動採点システム—漢字検定相当の試験を自動採点するための方法—  
井戸伸彦(岐阜経済大)
  - Javaプログラミング学習支援システムの穴埋め問題機能の拡張とその評価  
○伊永洋輔・船曳信生・中西 透・渡邊 寛・天野憲樹(岡山大)
  - オンライン学習における学習者特性のノート評価への効果  
○中山 実(東工大)・六浦光一(信州大)・山本洋雄(東工大)

◆IEEE Education Society Japan Chapter 共催

◎12:45~13:00に表彰式を行います。

☆ET研究会今後の予定 [ ]内発表申込締切日

3月29日(金) 愛媛大城北地区[1月15日(火)]テーマ:  
学習データの蓄積と利活用支援/一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

## 【問合せ先】

渡辺健次(広島大)  
TEL [082] 424-7155  
E-mail: wtnbk@hiroshima-u.ac.jp

◎原稿締切日までに原稿がアップロードされない場合には、自動的に発表キャンセルとなります。原稿がない発表は認めていませんので御注意下さい。

## ★VLSI設計技術研究会 (VLD)

専門委員長 山田晃久 副委員長 池田 誠  
幹事 竹中 崇・中武繁寿

## ★コンピュータシステム研究会 (CPSY)

専門委員長 天野英晴 副委員長 安里 彰・吉永 努  
幹事 入江英嗣・中野浩嗣 幹事補佐 井上浩明

## ★リコンフィギャラブルシステム研究会 (RECONF)

専門委員長 安永守利 副委員長 京 昭倫・渡邊 実  
幹事 渡邊誠也・山田 裕 幹事補佐 山口佳樹

日時 1月16日(水) 9:10~18:15  
17日(木) 9:10~16:05

会場 慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎大会議室(横浜市港北区日吉4-1-1. 東急東横線, 東急目黒線/横浜市営地下鉄グリーンライン:日吉駅下車, 徒歩1分. <http://www.keio.ac.jp/ja/access/hiyoshi.html> TEL [045] 566-1748 天野英晴)

議題 FPGA 応用及び一般

16日午前 FPGA アーキテクチャ

- RECONF-1. 再構成可能デバイス MPLD のアーキテクチャ評価  
○山下智也・稲木雅人・谷川一哉・弘中哲夫(広島市大)・石黒 隆(太陽誘電)
- RECONF-2. Altera FPGA における GALS-NoC とその設計手法  
○方波見英基・齋藤 寛(会津大)
- RECONF-3. 配線領域を分割した三次元 FPGA の一提案  
○岩井佑介・趙 謙・尼崎太樹・飯田全広・久我守弘・末吉敏則(熊本大)

FPGA 回路

- RECONF-4. 異なるビット幅を扱う浮動小数点データストリーム圧縮ハードウェアの性能評価  
○上野知洋・高野芳彰・佐野健太郎・山本 悟(東北大)
- RECONF-5. インデックス生成器を用いた IPv6 検索アーキテクチャに関して  
○中原啓賢(鹿児島大)・笹尾 勤・松浦宗寛(九工大)
- RECONF-6. DC-DC コンバータ制御用ニューラルネットワークの FPGA 実装  
○山邊芳彦・元村正志・山下健太郎・丸田英徳・柴田裕一郎・小栗 清・黒川不二雄(長崎大)

16日午後 招待講演

CPSY-7. [招待講演] ノーマリーオフコンピューティングへの挑戦  
中村 宏(東大)

回路設計

- VLD-8. SD 数の2値符号化による算術演算回路の最適化設計と性能評価  
○小林拓矢・茂木和弘・魏 書剛(群馬大)
- VLD-9. SD 数演算を用いた RSA 暗号処理回路の設計と性能評価  
○浅岡隼一・田中勇樹・魏 書剛(群馬大)

VLD-10. パワースイッチ駆動回路の自動生成と実装設計における評価 ○宮内 誠・工藤 優・宇佐美公良 (芝浦工大)  
応用設計

VLD-11. C コンパイラの算術最適化のランダムテストにおける式生成の強化 ○永井絵里子・橋本淳史・石浦菜岐佐 (関西学院大)

VLD-12. オンチップ・リークモニタによるランタイム・パワーゲーティングの制御にむけた損益分岐点の評価 ○松永健作・工藤 優 (芝浦工大)・太田雄也, 小西奈緒 (芝浦工大)・天野英晴 (慶大)・並木美太郎 (東京農大)・宇佐美公良 (芝浦工大)

VLD-13. 機械語の複数部分を高速化する CPU 密結合型ハードウェアアクセラレータ ○佐竹俊亮・石浦菜岐佐・田村真平 (関西学院大)・神原弘之 (京都高度技研)・富山宏之 (立命館大)

#### 物理設計

VLD-14. 薄膜 BOX-SOI における基板バイアス効果を利用した動的なマルチ Vth 設計の検討 ○網代慎也・工藤 優・宇佐美公良 (芝浦工大)

VLD-15. 最小コストフローを用いた, 指定長配線の改良手法 ○山根一夫・藤吉邦洋 (東京農工大)

VLD-16. AllianceEDA ツールセットとディープサブミクロンプロセス対応ラムダルールベースセルライブラリによる Rohm 0.18 um チップ試作検証—配置配線ツールの試行— ○細川達也・清水尚彦 (東海大)

#### 17 日午前 計算機アーキテクチャ

CPSY-1. リング接続を利用してデータ移動を最小限にするアクセラレータの提案 ○関 賀・姚 駿・中島康彦 (奈良先端大)

CPSY-2. 優先度逆転を考慮した優先度付きオンチップネットワークの設計と実装 ○石田 匠・山崎大輝・谷口将一・水頭一壽・松谷宏紀・山崎信行 (慶大)

CPSY-3. データストリームに対するスライディングウィンドウ・アグリゲーションの FPGA を用いた実装 ○オゲ ヤースィン・吉見真聡 (電通大)・三好健文 (イテリス・ジャパン)・川島英之 (筑波大)・入江英嗣・吉永 努 (電通大)

#### 計算機システム

CPSY-4. 分散リアルタイムシステムにおける消費電力量を抑えるパケット転送手法 ○久村雄輔・吉住 修・水頭一壽・松谷宏紀・山崎信行 (慶大)

CPSY-5. Ethernet で接続された GPU クラスタにおける単一ノード構成と複数ノード構成の比較 ○野村鎮平・中浜徹也 (慶大)・樋口淳一・鈴木 順・吉川隆士 (NEC)・天野英晴 (慶大)

CPSY-6. ホストから複数リンクを用いた低遅延ネットワークポロジ ○河野隆太 (慶大)・藤原一毅 (NII)・松谷宏紀・天野英晴 (慶大)・鯉渕道紘 (NII)

#### 17 日午後 FPGA 高位設計

RECONF-7. 画像処理用ラインバッファの高位合成系向けライブラリ化設計 ○荒川尚久・泉 知論 (立命館大)

RECONF-8. A Channel-based Communication/Synchronization Model for SW-HW Multitasking on Dynamically Partially Reconfigurable FPGAs ○Krzysztof Jozwik・Shinya Honda・Masato Eda (Nagoya Univ.)・Hiroyuki Tomiyama (Ritsumeikan Univ.)・Hiroaki Takada (Nagoya Univ.)

RECONF-9. UML 図を用いた設計検証の自動化手法の開発 ○狩野大樹 (東海大)・清水尚彦 (東海大/IP ARCH)  
FPGA 計算応用

RECONF-10. FPGA アクセラレータと高位合成系を用いた瞳検出手法の実装 ○土肥慶亮・柴田裕一郎・小栗 清 (長崎大)

RECONF-11. FGA アクセラレータと高位合成系を用いた三次元ステンシル計算の実装 ○中村芳大・土肥慶亮・柴田裕一郎・小栗 清 (長崎大)

RECONF-12. メッシュ接続 FPGA アレーを用いた高性能ステンシル計算機の設計と実装 ○小林諒平・高前田(山崎)伸也・吉瀬謙二 (東工大)

RECONF-13. FPGA クラスタによる格子ボルツマン法専用計算機の実装と性能評価 ○高野芳彰・鈴木隼人・千葉諒太郎・佐野健太郎・山本 悟 (東北大)

#### ◆情報処理学会; システム LSI 設計技術研究会連係

☆VLD 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

3 月 4 日 (月)~6 日 (水) 沖縄県青年会館 [締切済] テーマ: システムオンシリコンを支える設計技術

#### 【問合先】

竹中 崇 (NEC)

TEL [044] 431-7194

E-mail: takenaka@aj.jp.nec.com

◎VLD 研究会ホームページも御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~vld/>

☆CPSY 研究会

#### 【問合先】

安里 彰 (富士通)

TEL [044] 754-3233, FAX [044] 754-3214

E-mail: asato@jp.fujitsu.com

☆RECONF 研究会

#### 【問合先】

京 昭倫 (ルネサスエレクトロニクス)

TEL [044] 435-5446

E-mail: shorin.kyo.wz@renesas.com

### ★電子デバイス研究会 (ED)

専門委員長 加地 徹 副委員長 原 直紀

幹事 須原理彦・上田哲三 幹事補佐 葛西誠也・松永高治

### ★マイクロ波研究会 (MW)

専門委員長 大平 孝

副委員長 黒木太司・中津川征士・川上憲司

幹事 加屋野博幸・河合 正 幹事補佐 鴨田浩和・清水隆志

日時 1 月 17 日 (木) 14:30~17:15

18 日 (金) 10:00~15:45

会場 機械振興会館地下 3 階研修 1 号室 (港区芝公園 3-5-8. 東京メトロ日比谷線: 神谷町駅下車徒歩 10 分, JR: 浜松町駅下車徒歩 20 分, 都営地下鉄三田線: 御成門駅・大江戸線: 赤羽橋駅下車徒歩 10 分. [http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map\\_kaikan.htm](http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map_kaikan.htm) TEL [03] 3434-8211)

議題 化合物半導体デバイス及び超高周波デバイス/マイクロ波一般

17 日

1. 94 GHz 帯 NRD ガイドの設計 ○黒木太司・井上晋吾・

森田智紀 (呉高専)

2. Low-loss on chip CMOS Patterned Ground Coplanar Waveguide Transmission Line for Millimeter-wave Technology

○Dayang Azra Binti Awang Mat · Ramesh K. Pokharel · Rohana Sapawi · Haruichi Kanaya · Keiji Yoshida (Kyushu Univ.)

3. FET の寄生素子を考慮した伝送線路帰還 FET 発振回路の Q ファクタシミュレーションと側波帯雑音測定

○南 昂孝 · 崎原孫周 · ウリン トヤ · 上原秀幸 · 大平 孝 (豊橋技科大)

4. Double-layer Corporate-feed Hollow-waveguide Slot Array Antenna and Its Data Transmission Test Results in millimeter wave band

○Dongjin Kim · Jiro Hirokawa · Makoto Ando (Tokyo Inst. of Tech.) · Jun Takeuchi · Akihiko Hirata (NTT) · Tadao Nagatsuma (Osaka Univ.)

5. 120 GHz 帯 20 Gb/s QPSK 送信/受信モジュール

○高橋宏行 · 小杉敏彦 · 枚田明彦 · 竹内 淳 · 村田浩一 · 久々津直哉 (NTT)

6. 120 GHz 帯無線の気象条件に起因する減衰変化速度の評価

○枚田明彦 · 竹内 淳 · 高橋宏行 · 久々津直哉 (NTT)

18 日午前

1. 放送、通信用の電波を対象とした電磁波エネルギー回収の回路検討

○北沢祥一 · 伴 弘司 · 小林 聖 (ATR)

2. ハーフモードグループガイドを用いた無線電力伝送用 0 dB カプラの検討

○森 星弥 · 岸原充佳 · 大久保賢祐 · 滝本裕則 (岡山県立大) · 太田 勲 (兵庫県立大)

3. 2.6 GHz 帯 40 W 広帯域ドハティアンプの開発

○由村典宏 · 渡辺直樹 · 出口博昭 · 宇井範彦 (住友電工デバイスイノベーション)

4. 短ゲート化による SPS 用 GaN 増幅器の高効率化検討

○山口裕太郎 · 大石敏之 · 吉岡貴章 · 小山英寿 · 鮫島文典 (三菱電機)

5. Si ショットキーバリアダイオードを集積化した GaN トランジスタによる DC-DC コンバータの高効率動作

○宇治田信二 · 森田竜夫 · 梅田英和 · 木下雄介 · 田村聡之 · 按田義治 · 上田哲三 · 田中 毅 (パナソニック)

6. ソースフィールドプレート構造 AlGaIn/GaN HEMT のラグ現象、電流コラプス及び耐圧特性の解析

○塙 秀之 · 小野寺 啓 · 堀尾和重 (芝浦工大)

7. GaN パワーデバイスのスイッチング特性における深い準位の影響

○田中健一郎 · 石田昌宏 · 上田哲三 · 田中 毅 (パナソニック)

8. 実験と TCAD シミュレーションを使った AlGaIn/GaN HEMT のドレインリーク電流解析

○林 一夫 · 大石敏之 · 加茂宣卓 · 山口裕太郎 · 大塚浩志 · 山中宏治 · 中山正敏 (三菱電機) · 宮本恭幸 (東工大)

9. SiCN ゲート絶縁膜を用いた AlGaIn/GaN MIS ゲート HEMT

○小林健悟 · 吉田智洋 · 尾辻泰一 · 片山竜二 · 松岡隆志 · 末光哲也 (東北大)

10. 多層 SiCN 鍍型を用いた T 型ゲート電極を用いた InGaAs HEMT

○吉田智洋 · 小林健悟 · 尾辻泰一 · 末光哲也 (東北大)

☆ED 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

2 月 27 日 (水), 28 日 (木) 北大百年記念会館 [締切済]  
テーマ: 機能ナノデバイス及び関連技術

【問合先】

須原理彦 (首都大東京)

第一種研究会開催案内

TEL [042] 677-2765, FAX [042] 677-2756

E-mail: michihiko.suhara@tmu.ac.jp

上田哲三 (パナソニック)

TEL [075] 956-8273, FAX [075] 956-9110

E-mail: ueda.tetsuzo@jp.panasonic.com

☆MW 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

2 月 休会

3 月 7 日 (木), 8 日 (金) 広島大 [1 月 14 日 (月)] テーマ:  
マイクロ波一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

鴨田浩和 (ATR)

TEL [0774] 95-1541, FAX [0774] 95-1508

E-mail: kamoda@atr.jp

加屋野博幸 (東芝)

TEL [044] 549-2110, FAX [044] 520-1801

E-mail: hiroyuki.kayano@toshiba.co.jp

★情報理論研究会 (IT)

専門委員長 鎌部 浩 副委員長 大橋正良

幹事 井坂元彦 · 野村 亮 幹事補佐 古賀弘樹

日時 1 月 21 日 (月) 10:30~17:55

会場 電気通信大学東 3 号館 (総合研究棟) 306 室 (調布市調布ヶ丘 1-5-1. 京王線調布駅から徒歩 5 分. <http://www.uec.ac.jp/about/profile/access/> TEL [042] 443-5366 八木秀樹)

議題

1. 双方向きレーチャネルにおけるダイバーシチマルチプレキシングトレードオフ ○菅井熱志 · 松本隆太郎 · 植松友彦 (東工大)

2. 非対称多重アクセス通信路の強逆定理 大濱靖匡 (電通大)

3. 情報理論における熱力学と論理学—物理層通信路符号化と論理層情報源符号化における理論の適用—

得丸公明 (システムエンジニア)

午後 (13:15~)

4. 物理的複製不可能関数 (PUF) デバイスにおけるレスポンスの再現性向上のための軟判定 Fuzzy Extractor の検討

○谷口雅人 · 村山貴彦 · 汐崎 充 · 久保博嗣 · 藤野 毅 (立命館大)

5. 命令バイパス DFA を用いた CLEFIA の鍵導出法

○伊藤宏樹 · 吉川英機 · 神永正博 · 志子田有光 (東北学院大)

6. 画像符号化における 2 次元 LOT の性能評価

○川根優也 · 小田 弘 (電通大)

7. Complexity as E2E Network Performance Estimator

Marat Zhanikeev (Tokyo Univ. of Science)

8. Multi-Mode Encoding with Binary-Indexed Flash Code

○Michael Joseph Tan (NAIST) · Proceso Fernandez · Nino Salazar · Jayzon Ty (ADMU) · Yuichi Kaji (NAIST)

9. LZ78 符号に基づく交叉符号化とその応用

○櫻原崇人 (徳島大) · 大濱靖匡 (電通大)

10. 記号分解法の改良と言語アルファベット情報源圧縮への適用

○忠木勇太 · 川端 勉 (電通大)

11. Overflow Probability of Variable Length Codes with Cost Function for Mixed Sources Ryo Nomura (Senshu Univ.)

12. 情報源の固定長符号化と Resolvability 問題における 2 次の漸近レートの smooth Renyi エントロピーによる表現について

○田頭 進・植松友彦 (東工大)

13. 冗長度と符号化レートの両方で最適な FF 符号

○有村光晴 (湘南工科大)・古賀弘樹 (筑波大)・岩田賢一 (福井大)

◆IEEE IT Society Japan Chapter 共催

☆IT 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

3月7日(木), 8日(金) 関西学院大大阪梅田キャンパス [1月14日(月)] テーマ: IT・ISEC・WBS 合同研究会

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

情報理論研究会幹事, 幹事補佐

E-mail: it-sec@mail.ieice.org

## ★コミュニケーションクオリティ研究会 (CQ)

専門委員長 山崎達也 副委員長 高橋 玲・板倉英三郎

幹事 布目敏郎・岡本 淳 幹事補佐 立花篤男

日時 1月25日(金) 10:00~17:40

会場 機械振興会館地下1階2号室

議題 映像/音声サービスの品質, メディア品質, ネットワークの品質・QoS 制御, 次世代/新世代ネットワークアーキテクチャ, 五感情報通信, 一般

1. パレート最適ネットワーク実現のためのユーザ・資源管理アプリケーションデモシステムの開発 ○矢守恭子 (朝日大)・太田 能 (神戸大)・長谷川 剛 (阪大)・新熊亮一 (京大)・小口正人 (お茶の水女子大)・村瀬 勉 (NEC)

2. レジリエント ICT に対する要求条件

○千田昇一 (NTT-AT)・グエン キエン・山田茂樹 (NII)

3. Time-Based Emulation of Counter-Based Packet Sampling  
○Marat Zhanikeev (Tokyo Univ. of Science)・Yoshiaki Tanaka (Waseda Univ.)

午後 (12:30~)

4. 帯域保証 IP ネットワークにおけるビデオ・音声・力覚メディアインタラクティブ通信の QoE 評価 ○磯村栄一・田坂修二・布目敏郎 (名工大)

5. ネットワーク遅延の変動が力の知覚に及ぼす影響  
○松永一希 (名工大)・大西 仁 (放送大)・石橋 豊 (名工大)

6. 高解像度パノラマ映像とアンビエント 5.1ch 音声を用いた臨場感主観評価実験 ○田中康暁・深澤勝彦・木全英明・小島 明・清原健司 (NTT)

7. [依頼講演] E-Nose と E-Tongue を用いたにおいや味の評価  
吉田浩一 (ｱﾙﾌﾞｱﾓｽ)

8. [特別講演] 匂いの記録再生と遠隔匂い再現システム  
中本高道 (東工大)

9. [特別講演] 五感情報を活用したウェアラブルユーザインタフェース  
寺田 努 (神戸大)

10. [パネル討論] 豊かな生活を実現する五感通信サービスを目指して  
山崎達也 (NICT)

11. パネル討論

○研究会終了後, 懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆CQ 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

3月11日(月), 12日(火) 福岡工大 [1月15日(火)]

テーマ: メディア・コミュニケーションの品質と福祉, 及び

一般 (食メディア研究会協賛)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

布目敏郎 (名工大)

TEL & FAX [052] 735-7785

岡本 淳 (NTT)

TEL [0422] 59-6526, FAX [0422] 59-6364

E-mail: cq\_ac-kanji@mail.ieice.org

○最新情報は, CQ 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/cq/jpn/>

## ★機構デバイス研究会 (EMD)

専門委員長 長谷川 誠 副委員長 関川純哉・久我宣裕

幹事 服部康弘・阿部宜輝 幹事補佐 上野貴博

日時 1月25日(金) 13:30~17:10

会場 ゆとりうむ日立 (日立労組戸塚支部労働会館) (横浜市戸塚区戸塚町 200-4. JR/横浜市営地下鉄: 戸塚駅から徒歩 10 分. <http://www.ipc.shizuoka.ac.jp/~tjsekik/emd2013-01/EMD2013-01-Totsuka.pdf> TEL [045] 864-8611 浅井誠二 (日立))

議題

1. [招待講演] LSI 安定動作, ノイズ対策及び高速シリアル伝送のためのプリント基板の最新設計技術 ○田中顕裕・本木浩之・中西秀行 (ｱｲｶ)

2. [特別講演] 通話路スイッチの変遷と研究実用化考  
青木 武 (田中貴金属)

3. ハンマリング加振機構及び微摺動機構による電気接点の劣化現象—接触抵抗変動のモデリング(27)— 和田真一・越田圭治 (TMC システム)・永井祥子 (慶大)・サインダー ノロブリン・益田直樹・石黒 明・柳 国男・久保田洋彰 (TMC システム)・澤 孝一郎 (日本工大)

4. レーザ変位計を利用したサンプルの 3 次元形状観察システムの試作 ○長谷川 誠・河村大地・高橋佳佑 (千歳科技大)

5. タングステン電極間アークの電圧電流特性と消滅特性の測定  
○三島悠亮・須原啓一 (東京高専)

6. 光学 CAE を用いたライトパイプ中のボイドの影響量検討  
○清水紳太郎・木村 靖・片山昌昭 (日立)

☆EMD 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

2月15日(金) 住友電装 [締切済] テーマ: 機構デバイスの信頼性, 信頼性一般 (継電器・コンタクトテクノロジー研究会, IEEE CPMT JAPAN 共催)

【問合せ先】

関川純哉 (静岡大)

TEL & FAX [053] 478-1618

E-mail: tjsekik@ipc.shizuoka.ac.jp

久我宣裕 (横浜国大)

TEL & FAX [045] 339-4279

E-mail: kuga@ynu.ac.jp

服部康弘 (住友電装)

TEL [059] 382-8634, FAX [059] 382-8591

E-mail: yasuhiko-hattori@gate.sws.co.jp

阿部宜輝 (NTT フォトニクス研究所)  
TEL [046] 240-2262, FAX [046] 270-6421  
E-mail : abe.yoshiteru@lab.ntt.co.jp

◎EMD 研究会に関する最新の情報は、<http://www.ieice.org/es/emd/jpn/>を御参照下さい。

## ★知能ソフトウェア工学研究会 (KBSE)

専門委員長 松浦佐江子 副委員長 飯島 正  
幹事 猿渡卓也・檀山淳雄 幹事補佐 糸野文洋・竹内広宣

日時 1月28日(月) 13:25~16:50  
29日(火) 10:30~17:05

会場 機械振興会館地下3階2号室

### 議題

#### 28日 AI 応用(1)

- AR とジェスチャを用いたエージェント用インタフェースの開発  
○倉根和人・神林 靖(日本工大)・滝本宗宏(東京理科大)
- ラネカーの「ピリヤードボール」モデルを援用したビジネスの記述と理解  
○井田明男・金田重郎(同志社大)
- 「クラス図は英語である」との観点に基づく仕様文・クラス図変換メソッドの提案  
○金田重郎・井田明男・酒井孝真(同志社大)
- ユースケース分析に基づくディペンダビリティケース作成法の提案  
松野 裕・○山本修一郎(名大)

#### 29日午前 AI 応用(2)

- Analysis of Multidimensional Dependencies as a Signal Processing Problem  
Marat Zhanikeev (Tokyo Univ. of Science)
- ディペンダビリティケース用語構成規則の提案  
○松村昌典・松野 裕・山本修一郎(名大)
- 予測誤差評価基準に予測誤差平方和(PSS)を用いる多層構造型 GMDH-type ニューラルネットワークアルゴリズムとその非線形システム同定への応用  
○近藤 正・上野淳二・高尾正一郎(徳島大)

#### 29日午後 KBSE 研究会 20周年記念講演(13:30~)

- [招待講演] Experimental Software Engineering—予測, traceability, データマイニング  
海尻賢二(信州大)
- commit ログの新しい分類手法の提案と実験  
○上田健之・海尻賢二(信州大)
- 非同期通信を行う Web アプリケーションにおける資源競合問題の検証手法の提案  
○都丸卓也・本田耕三・中川博之・田原康之・大須賀昭彦(電通大)
- ソフトウェアバグ予測のためのモジュール分類と選定  
○盛 慎・門田暁人(奈良先端大)・亀井靖高(九大)・松本健一(奈良先端大)

☆KBSE 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

3月14日(木), 15日(金) 芝浦工大 [未定] テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

### 【問合せ先】

檀山淳雄(学芸大)  
E-mail : hazeyama@u-gakugei.ac.jp

第一種研究会開催案内

◎最新の情報は KBSE 研究会ホームページで御確認下さい。  
<http://www.sayo.se.shibaura-it.ac.jp/kbse/>

## ★シリコン材料・デバイス研究会 (SDM)

専門委員長 奈良安雄 副委員長 大野裕三  
幹事 野村晋太郎・笹子佳孝

日時 1月30日(水) 9:30~17:00

会場 機械振興会館地下3階研修2号室

### 議題 IEDM 特集 (先端 CMOS デバイス・プロセス技術)

- 14 nm 世代以降に向けたアモルファス金属ゲートによる Fin-FET の Vt 及び Gm ばらつき抑制技術  
○松川 貴・柳 永助・水林 亘・塚田順一・山内洋美・遠藤和彦・石川由紀・大内真一・太田裕之・右田真司・森田行則・昌原明植(産総研)
- チャネル長を 3 nm に微細化した接合レストランジスタの電気特性  
○右田真司・森田行則・昌原明植・太田裕之(産総研)
- Ge p- and n-MOSFET の高電界領域での移動度劣化機構の解析と原子層平坦 GeOx/Ge 界面による移動度の向上  
○張 睿・黄 博勤・林 汝静・竹中 充・高木信一(東大)
- 本質的なグラフェン/金属界面特性  
○長沙晃輔・井福亮太・森山喬史・西村智紀・鳥海 明(東大)
- AION ゲート絶縁膜導入による SiC パワー MOSFET の高性能化及び信頼性向上  
○細井卓治(阪大)・東雲秀司・柏木勇作・保坂重敏(東京エレクトロ)・中村亮太・箕谷周平・中野佑紀・浅原浩和・中村 孝(ロム)・木本恒暢(京大)・志村考功・渡部平司(阪大)

#### 午後(12:40~)

- イメージセンサにおけるオンチップ光学系の発展  
○寺西信一・渡辺尚志・上田壮彦・仙石直久(パナソニック)
- ランダム・テレグラフ・ノイズが低電圧 CMOS 論理回路の遅延ゆらぎに及ぼす影響  
○松本高士(京大)・小林和淑(京都工繊大)・小野寺秀俊(京大)
- ランダムテレグラフノイズ(RTN)の統計的評価手法と微細 MOSFET ばらつきへの影響  
○三木浩史・手賀直樹・山岡雅直(日立)・D.J. Frank・A. Bansal・小林正治・K. Cheng・C.P.D'Emic・Z. Ren (IBM)・S. Wu (IBM SRDC East Fishkill)・J-B. Yau・Y. Zhu・M.A. Guillorn・D.-G. Park・W. Haensch・E. Leobandung (IBM)・鳥居和功(日立)
- 相補型原子スイッチを用いた不揮発プログラマブルセルとその回路マッピング実証  
○宮村 信・多田宗弘・阪本利司・伴野直樹・岡本浩一郎・井口憲幸・波田博光(超低電圧デバイス技術研究組合)
- 高性能モバイル CPU の低消費電力化を実現する新規 DRAM/MRAM ハイブリッドメモリ  
安部恵子・野口絢希・北川英二・下村尚治・伊藤順一・○藤田 忍(東芝)
- スピン注入書き込み MRAM 技術の進展と、そのノーマリオフコンピュウティング実現に対する効果  
○下村尚治・興田博明・藤田 忍・北川英二・安部恵子・野村久美子・野口絢希・伊藤順一(東芝)
- ナノ CMOS デバイスを用いた擬似スピン MOSFET の設計と性能  
○周藤悠介(東工大/CREST/神奈川科学アカデミー)・山本修一郎(東工大/CREST)

介川裕章・ZhenChao Wen (物質・材料研究機構/CREST)・  
中根了昌 (東大/CREST)・  
三谷誠司 (物質・材料研究機構/CREST)・  
田中雅明 (東大/CREST)・  
猪俣浩一郎 (物質・材料研究機構/CREST)・  
菅原 聡 (東工大/CREST)

13. IEDM を振り返って 遠藤和彦 (産総研)

14. 総合討論

◆応用物理学会；シリコンテクノロジー分科会共催

◎17:00～懇親会を開催します。

## ★集積回路研究会 (ICD)

専門委員長 吉本雅彦 副委員長 山村 毅

幹事 松岡俊匡・竹内 健

幹事補佐 渡辺 理・大内真一・土谷 亮

日時 1月31日(木) 10:00～17:50

2月1日(金) 10:00～15:30

会場 早稲田大学グリーン・コンピューティング・システム研究  
開発センター (新宿区早稲田町 27. <http://www.kikou.waseda.ac.jp/gcs/contact/index.html> TEL [03] 3203-4481 木  
村啓二)

議題 集積回路とアーキテクチャの協創—新しいアプリケーション  
創造に向けたアーキテクチャ、回路技術の貢献—

31日午前 招待講演

1. [招待講演] 未定 笠原博徳 (早大)  
アプリケーション並列化

2. 自動車エンジン制御ソフトウェアにおけるマルチコア上での  
並列処理 ○金羽木洋平・梅田 弾・見神広紀・林 明宏・  
木村啓二・笠原博徳 (早大)・沢田光男 (トヨタ自動車)

3. BEMAP: BEncMarks for Automatic Parallelizer  
○Yuri Ardila・Natsuki Kawai・Takashi Nakamura・  
Yosuke Tamura (Fixstars)

31日午後 招待講演

4. [招待講演] 未定 中野恵一 (オソバ)  
ICD-5. [招待講演] GPU/GPGPU トレンド動向及びDMPにお  
ける取り組みについて 大淵栄作 (DMP)

6. [招待講演] 未定 大田恭士 (富士通)  
ICD-7. [招待講演] ハードウェア活用リアルタイムイベント処  
理 ○井上浩明・竹中 崇 (NEC)

パネルセッション

8. [パネルセッション] 新しいアプリケーション開拓への展望  
と課題

2月1日午前 並列処理

1. SMYLE OpenCL の実装と128コア上での評価実験  
○稗田拓路・江谷典子・西山直樹・谷口一徹・  
富山宏之 (立命館大)・グエン チュオン ソン・  
近藤正章 (電通大)・平尾智也・曾我武史・井上弘士 (九大)

2. GCC の vectorizer を利用した演算器アレイ向け命令変換手法  
○王 昊・姚 駿・中島康彦 (奈良先端大)  
次世代メモリシステム (11:10～12:10)

ICD-3. 3次元実装 ReRAM/MLC NAND ハイブリッド SSD に  
おける、データマネジメント手法の提案と性能評価  
○峰谷尚悟・宮地幸祐・上口 光・竹内 健 (中大)

ICD-4. 電圧センスアンプを用いた ReRAM の多値化のための読

み出し・書き込み回路

○伊部泰貴・中山和也・

北川章夫 (金沢大)

2月1日午後 モデリング・シミュレーション (13:30～)

5. 配線アクティビティを考慮した3次元積層プロセス向けフ  
ロアプランナーのための熱評価手法 ○稲場朋大・  
放地宏佳・藤原大輔・眞島一貴・吉見真聡・入江英嗣・

吉永 努 (電通大)

6. 並列化アプリケーションを対象とした統計的手法によるメ  
ニーコアアーキテクチャシミュレーションの高速化

○阿部洋一・田口学豊・木村啓二・笠原博徳 (早大)

7. コンパイラと協調したシミュレーション精度切り換え可能な  
マルチコアアーキテクチャシミュレータ ○田口学豊・

阿部洋一・木村啓二・笠原博徳 (早大)

8. PErformance Estimator for Many-core Processors  
○河合夏輝・Yuri Ardila・中村孝史・田村陽介 (フィックスターズ)

◆情報処理学会；アーキテクチャ研究会連催。IEEE SSCS Japan  
Chapter/Kansai Chapter, 早稲田大学グリーン・コンピュー  
ティング・システム研究機構共催

◎1月31日研究会終了後 (18:30～), レストラン西北の風にて  
懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆ICD 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

3月 中大 [未定] テーマ：シリコンアナログ RF

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

渡辺 理 (東芝)

TEL [044] 549-2283, FAX [044] 520-1806

E-mail: osamu7.watanabe@toshiba.co.jp

## ——北海道支部における開催——

### ★非線形問題研究会 (NLP)

専門委員長 上田哲史 副委員長 池口 徹

幹事 高坂拓司・神野健哉 幹事補佐 坪根 正・木村貴幸

### ★ニューロコンピューティング研究会 (NC)

専門委員長 西井 淳 副委員長 古川徹生

幹事 小澤誠一・宮下真信 幹事補佐 佐藤直行・木村聡貴

日時 1月24日(木) 9:30～18:20

25日(金) 9:30～18:00

会場 北海道大学百年記念会館大会議室 (札幌市北区北8条西5  
丁目. [http://www.hokudai.ac.jp/introduction/campus/  
100th/](http://www.hokudai.ac.jp/introduction/campus/100th/) TEL [011] 706-7689 池辺将之)

議題

24日午前

1. 特異領域を活用した多層パーセプトロン探索法  
○佐藤聖也・中野良平 (中部大)

2. 特異階段追跡法を用いたサンプリング法による多層パーセ  
プトロンモデル選択 ○大脇高之・中野良平 (中部大)

3. 逆強化学習による医療臨床データの分析 ○麻生英樹・  
城 真範・神鳥敏弘・赤穂昭太郎 (産総研)・興梠貴英 (東大)

4. 経路積分強化学習による猫ひねり運動の制御  
○中野太智・前田新一・石井 信 (京大)

5. 協調行動学習のための非正常性の重要性 ○田和明洋・

- 前田新一・石井 信 (京大)
6. ベイズ推定による顕微鏡画像の深さ推定 ○井本康宏・前田新一・石井 信 (京大)
  7. テンソル分解型自己組織化写像によるソーシャルネットワーク解析 ○橋本晃二・岩崎 亘・古川徹生 (九工大)
- 24 日午後 (12:50~)
8. 分散並列環境における準ニュートン学習アルゴリズムの有効性に関する研究 ○佐伯 誠・坂下善彦・二宮 洋 (湘南工科大)
  9. 文脈木重み付け法を用いた半教師付き学習による文書分類 ○小畑智広・小林 学・坂下善彦 (湘南工科大)
  10. 都市における居住者の確率流と住宅市場の自己組織化 ○菱川隆夫・井上純一 (北大)
  11. TV コマーシャル市場の確率モデル ○喜屋武寛之・井上純一 (北大)
  12. 3 状態ランダム磁場イジングモデルに基づく金融危機の特徴付け ○室田光晶・井上純一 (北大)
  13. 戻り光を有する半導体レーザーにおける一般化同期を用いたリアブノフ指数算出手法の数値計算による検証 ○菅野円隆・内田淳史 (埼玉大)
  14. 非同期セルオートマトンを用いた有毛細胞モデルの基本特性について ○石本裕典・鳥飼弘幸 (阪大)
  15. [招待講演] ダイナミカルシステムとしての生物一培養神経回路網の非線形ダイナミクスー 郷原一寿 (北大)
  16. 確定的鈍感粒子群最適化法とその周期探索への応用 ○丸山一紀・斎藤利通 (法政大)
  17. FPGA を用いた Inhibitory Connected Pulse Coupled Neural Network のハードウェア実装 ○吉原正裕・生野壮一郎・黒川弘章 (東京工科大)
  18. プリンテッドスパイラルインダクタを用いた 2 つの共振器と発振器を利用した回転角度計測システム ○黒河卓弘・棚田祐司・山内将行 (広島工大)
  19. 電圧・電流波形サンプリング方式によるしきい値結合カオス回路の設計 ○上ノ原誠二・厚地泰輔・梁 海超・松坂建治・森江 隆 (九工大)・合原一幸 (東大)
  20. 簡素なスパイクニューロンモデルのフィルタによる分岐現象 ○桐川翔太・斎藤利通 (法政大)
  21. 振動の存在する場合の MMOs の波形に関する考察 ○伊藤 薫 (明大)・清水邦康・斎藤悠斗 (千葉工大)・稲葉直彦・遠藤哲郎 (明大)
- 25 日午前
1. 差分進化法の最大電力点探索への応用 ○村岡政哉・安藤直人・斎藤利通 (法政大)
  2. 拡張ローレンツ系における確率共鳴とカオス ○宮野尚哉・長 憲一郎 (立命館大)
  3. 強制 Chua 発振器の集団における Array-Enhanced カオス共鳴 ○石村憲意・浅井哲也・本村真人 (北大)
  4. スパイクベース非線形演算のための CMOS 結合位相振動子回路 ○東原 敬・松坂建治・西 広海・森江 隆 (九工大)
  5. Estimation of network structures from marked point process using spike time metric ○Kaori Kuroda・Kantaro Fujiwara・Tohru Ikeguchi (Saitama Univ.)
  6. Influence of dynamically changing sending probability on the information diffusion ○Akiyoshi Tanaka・Kantaro Fujiwara・Tohru Ikeguchi (Saitama Univ.)
  7. 有限なシステムサイズはシステムサイズ無限大の良い近似と

- なり得るか? 葛城大介 (京都薬科大)
- 25 日午後 (12:50~)
8. 医療福祉ビックデータの電子カルテライフログの解析 ○田之上光一・串間宗夫・荒木賢二・鈴木斎王・山崎友義 (宮崎大)・曾根原 登 (NII)
  9. 動的バイナリニューラルネットワークの進化的学習とパワーエレクトロニクスへの応用 ○上月良太・斎藤利通 (法政大)
  10. 多彩なスパイク信号を呈するデジタル力学系解析のための基本特徴量について ○堀本成俊・斎藤利通 (法政大)
  11. 複雑なスパイク信号の解析ツールとそのハイパーカオスのスパイク発生器への応用 ○四辻和希・斎藤利通 (法政大)
  12. FPGA により制御される専用アナログチップを用いたスパイクニューラルネットワークシステム ○前田道孝・Frank Maldonado H.・松尾貴之・田中秀樹・梁 海超・松坂建治・森江 隆 (九工大)・合原一幸 (東大)
  13. ハプロタイプ推定に対するモーメント母関数を用いたアプローチ ○小野司寿加・井上真郷 (早大)
  14. 視空間イメージの生成と変換の脳内メカニズム ○朝倉暢彦・笹岡貴史 (京大)・佐藤直行 (公立ほく未来大)・乾 敏郎 (京大)
  15. [招待講演] Real-time Omnidirectional Plenoptic Vision Alexandre Schmid (EPFL)
  16. 海馬歯状回顆粒細胞の樹状突起上における空間情報・非空間情報の相互作用 ○早川博章・上條中庸・佐村俊和・相原 威 (玉川大)
  17. 海馬 CA1 野における興奮性/抑制性シナプス入力による樹状突起膜電位ダイナミクスの調節—膜電位感受性色素を用いた光学的測定— ○近藤将史・相原 威 (玉川大)
  18. ハエ視覚系に存在する再帰的な神経回路の理論解析 III—リアリスティックモデルの場合— ○鈴木力憲 (東工大)・森本高子・宮川博義 (東京薬科大)・青西 亨 (東工大)
  19. 部分的時変遅延結合により誘発される振動停止現象の実験的検証 ○杉谷栄規・小西啓治・原 尚之 (阪府大)
  20. 1 入力 EM 級増幅器にみられる分岐現象について ○中村竜太 (大分大)・魏 秀欽 (福岡大)・高坂拓司 (大分大)・関屋大雄 (千葉大)

◆日本神経回路学会, IEEE Computational Intelligence Society Japan Chapter 共催

☆NLP 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日  
3月14日(木), 15日(金) 千葉大西千葉キャンパス [1月14日(火)] テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】  
高坂拓司 (大分大)  
TEL [097] 554-7799, FAX [097] 554-7790  
E-mail: takuji@oita-u.ac.jp

☆NC 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日  
3月13日(水)~15日(金) 玉川大 [1月15日(火)] テーマ: ME, 一般

[招待講演] コラボレーションによるスキル開発と説得性の追及 古川康一 (嘉悦大)

(MBE 研究会併催, 日本神経回路学会, IEEE CIS-Japan 共催)  
【発表申込先】 発表申込システムより電子的に行ってください。  
<http://www.ieice.org/ken/program/index.php?tgid=NC>

**【問合先】**

西井 淳 (山口大)・佐藤直行 (公立はこだて未来大)  
E-mail : satonao@fun.ac.jp

**——東北支部における開催——**

**★モバイルマルチメディア通信研究会 (MoMuC)**

専門委員長 横田英俊 副委員長 井上真杉  
幹事 鶴岡行雄・榎原 茂  
幹事補佐 上村郷志・北形 元・小林基成

**★アドホックネットワーク研究会 (AN)**

専門委員長 松井 進 副委員長 渡辺 尚・村田英一  
幹事 山野 悟・山本高至 幹事補佐 大和田泰伯・門田和也

**★ユビキタス・センサネットワーク研究会 (USN)**

専門委員長 佐藤良明 副委員長 大槻知明・上原秀幸  
幹事 荒川 豊・中澤 仁 幹事補佐 内田大誠・猿渡俊介

◎本研究会は MoMuC 研究会と AN 研究会, USN 研究会の併催  
です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 1月24日(木) 9:00~16:50  
25日(金) 9:20~17:10

会場 作並温泉ゆづくし Salon 一の坊 (仙台市青葉区作並字長原  
3. <http://www.ichinobo.com/sakunami/information/access.html>)

議題 モバイルユビキタス/センサ技術, アドホックネットワー  
ク, RFID, 一般及び技術展示

24日午前 AN・USN 一般講演 1 (2F 蔵王) (9:00~10:20)

AN-1. 車々間通信におけるビーコンの周期的な送信電力増減に  
よる車両位置通知性能向上の検討 ○金原辰典・岡本圭右・  
石原 進 (静岡大)

AN-2. 双方向通信を考慮した車々間通信におけるネットワーク  
コーディングを用いた効率的な配信方式 ○砂川佑太・  
森野博章 (芝浦工大)

AN-3. 車々間通信による仮想信号機を用いた衝突回避  
○阿部恵介・松垣博章 (東京電機大)

AN-4. 電気自動車と電気ヘリコプターが連携する災害地モニタ  
リングシステムの初期検討 ○斎藤卓也・町中裕昭・  
間瀬憲一 (新潟大)

AN・USN 一般講演 2 (2F 蔵王) (10:30~11:50)

AN-5. Bluetooth MANET に基づくネットワークアーキテク  
チャの構築とその適用事例 ○森井幸希・  
角田良明 (広島市大)

AN-6. 無線 LAN 環境におけるピース分割とオーバヒアリング  
を用いた冗長トラフィック削減方式のネットワークエミュレータ  
による評価 ○新田幸司・横瀬広明・大坐島 智・  
加藤聰彦 (電通大)

AN-7. 無線全二重通信のリレーメディアアクセス制御について  
○玉置健太・Ari Raptino H.・杉山佑介・猿渡俊介・  
渡辺 尚 (静岡大)

AN-8. 片方向 FEC 通信を活用した高信頼高並行無線アドホッ  
ク通信手法 ○中川雄太・松垣博章 (東京電機大)

24日午後 AN・USN 一般講演 3 (2F 蔵王) (14:00~15:20)

USN-9. 単一无線 LAN 端末への給電・通信スケジューリングの  
実験 ○井元則克・山下翔大・山本高至・守倉正博 (京大)

USN-10. 有線 LAN・無線 LAN 混在環境におけるサブマイクロ  
秒同期計測 雨海明博 (サリットオプトメーション)

USN-11. 自動車内部の複雑空間において取得された電波伝搬  
データを利用した無線伝送特性評価 ○畑本浩伸・  
菊池典恭・清水 聡 (OKI)

AN-12. マルチホップ通信による無線 LAN 高速化の実験的評価  
○中川 翔・小寺志保・西田昇平・猿渡俊介・  
渡辺 尚 (静岡大)

AN・USN 一般講演 4 (2F 蔵王) (15:30~16:50)

USN-13. マイクロ波ドップラーセンサを利用した人認識システ  
ム構築に向けた基礎検討 ○真島俊亮・森野博章 (芝浦工大)

USN-14. 携帯端末の動きを用いたユーザの類似性抽出による共  
感空間形成システムの検討 ○河合度巳・石原 進 (静岡大)

AN-15. 端末間情報共有のためのネットワーク内キャッシュ管  
理・情報配信手法の検討 ○大和田泰伯・井上真杉・  
原井洋明 (NICT)

USN-16. UBI-Tree を用いたスキーマレスデータの高品質な  
チャンク生成方式の提案と評価 ○森 皓平・荒川 豊・  
中村隆幸・中村元紀・松村 一 (NTT)

25日午前 AN・USN 一般講演 5 (2F 蔵王) (9:20~10:20)

USN-1. A Token Scheduled High Throughput Multi-channel  
Data Collection Protocol for Wireless Sensor Network  
○Jinzhi Liu・Makoto Suzuki・Doohwan Lee・  
Hiroyuki Morikawa (Tokyo Univ.)

AN-2. 高優先パケット群の占有配送による低優先パケットの配  
送遅延延長の短縮手法 ○高橋 恵・松垣博章 (東京電機大)

USN-3. イベント駆動型センサネットワークにおけるクラスタ  
構造を用いたエッジ探索型データ収集法式 ○河井彩公子・  
朝香卓也 (首都大東京)

AN・USN 一般講演 6 (2F 蔵王) (14:00~15:40)

AN-4. エナジーハーベスティング無線センサネットワークにお  
けるバッテリー駆動のセンサノードによるパケットのオーバーヒ  
アを利用したデータ収集方式 ○小泉達也・笹瀬 巖 (慶大)

AN-5. 無線センサネットワークのノード状態管理における自律  
的な応答頻度制御による管理トラフィック削減と管理精度の向上  
○鈴木孝明・角丸貴洋 (NEC)

USN-6. スマートメータリング向け無線センサネットワークに  
おけるトラフィック量に応じたマルチアクセス制御方式の評価  
○柴川 輝・阪田史郎 (千葉大)

USN-7. ユーザセントリックワイヤレスホームセンサネット  
ワークの提案とシステム設計 ○内田大誠・小林 守・  
白戸裕史・俊長秀紀・芝 宏礼・吉野修一 (NTT)

AN-8. AMI 用マルチホップ無線ネットワークにおけるデータ収  
集型通信に関する CSMA/CA と TDMA の性能比較  
○中拂徳仁 (京大)・原田 論・門田和也 (日立)・  
高橋 豊 (京大)

25日午後 AN・USN 一般講演 7 (2F 蔵王) (15:50~17:10)

AN-9. 移動計画に基づく DTN 通信におけるデフォルトルート  
設定の効果 ○岩井正敏・松垣博章 (東京電機大)

AN-10. モバイルエージェントを用いた位置情報利用型ルー  
ティングプロトコルの拡張性に関する検討 ○田中健太・  
塩川茂樹 (神奈川工科大)

AN-11. 無線マルチホップ配送経路修正による経路間競合解消  
手法における送信電力制御 ○埜 祐樹・

梶垣博章 (東京電機大)

AN-12. 半固定レート方式を適用した IEEE802.11n 無線メッシュネットワークにおけるオートレートへの切替検出

○吉本明人・岡田 啓・小林健太郎・片山正昭 (名大)

24 日午前 MoMuC 一般講演 1 (3F 栗駒 2) (9:00~10:15)

MoMuC-1. ネットワーク側測位における端末固有の RSSI の特性を用いた測位精度向上手法の提案

○和泉 晃・三輪直樹 (九大)・田頭茂明 (関西大)・荒川 豊・福田 晃 (九大)

MoMuC-2. スマートフォンを用いた駅ホームにおける混雑推定の検討

○前川勇樹・境 裕樹・内山 彰・山口弘純・東野輝夫 (阪大)

MoMuC-3. Web コンテンツ共有システムの実装とその評価

○猪股耕平・上岡英史 (芝浦工大)

MoMuC 一般講演 2 (3F 栗駒 2) (10:25~12:05)

MoMuC-4. DNSSEC を用いた安全なメディア通信の検証方式

○高原尚志 (UNP)・中村素典 (NII)

MoMuC-5. 視覚心理効果とシーンの動き情報を考慮した高効率動画像配信手法

○後藤悠斗・上岡英史 (芝浦工大)

MoMuC-6. Web ブラウザを用いた動画制御共有システム

○西尾信吾 (電通大)・末田欣子 (NTT/電通大)・多田好克 (電通大)

MoMuC-7. ユーザビリティを考慮した REST 開発支援環境の検討

○中原祥吾 (電通大)・末田欣子 (NTT/電通大)・多田好克 (電通大)

24 日午後 MoMuC 一般講演 3 (3F 栗駒 2) (14:00~15:15)

MoMuC-8. 動的通信品質を考慮したエンド側でのアプリケーション制御による無効トラヒックの削減

○本村耕太・新熊亮一・高橋達郎 (京大)

MoMuC-9. ホームネットワークにおける消費電力削減方式に関する研究

○秋穂 崇・新津善弘 (芝浦工大)

MoMuC-10. スマートデバイスに関する技術戦略について

○梅澤克之・齋藤充宏 (日立)

MoMuC 一般講演 4 (3F 栗駒 2) (15:25~16:40)

MoMuC-11. 不定期データ更新とユーザ使用頻度を考慮した複製配置時の消費電力削減方式

○東 秀亮・新津善弘 (芝浦工大)

MoMuC-12. MANET における通信回数による信頼度評価方式に関する研究

○荒川孝太・新津善弘 (芝浦工大)

MoMuC-13. 屋内環境における移動ユーザを優先中継ノードとする DTN の情報転送方式の提案

○後藤亮文・森野博章 (芝浦工大)

25 日午後 MoMuC 一般講演 5 (3F 栗駒 2) (14:00~15:15)

MoMuC-1. 移動型センサノードを用いたセンサネットワーク構成法に関する研究

○関口純平・新津善弘 (芝浦工大)

MoMuC-2. An implementation design of a real-time radioactivity-level monitoring system via wireless sensor networks

○Maricris Cuison Marimon・Jane Louie Fresco Zamora・Gemalyn Dacillo Abrajano・Diego Javier Reinoso・Noriyuki Suzuki・Shigeru Kashihara (NAIST)

MoMuC-3. マルチエージェントに基づくセンサデータ統合管理機能の検討

○栗田泰洋・伊藤大視・高橋秀幸・笹井一人・北形 元・木下哲男 (東北大)

MoMuC 一般講演 6 (3F 栗駒 2) (15:25~16:40)

MoMuC-4. Theoretic Modeling of Delay Performance for Service-oriented Mobile Network Virtualization

○Lei Zhong・Kiyohide Nakauchi・Yozo Shoji・

Nozomu Nishinaga (NICT)

MoMuC-5. 物理網特性の推定に基づくネットワーク中心性とピア密度を考慮した P2P マルチキャスト中継ピア選択の性能評価

○大西辰弥・森野博章 (芝浦工大)

MoMuC-6. 災害時の移動電源車巡回を考慮したクラスタリングによる巡回地点決定法の評価

○高木俊彰・森野博章 (芝浦工大)

24 日午後 招待講演 1 (2F 蔵王) (13:10~13:50)

1. 未定 寺田 努 (神戸大)

25 日午前 招待講演 2 (2F 蔵王) (10:30~11:10)

1. 未定 三浦 龍 (NICT)

招待講演 3 (2F 蔵王) (11:20~12:00)

2. 未定 原 亮 (Fandroid EAST JAPAN)

25 日午後 技術展示 (3F はな菊) (12:00~14:00)

共通-3. [技術展示] 動的通信品質を考慮したエンド側でのアプリケーション制御の実装と検証

○本村耕太・新熊亮一・高橋達郎 (京大)

共通-4. [技術展示] User-oriented Autonomous Contents Delivery System based on Active Information Resources

○Wenpeng Wei・Aki Asanuma・Shota Kotato・Hideyuki Takahashi・Kazuto Sasai・Gen Kitagata・Tetsuo Kinoshita (Tohoku Univ.)

共通-5. [技術展示] Real-time radioactivity-level monitoring system via wireless sensor networks

○Maricris Cuison Marimon・Gemalyn Dacillo Abrajano・

Diego Javier Reinoso Chisaguano・

Jane Louie Fresco Zamora・Noriyuki Suzuki・

Shigeru Kashihara (NAIST)

共通-6. [技術展示] ひろしま菓子博覧会における遅延・切断耐性モバイルアドホックネットワークに基づく展示評価情報の伝搬・収集システム

○森井幸希・武田航史・太尾田洋介・由井健司・筒井悠史・北浦優也・河野英太郎・井上伸二・

大田知行・角田良明 (広島市大)

共通-7. [技術展示] 900 MHz 帯無線装置を用いた分散型センサネットワークの試作

○竹田光伴・岡田 啓・小林健太郎・片山正昭 (名大)

共通-8. [技術展示] NerveNet によるネットワーク内情報蓄積共有プラットフォームを活用した Android アプリケーション

○大和田泰伯・井上真杉・三浦 龍・浜口 清・原井洋明 (NICT)

共通-9. [技術展示] Time-triggered 1/0 を用いた分散同期サンプリングシステム

雨海明博 (サリフオートメーション)

◎24 日のセッション終了後に、ナイトセッションを企画しております。ナイトセッションの詳細、及び参加申し込みについては、下記案内ページを御覧ください。

[http://www.ieice.org/cs/momuc/jpn/pages/momuc\\_1301/](http://www.ieice.org/cs/momuc/jpn/pages/momuc_1301/)

☆MoMuC 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

3 月 関東 [未定] テーマ: モバイルアドホックネットワーク, モバイル時代を支える次世代無線技術, フィールドセンシング及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

鶴岡行雄 (NTT)

E-mail: tsuruoka.yukio@lab.ntt.co.jp

桒原 茂 (奈良先端大)

E-mail : shigeru@is.aist-nara.ac.jp

◎MoMuC 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/~momuc/jpn/>

☆AN 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

3月 関東〔未定〕テーマ：モバイルアドホックネットワーク、モバイル時代を支える次世代無線技術、フィールドセンシング及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

大和田泰伯 (NICT)・門田和也 (日立)

E-mail : an-kanji@mail.ieice.org

◎最新情報は AN 研究会のホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~an/>

☆USN 研究会

【問合先】

中澤 仁 (慶大)

E-mail : usn-kanji@mail.ieice.org

◎最新情報は、USN 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~usn/index.html>

## ★マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究会(EMM)

専門委員長 馬場口 登 副委員長 西村 明・新見道治

幹事 青木直史・日置尋久 幹事補佐 鶴木祐史・川村正樹

日時 1月29日(火) 13:00~17:30

30日(水) 9:00~15:30

会場 東北大学電気通信研究所2号館4階大会議室(仙台市青葉区片平2-1-1. JR仙台駅より徒歩約20分. <http://www.riec.tohoku.ac.jp/access/index-j.shtml> TEL [022] 217-5420 伊藤彰則)

議題

29日

- 音声信号への口唇画像情報ハイディングによるマルチモーダル情報処理の検討 ○阿部洋平・伊藤彰則(東北大)
- 音声と動画信号へ短い情報を並列して埋め込む電子透かし ○山口 好・古閑敏夫・近藤和弘(山形大)
- カメラによる写りこみを防止するプライバシーバイザーの評価 山田隆行(NII)・合志清一(工学院大)・○越前 功(NII)
- 第1回画像・映像電子透かしコンテスト実施結果とその講評 ○合志清一(工学院大)・栗林 稔(神戸大)・竹下寛久(工学院大)・越前 功(NII)・岩田 基(阪府大)・岩村恵市(東京理科大)
- 〔招待講演〕HTML5時代のマルチメディアサービス 酒澤茂之(KDDI 研)
- 〔パネル討論〕ロードマップ作成から見えてきた情報処理研究分野の将来 ○馬場口 登(阪大)・鈴木陽一(東北大)・越前 功(NII)・日置尋久(京大)・青木直史(北大)

30日午前

- フィンガープリント機能を有する分割放送スケジューリング方式に関する研究 ○魏 超・青木輝勝(東北大)
- 静止画、動画融合アプリケーションのための画像マッチング方式に関する研究 ○羅 迪・青木輝勝(東北大)

3. 映像内容の重要性を考慮した関心領域推定方式に関する研究

○王 国奇・青木輝勝(東北大)

4. クラウド型フリースケールミックストメディアウェアの提案

○辻 順平・山内 翔・川村秀憲・鈴木恵二(北大)

5. 記号列に対する変換に基づく秘密分散法 ○津久井香奈・

横尾英俊(群馬大)

6. 博物館・美術館におけるディスプレイ角度がユーザーの認知・行動・感情に与える影響 ○市野順子(電通大)・

磯田和生・花井綾子・上田哲也(大日本印刷)

30日午後

7. 蝸牛遅延に基づいた電子音響透かし法を利用した音声信号の改ざん検出の検討 ○鶴木祐史・Wang Shengbei・

宮内良太(北陸先端大)

8. 音声合成用素片を用いた秘話通信方式

木幡 稔(千葉工大)

9. 加法と乗法のハイブリッド電子透かしの性能に対する理論的評価 ○池田成吾・吉田真紀・藤原 融(阪大)

10. BPCS ステガノグラフィ法における複雑領域判定法に関する検討 ○原田翔平・島浦紳吾・姜 錫・坂本雄児(北大)

11. SD 式の詳述関係を利用したテキストステガノグラフィ

○脇山正博(北九州高専)・野崎剛一(長崎大)・

吉原将太(長崎純心大)

☆EMM 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

3月7日(木), 8日(金) ATR [1月15日(火)] テーマ:

画質・音質評価, 知覚・認知メトリクス, 人間視聴覚システム, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

## ——信越支部における開催——

### ★ソフトウェア無線研究会(SR)

専門委員長 眞田幸俊 副委員長 阪口 啓・藤井威生

幹事 有吉正行・亀田 卓

幹事補佐 田久 修・石津健太郎・矢野一人

日時 1月24日(木) 13:15~17:15

25日(金) 9:30~14:55

会場 長野市ものづくり支援センター5階産学行交流室(長野市若里4-17-1. 信州大学長野(工学)キャンパス内. JR長野駅東口から徒歩20分. バスも利用可能. <http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/maps/map03.html> TEL [026] 269-5255 田久 修)

議題 コグニティブ無線ネットワーク, クロスレイヤ技術(国際ワークショップ開催)

24日 一般

1. How Fluid Computing Enables CloudRAN PHY Virtualization and Mobile Cloud Computing Manuel Uhm

(Coherent Logix/Wireless Innovation Forum)

2. A TV White Space Spectrum Sensing Device with Robust Sensing Performance and Attractive Physical Features

○Chunyi Song・Takeshi Matsumura・

Hiroshi Harada (NICT)

国際ワークショップ(第二種研究会)

3. SDR Researches in HY-MC Research Center of Hanyang

University Hyungwook Yang・Donghyun Keum・  
Yong Kim・Hyung-sub Lee・  
○Seungwon Choi (Hanyang univ.)

4. New Strategic Directions of the Wireless Innovation Forum  
Manuel Uhm (Coherent Logix/Wireless Innovation Forum)

#### 招待講演

5. [招待講演] R & D Project of Multilayered Communications  
Network—For disaster-resilient communications—  
○Shingo Ohmori (YRP-IAI)・  
Fumiyuki Adachi (Tohoku Univ.)・  
Kazunori Takeuchi (KDDI Lab.)・Yoji Kishi (KDDI)・  
Masaharu Hamaguchi (OKI)・Ryo Kajiwara (YRP)

#### 25 日午前 一般

1. 非線形性と量子化雑音を持つスペクトル検出器における二段階検出方式の信号検出特性 ○山下拓磨・  
榎田洋太郎 (東京理科大)・田久 修 (信州大)
2. 加算型 FFT フレームを用いたオーバーラップ FFT による隣接チャンネルにおける信号検出特性 ○佐藤顕裕・稲森真美子・  
眞田幸俊 (慶大)・Mohammad Ghavami (ロンドンナウズバク大)
3. 周波数共用における非優先システムの干渉電力推定手法  
○池田 敦・富里 繁 (岡山大)・藤井啓正 (NTT ドコモ)・  
秦 正治 (岡山大)
4. 誤検出を考慮した学習型占有率測定法を用いたランデブチャンネルの総時間評価 ○山北恭之・若尾悠太・  
田久 修 (信州大)・藤井威生 (電通大)・笹森文仁・  
半田志郎 (信州大)
5. 時間相関を有するチャンネル利用環境での学習型占有率測定法を用いたランデブチャンネルにおける最適学習期間の評価  
○若尾悠太・山北恭之・田久 修 (信州大)・  
藤井威生 (電通大)・笹森文仁・半田志郎 (信州大)
6. ロジックモデルを用いた利用可能チャンネル二段階推定法  
○岡本和久・藤井威生 (電通大)・田島博和 (東京経済大)

#### 25 日午後 (13:15~)

7. TVWS を利用したコグニティブ無線メッシュネットワークにおけるチャンネル割り当て及び経路の最適化  
○高相一輝 (東京理科大)・長谷川幹雄 (東京理科大/NICT)・  
石津健太郎・村上 誉・原田博司 (NICT)
8. UHF 帯コンバータによる TV 帯通信機能を実装したタブレット型携帯端末の試作 ○松村 武・原田博司 (NICT)
9. プライマリ干渉量を考慮したコグニティブマルチホップネットワークにおけるリソース分配法  
○加国秀太 (電通大)・田久 修 (信州大)・  
藤井威生 (電通大)
10. ヘテロジニアス型コグニティブ無線を適用した公共用移動通信システムのビタビ復号特性改善方策 ○森山雅文・  
藤井威生 (電通大)

◎24 日研究会終了後、うるおい館 (<http://www.uruoikan.com/>) にて懇親会を予定していますので是非御参加下さい。

☆SR 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

2月27日(水)~3月1日(金) 早大〔締切済〕テーマ:移動通信ワークショップ

#### 【問合先】

矢野一人 (ATR)  
TEL [0774] 95-1578, FAX [0774] 95-1508  
E-mail: yano@m.ieice.org

◎最新情報は SR 研究会のホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/sr/jpn/>

### ——東海支部における開催——

#### ★有機エレクトロニクス研究会 (OME)

専門委員長 白井博明 副委員長 加藤景三  
幹事 松田直樹・中村二郎 幹事補佐 鴻野晃洋

日時 1月24日(木) 13:00~16:50

会場 ウィンクあいち (名古屋市中村区名駅4-4-38. JR 名古屋  
駅桜通口からミッドランドスクエア方面徒歩5分. <http://www.winc-aichi.jp/access/> 松井龍之介 (三重大))

#### 議題 有機材料・一般

- OME-1. [招待講演] 角度依存性のない構造発色材料  
竹岡敬和 (名大)
- OME-2. PCDTBT/PC71BM 混合溶液により作製された活性層を用いた有機太陽電池の特性の評価  
○落合鎮康・  
Santhakumar Kannappan (愛知工大)
- OME-3. ニッケルメッシュを用いたタンデム色素増感太陽電池の擬固体化  
○顔 政杰・軸丸武弘 (名大)・  
森 竜雄 (愛知工大)
- OME-4. カーボンナノチューブへの強磁性金属の内包と磁気特性制御  
○長田 篤・佐藤英樹・久保中伸雄・  
藤原裕司 (三重大)
- OME-5. 減圧 CVD 法によるグラフェン成長制御  
○前坂考哉・佐藤英樹・三宅秀人・平松和政 (三重大)
- OME-6. チオール系自己組織化単分子膜を修飾した金属電極を利用した有機薄膜の電導特性  
○今井一博 (名大)・  
森 竜雄 (愛知工大/名大)・西川尚男 (岩手大)・  
佐藤敏一 (豊田中研)
- OME-7. 液晶マイクロシリンダーにおけるフォトリソ・ナノジェット生成の FDTD 解析  
○横井宗次郎・岡島亜希子・  
松井龍之介 (三重大)

#### ◆電気学会; 誘電・絶縁材料研究会連催

◎このプログラムは暫定版です。最新のプログラムは OME 研究会の HP 等で御確認下さい。

#### 【問合先】

松田直樹 (産総研)  
E-mail: naoki.matsuda@aist.go.jp  
中村二郎 (NTT)  
E-mail: jnaka@aecl.ntt.co.jp

#### ★電子ディスプレイ研究会 (EID)

専門委員長 服部励治 副委員長 志賀智一・小南裕子  
幹事 伊達宗和・山口雅浩 幹事補佐 増田善友・山口留美子・  
山口 一・藤田悦昌・新田博幸・小澤史朗・中田 充

日時 1月24日(木) 13:30~17:00  
25日(金) 9:30~15:00

会場 静岡大学浜松キャンパス佐鳴会館 (浜松市中区城北3-5-  
1. JR: 浜松駅からバスで20分. <http://hama.shizuoka.ac.jp/pages/access/> TEL [053] 478-1319 根尾陽一郎)

#### 議題 発光型/非発光型ディスプレイ

24 日

- EID-1. 六角形状 GaN マイクロディスク結晶における光共振機構の検証 ○光野徹也(静岡大)・酒井 優(山梨大)・岸野克巳(上智大)・原 和彦(静岡大)
2. Si<sub>3</sub>N<sub>4</sub>/Si 基板上 Y<sub>2</sub>O<sub>3</sub>:Eu 極薄膜の構造及び発光特性  
○神谷将至・三宅亜紀・名和靖矩・居波 涉・小南裕子・杉田篤史・中西洋一郎・原 和彦・川田善正(静岡大)
3. 低電圧で発光する CuAlS<sub>2</sub>:Mn 薄膜 EL 素子  
○中村祐介・大島祐樹・大観光徳(鳥取大)
4. 金ナノロッドの表面プラズモンカソードルミネッセンス  
○小野篤史・川島光雄・居波 涉・川田善正(静岡大)
5. 非周期的構造物を用いた発光の角度分布制御  
○平野芳邦・田中 克・本山 靖・石井啓二(NHK)・関 昌彦(NHK-ES)・斎藤信雄(NHK)
6. Si<sub>3</sub>N<sub>4</sub> 上に作製した ZnO 蛍光体薄膜の構造及び発光特性  
○三宅亜紀・金森 聡・居波 涉・小南裕子・川田善正・中西洋一郎(静岡大)
- EID-7. 真空紫外励起用ケイ酸塩・アルミノケイ酸塩蛍光体における結晶構造と焼成劣化に関する研究 ○中村公彦・大観光徳(鳥取大)・國本 崇(徳島文理大)
- EID-8. 微粒子蛍光体を用いたインクジェット法により作製した無機薄膜 EL 素子 ○俵谷佳典・福田尚哉・大観光徳(鳥取大)
- EID-9. (Zn<sub>1-x</sub>M<sub>x</sub>)<sub>3</sub>V<sub>2</sub>O<sub>8</sub> 蛍光体の作製とフォトルミネッセンス評価 ○李 廷廷・本多善太郎・福田武司・羅 キョウ蓮・鎌田憲彦(埼玉大)
- EID-10. 溶液合成法により作製した珪酸塩蛍光体の形態制御  
○赤座義広・山科憲司・大観光徳(鳥取大)
- EID-11. 全有機自己整合トランジスタ ○村本龍法・中 茂樹・岡田裕之(富山大)
- EID-12. Alq<sub>3</sub> 膜上へのスパッタリング薄膜の作製とその発光効率への影響 ○稲富雅彰・飯村靖文(東京農工大)
- EID-13. InGaN 量子井戸の 2 波長励起フォトルミネッセンスによる評価 ○村越尚輝・トウヒドル イスラム・福田武司・鎌田憲彦(埼玉大)・荒川泰彦(東大)
14. 電子線読み取り X 線撮像管の基礎研究 ○根尾陽一郎・青木 徹・三村秀典(静岡大)
- 25 日
- EID-1. プローブドローピング法を用いた緑色燐光有機 EL 素子の発光領域解析 ○櫻井誠也・三上明義(金沢工大)
2. 対角 145 インチスーパーハイビジョン用 PDP の表示特性  
○石井啓二・薄井武順・斎藤信雄・清水直樹(NHK)・石橋 将・野口康幸・山下 武・村井隆一(パソニック)
- EID-3. マルチ階調サブフィールド方式による次世代高解像度 PDP の画質劣化低減 ○森岡友一郎・志賀智一(電通大)
4. 酸化物半導体 TFT のシミュレーションモデルの開発  
○辻 博史・中田 充・佐藤弘人・中嶋宜樹・藤崎好英・武井達哉・山本敏裕・藤掛英夫(NHK)
5. 非真空プロセス「ミスト CVD 法」での IGZO/AlO<sub>x</sub> 酸化物 TFT の作製とその特性 ○川原村敏幸・内田貴之・王 大鵬・古田 守(高知工科大)
- EID-6. 有機 TFT バックプレーンにおける寄生容量測定  
○吉原和貴・金 丞謙・服部励治(九大)
7. ESD 法を用いた 2 種類配向材の分散塗布によるネマティック液晶の高ブレチルト角制御 ○内田裕大(工学院大)・工藤幸寛(工学院大)・高橋泰樹(工学院大)
8. 液晶レンズを用いた 3 次元顕微鏡 ○石黒駿介・河村希典・湯本英治・及川郷志(秋田大)

- EID-9. リバースモード分散型液晶素子のセル厚依存性  
○櫻井慎太郎・山口留美子(秋田大)・嘉本 律(マイクロナシラポ)
- EID-10. TAOS-TFT LCD における再充電効果を低減する新規画素設計法 川野英郎
- EID-11. 配向分割液晶表示素子における面積階調表示特性の数値解析 徳田恭平・○山口留美子(秋田大)
- EID-12. 新規反射型高コントラストねじれ双安定液晶ディスプレイ 高橋泰樹(工学院大)
- EID-13. 偏光 UV 光の斜方照射により誘起されるネマティック液晶双安定配向の横電界スイッチング ○嘉戸龍成・高橋泰樹(工学院大)
- EID-14. フレキシブル LCD のためのコンピュータシミュレータの開発 飯村靖文(東京農工大)
15. 3D コンテンツの視差量の分析 ○工藤広太郎・竹本雅憲・窪田 悟(成蹊大)・嶋田 淳・中村芳知(三菱電機)
16. 飛び出し DFD (Depth-fused 3D) 表示一最適な表示条件の探求一 ○園部博史・川上淳之介・山本裕紹・陶山史朗(徳島大)
- EID-17. 容量結合無線電力伝送における回路シミュレーションと理論的考察 ○高橋達也・服部励治(九大)
- ◆映像情報メディア学会; 情報ディスプレイ研究会, 電気学会; 電子デバイス技術委員会連催. 照明学会; 固体光源分科会, SID 日本支部共催

### — 関西支部における開催 —

#### ★システム数理と応用研究会 (MSS)

専門委員長 平石邦彦 副委員長 中村祐一  
幹事 中村正樹・山口真之介 幹事補佐 西脇大輔

日時 1月22日(火) 10:45~16:50

23日(水) 9:15~16:35

会場 大阪国際会議場会議室 1102 (大阪市北区中之島 5-3-51. 京阪電車中之島線: 中之島(大阪国際会議場) 駅(2番出口すぐ). JR環状線: 福島駅から徒歩(約10分). JR東西線: 新福島駅(2番・3番出口) から徒歩(約10分). 阪神電鉄: 福島駅3番出口から徒歩(10分). 地下鉄: 阿波座駅(中央線1号出口・千日前線9号出口) から徒歩(約10分). <http://www.gco.co.jp/ja/riyo/access.html> TEL [06] 4803-5555 (会場 山崎達志(摂南大))

#### 議題

22日午前

1. 調停に基づく多目的ゲームの水資源問題への応用  
○坪谷浩美・金澤尚史・潮 俊光(阪大)
2. ネット商取引のゲーム理論的考察 ○吉田明弘・坂間千秋(和歌山大)
3. 観測データ欠落時における経路計画手法を用いた経路予測  
○澤田めぐみ・尾崎敦夫・渡部修介(三菱電機)

22日午後(14:25~)

4. 健全な拡張自由選択ワークフローネットの可達性の多項式時間判定について ○加納大暉・山口真悟(山口大)
5. 自由選択ワークフローネットにおける非安全マーキングへの可達性解析 ○村上雄基・豊嶋伊知郎・山口真悟(山口大)

6. 滞留なしペトリネットにおける依存部分ネット決定アルゴリズムの提案 ○松本唯尊・葛崎偉・松野浩嗣(山口大)
7. [招待講演] Design and Performance Analysis of Algorithms for Petri Nets Toshimasa Watanabe (Hiroshima Univ.)

23日午前

1. コンカレント同期合成でモデル化された離散事象システムの可観測性解析 ○王龍江・高井重昌(阪大)
2. 1ステップ予測区間に着目した線形システムのSelf-Triggered最適制御 ○小林孝一・平石邦彦(北陸先端大)
3. 2シャフトエレベータにおけるピーク電力抑制と利便性を両立する制御手法の効果 ○中山健太郎・高橋宏治(東工大)
4. 複数評価基準希望リストを用いた安定結婚問題における安定性に関する考察 ○金城秀樹(沖縄大)・名嘉村盛和(琉球大)

23日午後(15:20~)

5. 順序木の類似度を評価する手法の提案—C言語プログラムの類似性検証への応用— ○包胡日晝・中田充・葛崎偉(山口大)
6. グラフの極小決定セットを発見するアルゴリズムの提案 ○高地くるみ・中田充・葛崎偉(山口大)
7. カンファレンスプログラム編成のための局所探索法の性能強化—初期解生成と近傍交換— ○奥本政彦・田岡智志・渡邊敏正(広島大)

◎22日13:00~14:15, 23日9:15~10:30, 13:30~15:10, 同会場で開催される計測自動制御学会離散事象システム研究会のプログラムについては下記URLを御覧ください。

<http://www.sice.or.jp/discrete/>

☆MSS研究会今後の予定 [ ]内発表申込締切日

3月6日(水)~8日(金) 休暇村志賀島[未定] テーマ:一般

**[発表申込先]** 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

**[問合先]**

中村正樹(富山県立大)

TEL [0766] 56-7500 (内639)

E-mail: masaki-n@pu-toyama.ac.jp

**★パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU)**

専門委員長 山田敬嗣 副委員長 大町真一郎・柏野邦夫  
幹事 飯山将晃・関真規人 幹事補佐 田中宏・堀田政二

**★マルチメディア・仮想環境基礎研究会 (MVE)**

専門委員長 柳田康幸 副委員長 小林稔  
幹事 井手一郎・蔵田武志・米澤朋子  
幹事補佐 三上弾・杉本麻樹・酒田信親

日時 1月23日(水) 9:00~18:10

24日(木) 9:00~17:25

会場 京都大学吉田キャンパス百周年時計台記念館2階国際交流ホール(京都市左京区吉田本町。JR/近鉄:京都駅から市バス206系統「東山通北大路バスターミナル」行(約40分), 阪急:河原町駅から市バス201系統「祇園・百万遍」行(約30分), 地下鉄烏丸線:烏丸今出川駅から市バス201系統「百万遍・祇園」行(約20分)で「京大正門前」または「百万遍」下車。京阪:出町柳駅から東へ徒歩約20分。 [http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r\\_y.htm](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r_y.htm) 近藤一晃)

議題 実時間処理, 実空間センシングと環境理解

第一種研究会開催案内

23日午前 セッション1A(一般)(9:00~10:30)

1. Optimal Sampling for Efficient BRDF Acquisition  
○Asad Ali(東大)・Imari Sato(NII)・Takahiro Okabe・Yoichi Sato(東大)
2. 蛍光成分を含む物体の分光反射率と吸収・発光特性の推定  
○小橋泰之(東大)・佐藤いまり(NII)・岡部孝弘・佐藤洋一(東大)
3. カメラ応答関数の自動校正を伴う照度差ステレオ:非ランバート物体への拡張 ○モンコンマーン ウィーンナート・岡部隆弘・佐藤洋一(東大)

セッション1B(一般)(9:00~10:30)

- PRMU-4. 人物画像の階層的クラスタリングと共通特徴点抽出の同時実行による顔モデル生成 ○福井崇之・和田俊和・大池洋史・坂田 惇(和歌山大)
- PRMU-5. エッジ成分の方向分布と空間的配置に着目した情景画像からの文字列抽出 ○北田英樹・若原 徹(法政大)
- PRMU-6. 画像認識に基づくマーケティング映像における人物行動認識 ○高橋俊允・上條俊介(東大)

セッション1C(テーマ)(9:00~10:40)

- MVE-7. スマートフォンを用いた初心者支援AR麻雀システムの開発 ○矢田和也・高井昌彰(北大)
- MVE-8. デジタルミュージアム実現のための間接的展示技術 ○脇田 航・田中弘美(立命館大)
- MVE-9. オープンスペース内における複数人・物間の偶発的インタラクションの参与者グループ認識 ○喜住祐紀・角所 考(関西学院大)・船富卓哉・飯山将晃(京大)

セッション2A(一般)(10:40~12:10)

10. 車載カメラで撮影した画像列と市街地地図情報を用いた建築物の出現・消失の推定 ○手塚大基・岡谷貴之・出口光一郎(東北大)
11. ロバストバンドル調整を用いた車載ステレオカメラのセルフキャリブレーション ○深澤至貴・岡谷貴之・出口光一郎(東北大)
12. 方向変換モデルを用いた複数カメラ間での人物照合 ○川合 諒・榎原 靖・村松大吾・岩間晴之・八木康史(阪大)

セッション2B(一般)(10:40~12:10)

- PRMU-13. Multi-scale Image Piece Words ヒストグラムを用いた映像検索 ○望月貴裕・藤井真人(NHK)
- PRMU-14. Multiple-Instance Learningを用いたCo-segmentation ○坂田 惇・和田俊和(和歌山大)
- PRMU-15. Diverse Densityに基づく画像データ検索用キーポイント抽出法について ○湯浅圭太・和田俊和・大池洋史・坂田 惇(和歌山大)

セッション2C(テーマ)(10:40~12:10)

- MVE-16. 複数の超音波スピーカを用いた音像位置の補間と視覚補助に基づく移動音像の実現 ○伊藤仁一・中山雅人・西浦敬信・木村朝子・柴田史久・田村秀行(立命館大)
- MVE-17. S3D化に伴うMR-PreVizシステムの機能拡張と性能向上(2)—特徴点の3つ組を利用したステレオカメラ位置姿勢推定法— ○森 尚平・柴田史久・木村朝子・田村秀行(立命館大)
- MVE-18. 複合現実空間におけるShape-COG Illusion 知覚の新たな知見 ○面迫宏樹・木村朝子・柴田史久・田村秀行(立命館大)

23日午後 CVIM チュートリアル(13:10~14:50)

19. ディープラーニング ○岡谷貴之・○齋藤真樹 (東北大) 大和淳司 (NTT)・青木孝文 (東北大)  
特別講演 (14:50~16:10)
20. ステレオカメラによる自動車運転支援システム 実吉敬二 (東工大)
- セッション3A (テーマ) (16:10~18:10)
21. 携帯端末におけるロケーションセンサを併用したクライアント/サーバ型マーカレス AR 手法の提案 ○若間弘典・○片寄晴弘 (関西学院大)
22. Cubistic 表現を用いた未知物体のオンライン3次元形状・姿勢推定 ○吉本廣雅・中村裕一 (京大)
23. 特徴量辞書を用いた屋外環境下における自己位置推定手法の提案 ○神山 朗・赤嶺有平 (琉球大)
24. パーティクルフィルタとフレーム間差分を組み合わせた害鳥検知システムの提案 ○藤井秀和・永田明德 (東京工科大)
- セッション3B (テーマ) (16:10~18:10)
- PRMU-25. 能動的ナビゲーションのための拡張カルマンフィルタによる実時間道路状況推定 ○百合本瑞規・榎並直子・有木康雄 (神戸大)
- PRMU-26. モーションブレンダーを活用したバドミントンシャトルの追跡手法 ○穴戸英彦・北原 格・亀田能成・大田友一 (筑波大)
- PRMU-27. 時間連続性と顔形状制約を考慮した線形予測に基づく特徴点追跡 ○松田龍英・前島謙宣・森島繁生 (早大)
- PRMU-28. パターン表現のスパース性に基づく知識発見・獲得の試み ○小松祐太・酒井智弥 (長崎大)
- セッション3C (一般) (16:10~18:10)
- MVE-29. 仮想環境における嗅覚・力覚・聴覚が臨場感に与える効果 ○前田慶博・黄 平国・石橋 豊・福嶋慶繁・菅原真司 (名工大)
- MVE-30. 祇園囃子の放射特性を考慮した高臨場音場の構築 ○吉元直輝・福森隆寛・中山雅人・西浦敬信 (立命館大)
- MVE-31. Six degrees of freedom vibration platform for virtual yamahoko parade ○Liang Li (Ritsumeikan Univ.)・Woong Choi (Gunma National College of Tech.)・Kozaburo Hachimura (Ritsumeikan Univ.)
- MVE-32. 端末間同期制御を用いたメディア間同期アルゴリズム ○長田純矢・三宮大弥・石橋 豊・福嶋慶繁・菅原真司 (名工大)
- 24 日午前 セッション4A (一般) (9:00~10:30)
- PRMU-1. 計算機による主観的評価を目指した印象評価器に関する研究—絵画を題材とした印象因子と画像特徴量の関係を用いて— ○坂本竜次・木原 健・鹿嶋雅之・佐藤公則・渡邊 睦 (鹿児島大)
- PRMU-2. 視線測定に基づく動作顕著性モデルの構築 柿原康博・○榎並直子・高柳陽平・有木康雄 (神戸大)
- PRMU-3. 実写画像からの肌微細構造パラメータの推定 ○猪股真美・黒川海映・伊藤貴之 (お茶の水女子大)・豊田成人・大高 瞳・笹本裕美 (資生堂)
- セッション4B (テーマ) (9:00~10:30)
- PRMU-4. 距離・画像センサを利用した3次元顔追跡・認識融合 ○片山聡一郎・中岸久佳・右田剛史・尺長 健 (岡山大)
- PRMU-5. ライトフィールドセンシングによる任意注視空間での物体検出 ○島田敬士・長原 一・谷口倫一郎 (九大)
- PRMU-6. 正確な色再現を目的とした2眼ステレオ式6バンドビデオシステム ○土田 勝 (NTT)・酒井修二・三浦 衛・伊藤康一 (東北大)・川西隆仁・柏野邦夫・
- セッション4C (テーマ) (9:30~10:40)
- MVE-7. 拡張自由視点画像生成を用いた遠隔移動ロボットの操縦インタフェース ○上田優子・大倉史生・佐藤智和・横矢直和 (奈良先端大)
- MVE-8. 拡張現実感のための視点依存テクスチャ・ジオメトリに基づく仮想化実物体の輪郭形状の修復 ○宇野祐介・中島悠太・河合紀彦・佐藤智和・横矢直和 (奈良先端大)
- セッション5A (コメント制度セッション) (10:40~12:10)
9. グリッド法を用いた粒子フィルタのラオ・ブラックウェル化 川本一彦 (千葉大)
10. 車載カメラによる運転者の視線解析 松尾治夫 (日産自動車)
11. RGB-D カメラと鏡面球を用いた可視性関数の推定と人物の Re-lighting への応用 ○池田拓也・フランソワ ドゥ ソルビエ・杉本麻樹・齋藤英雄 (慶大)
- セッション5B (一般) (10:40~12:10)
- PRMU-12. 歪度最大基準に基づく特徴選択法による低品質手書き文字認識手法の検討 ○鈴木雅人・北越大輔 (東京高専)・松本章代 (東北学院大)
- PRMU-13. ほけ推定に適した開口形状とそれを用いた文字認識の高速化 ○伊村政志・岩村雅一 (阪府大)・日浦慎作 (広島市大)・黄瀬浩一 (阪府大)
- PRMU-14. 加速度センサの傾き情報を併用した空中手書き文字認識 ○大坪由香利・中井 満 (富山県立大)
- セッション5C (一般) (10:40~12:10)
- MVE-15. Kinect を用いた居住空間データのポリゴンリダクションに関する検討 ○上田 賢・米澤朋子 (関西大)
- MVE-16. Obtaining Shading Properties from multi-viewpoint images ○Ryan Jones (Georgia Tech.)・Yasuhiro Yao・Harumi Kawamura・Akira Kojima (NTT)
- MVE-17. デジタルミュージアムのための京都町並みコンテンツの作成 ○田中 覚・仲田 晋 (立命館大)
- 24 日午後 国際会議報告 (13:10~13:40)
18. ECCV2012 参加報告 ○奥村麻由 (東芝)・○中澤篤志 (阪大)・○佐藤いまり (NII)・○向川康博 (阪大)
- 国際会議報告 (13:40~14:45)
- MVE-19. ISMAR 2012 報告 ○内山英昭 (東芝)・神原誠之 (奈良先端大)・柴田史久 (立命館大)・清川 清 (阪大)
- セッション6A (一般) (14:45~16:15)
- PRMU-20. 深度を用いた能動対象追跡 ○島田喜明・和田俊和 (和歌山大)
- PRMU-21. 信念伝搬型シフト法による3次元形状計測 ○井上 学・和田俊和 (和歌山大)
- PRMU-22. Kinect のための Bilateral Filtering を用いた距離画像とカラー画像の整合法 竹中晴香 (和歌山大)
- セッション6B (一般) (14:45~16:15)
- PRMU-23. 動的 Active Set を用いた Gaussian Process Regression によるベクトル出力推定法 ○松村祐貴・和田俊和 (和歌山大)・前田俊二・渋谷久恵 (日立)
- PRMU-24. クラスタ数の自動選択による K-means クラスタリングとサポートベクターマシンを用いた情景内カラー文字画像の2値化と認識 ○遠藤光太郎・若原 徹 (法政大)
- PRMU-25. ハイブリッド型転移学習による物体検出における学習の効率化 ○土屋成光・山内悠嗣 (中部大)・

山下隆義 (和音)・藤吉弘亘 (中部大)

セッション 6C (テーマ) (14:45~16:25)

MVE-26. クライアントサーバモデルに基づく携帯端末の位置姿勢推定機構(5)―位置合わせ手法の動的切替機構の開発―

○海津優介・中西恭平・柴田史久・木村朝子・田村秀行 (立命館大)

MVE-27. AR のための一般物体を用いた光源環境と物体の反射特性の推定

○安原広幸・間下以大・清川 清・竹村治雄 (阪大)

MVE-28. カメラ内蔵タブレット型拡張現実感における実画像幾何補正

○富岡 誠・池田 聖・佐藤宏介 (阪大)

セッション 7A (一般) (16:25~17:25)

PRMU-29. 画像識別と回帰計算に基づく近赤外線顔画像のカラー化手法

○森 敦・和田俊和・大池洋史 (和歌山大)

PRMU-30. 拡張現実における位置認識のための動的発光マーカの開発

○遠藤裕雄・宮尾淳一 (広島大)

セッション 7C (一般) (16:25~17:25)

MVE-31. Influence of Network Delay in Networked Haptic Drum Performance

○Mya Sithu・Pingguo Huang・Yutaka Ishibashi (Nagoya Inst. of Tech.)

MVE-32. Kinect を用いたリアルタイム群舞制御システム

○吉田逸生・曾我麻佐子 (龍谷大)

◆情報処理学会; コンピュータビジョンとイメージメディア研究会連催. SIG-MR 共催

◎23日研究会終了後,懇親会を予定していますので御参加下さい.

☆PRMU 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

2月21日(木), 22日(金) 阪府大〔締切済〕テーマ:大規模データベースとパターン認識

3月14日(木), 15日(金) 電通大〔1月7日(月)〕テーマ:文字・文書の認識と理解及びアルゴリズム・システム評価

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

PRMU 研究会幹事宛

E-mail: prmu-kanji@mail.ieice.org

☆MVE 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

3月11日(月), 12日(火) 福岡工大〔1月15日(火)〕  
テーマ:メディア・コミュニケーションの品質と福祉, 及び一般(食メディア研究会協賛)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

井手一郎(名大)・蔵田武志(産総研)・米澤朋子(関西大)

E-mail: mve-apply2012@mail.ieice.org

## ★超音波研究会 (US)

専門委員長 橋本研也 副委員長 金井 浩・梅村晋一郎

幹事 三浦 光・美谷周二朗 幹事補佐 山口 匡

## ★応用音響研究会 (EA)

専門委員長 小野一穂 副委員長 三好正人・岩谷幸雄

幹事 大谷 真・戸上真人 幹事補佐 水町光徳

◎本研究会は US 研究会と EA 研究会の併催です. 研究会資料は各研究会ごとに発行されます.

日時 1月24日(木) 10:40~17:20

25日(金) 10:20~15:20

会場 同志社大学室町キャンパス寒梅館(京都市上京区今出川通り烏丸東入. 地下鉄:今出川駅から徒歩1分. [http://www.doshisha.ac.jp/access/ima\\_access.html](http://www.doshisha.ac.jp/access/ima_access.html) TEL〔0774〕65-6300 松川真美)

議題 音響・超音波サブソサイエティ合同研究会:応用(電気)音響, 超音波, 一般

24日午前 EA (10:40~12:00)

EA-1. ユーザ動作雑音を含む非可聴つぶやき音声における多チャンネル異種センサ統合に基づくブラインド音声抽出

○糸井三由希・崎崎亮一・戸田智基・猿渡 洋・鹿野清宏(奈良先端大)

EA-2. 方位クラスタリングと非負値行列因子分解を組み合わせた音楽信号分離における低歪み処理構造の検討

○岩尾悠祐・猿渡 洋・鎌土記良・鹿野清宏(奈良先端大)・近藤多伸・高橋 祐(ヤマハ)

EA-3. 基底変形型教師あり NMF による実楽器信号分離

○北村大地・猿渡 洋・鹿野清宏(奈良先端大)・近藤多伸・高橋 祐(ヤマハ)

EA-4. Introducing Multiple Microphone Arrays for Enhancing Smart Home Voice Control

○Shimpei Soda・Masahide Nakamura・Shinsuke Matsumoto・Shintaro Izumi・Hiroshi Kawaguchi・Masahiko Yoshimoto (Kobe Univ.)

US (10:40~12:00)

US-5. 圧電センサによるピオチン固定化マイクロバブルの特異的吸着の計測

○村本貴茂・下谷遼資・吉田憲司・渡辺好章(同志社大)

US-6. 超音波を用いた高精度ガス濃度測定法

○福岡浩彰・葛 晰遥・加藤喜峰・井上雅弘(九大)・藤田秀朗(和イメック)

US-7. MTI フィルタと位相追尾を用いた微小振動計測の実験的検討

○干場功太郎・平田慎之介・蜂屋弘之(東工大)

US-8. 不規則な変動を有する超音波ビームの送信によるスペクトル抑圧法の検討

○鈴木晴佳・田川憲男・大久保 寛(首都大東京)

24日午後 EA & US 共通講演 (13:10~17:20)

共通-9. キャリア波と側帯波の分離放射による再生領域制御の検討

○中山雅人・松井 唯・西浦敬信(立命館大)

共通-10. 超指向性スピーカを用いた鉛直方向の音像制御の検討

○前田久美・西野隆典・成瀬 央(三重大)

共通-11. レーザ誘起創発的応力波の形成プロセスの実験的検討

○得永嘉昭・折坂駿介・會澤康治(金沢工大)

共通-12. 動的超音波散乱法による沈降マイクロ粒子のダイナミクスに関する研究―流体力学的長距離相互作用と静電的相互作用の競合―

○杉田一樹・則末智久・宮田貴章(京都工繊大)

共通-13. [招待講演] 音空間レンダリング技術の開発―シリコンコンサートホールの実現に向けて―

○土屋隆生(同志社大)・岩谷幸雄(東北学院大)・大谷 真(信州大)・井口 寧(北陸先端大)

共通-14. 車の走行に伴う路面振動に着目した夏/冬タイヤの判別

○三浦聡一郎・塚田隆裕・野村英之・鎌倉友男(電通大)・谷壽徹也(名古屋電機)・上田浩次(大同大)・宇佐見順二(NEXCO 中日本)・エゾ名古屋

共通-15. パラメトリック差音へのパルス圧縮技術適用の実験的

検討 ○野村英之・安達日出夫・鎌倉友男（電通大）・  
Gregory T. Clement (HMS)  
共通-16. 熱音響システムにおける Phase Adjuster の音響特性に  
関する実験的検討 ○折野裕一郎・坂本眞一・乾 義尚・  
池之上卓己（滋賀県立大）・渡辺好章（同志社大）  
共通-17. [招待講演] 超音波スペクトロスコーピーとレオロジー  
酒井啓司（東大）

25 日午前 EA (10:20~12:00)

EA-1. 話者と騒音源との距離の差を利用する音声強調マイクロ  
ホンアレーに関する検討 ○日笠 晃・  
藤井健作（兵庫県立大）・棟安実治（関西大）・  
森本雅和（兵庫県立大）  
EA-2. 非最小位相空間における 2 マイクロホンアレーシステム  
を用いた残響低減法に関する検討 ○岸田裕士・  
藤井健作（兵庫県立大）・棟安実治（関西大）・  
森本雅和（兵庫県立大）  
EA-3. 方程式誤差法に基づく音源方向推定に関する検討  
○松田貴文・藤井健作（兵庫県立大）・棟安実治（関西大）・  
森本雅和（兵庫県立大）  
EA-4. Investigation into the shield configuration of preamplifier  
on free-field reciprocity calibrations  
○Hironobu Takahashi・Ryuzo Horiuchi (AIST)  
EA-5. 小型音響機器における音孔配置条件による音響特性の変  
化に関する検討 ○杉原康介（関西大）・  
中村将志（富士通 TEN）・宮倉隆志（ホソノ）・野村康雄・  
梶川嘉延（関西大）

US (10:20~12:00)

US-6. ループ管方式熱音響冷却システムにおいて局所的な断面  
積拡大による共鳴モード制御が冷却能力に与える影響について  
○井上 学（同志社大）・坂本眞一（滋賀県立大）・  
中野陽介・渡辺好章（同志社大）  
US-7. 直管方式熱音響システムにおける Q 値を用いた性能予測  
に向けての基礎検討 ○柴田健次（同志社大）・  
坂本眞一（滋賀県立大）・中野陽介・柳本浩平・竹内豪紀・  
渡辺好章（同志社大）  
US-8. チタン製中空円筒の外側面に水熱合成 PZT を成膜した  
キャピテーションセンサの小型化に関する検討  
○植村友樹・椎葉倫久（桐蔭横浜大）・内田武吉・  
菊池恒男（産総研）・黒澤 実（東工大）・  
竹内真一（桐蔭横浜大）  
US-9. チタン製全面板を有する堅牢型ハイドロホンの特性改善  
に関する検討—試作及び集束音場における非線形歪の測定—  
○椎葉倫久・植村友樹（桐蔭横浜大）・  
岡田長也（本多電子）・内田武吉・菊池恒男（産総研）・  
黒澤 実（東工大）・竹内真一（桐蔭横浜大）  
US-10. プラノコンケーブ型振動子を用いた浮遊砂自動計測装置  
の開発—河川の浮遊砂濃度と粒度分布のオンライン計測—  
○古川仁志（電源開発）・猪股重光（北斗理研）・田井秀一・  
小林 力（日大）

25 日午後 EA & US 共通講演 (13:10~13:50)

共通-11. [招待講演] アクティブノイズコントロールの最新動  
向 梶川嘉延（関西大）

EA (14:00~15:00)

EA-12. フィードフォワード型 ANC における帰還系の同定法に  
関する検討 ○酒井龍矢・岩松祐輔・  
藤井健作（兵庫県立大）・棟安実治（関西大）

森本雅和（兵庫県立大）

EA-13. 修正 EE' 法とその応用に関する検討

○松本恵理子・岩松祐輔・藤井健作（兵庫県立大）・  
棟安実治（関西大）

EA-14. 車載用音響エコーキャンセラに関する検討

○澤田拓也・藤井健作（兵庫県立大）・棟安実治（関西大）・  
森本雅和（兵庫県立大）

US (14:00~15:20)

US-15. 低速走査光断層測定による低弾性定数材料の表面波測定  
○加藤友佳子・和田有司・水野洋輔・中村健太郎（東工大）  
US-16. 凸端駆動による縞モードたわみ振動板型空中超音波音源  
の開発—凸端部を中央以外にした場合の基礎検討—  
○松本達也・三浦 光（日大）  
US-17. 2つの駆動周波数を用いた縦-ねじり複合振動による超  
音波溶着の基礎検討 ○坂井良平・浅見拓哉・  
三浦 光（日大）  
US-18. ヒト脚部の骨髄中における超音波伝搬特性  
○藤森一樹・川崎聡士（同志社大）・  
河上 剛（北大阪警察病院）・三幡輝久（大阪医科大）・  
松川真美（同志社大）

◆日本音響学会；超音波研究委員会，IEEE UFFC Society Japan  
Chapter，日本音響学会；電気音響研究会共催

◎24日研究会終了後，懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆US 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

2月19日（火）機械振興会館〔締切済〕テーマ：アコース  
ティックイメージング，一般（日本音響学会；アコースティ  
ックイメージング研究会共催，日本非破壊検査協会協賛）

3月 休会

【問合先】

美谷周二朗（東大）

TEL [03] 5452-6122, FAX [03] 5452-6123

E-mail: mitani@iis.u-tokyo.ac.jp

三浦 光（日大）

TEL [03] 3259-0776, FAX [03] 3293-8265

E-mail: miura@ele.cst.nihon-u.ac.jp

◎最新の情報はホームページで御確認下さい。

<http://www.ieice.org/~us>

☆EA 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

2月 休会

3月12日（火）KDDI 研〔未定〕テーマ：一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

戸上真人（日立中研）

TEL [042] 323-1111, FAX [042] 327-7823

E-mail: masahito.togami.fe@hitachi.com

## ★フォトニックネットワーク研究会 (PN)

専門委員長 和田尚也

副委員長 荒木壮一郎・坂野寿和・戸出英樹

幹事 大木英司・長谷川 浩

幹事補佐 荒川伸一・品田 聡・釣谷剛宏

## ★電磁界理論研究会 (EMT)

専門委員長 西本昌彦 副委員長 白井 宏

幹事 安藤芳晃・平山浩一 幹事補佐 中嶋徳正

## ★光エレクトロニクス研究会 (OPE)

専門委員長 清水健男 副委員長 山田博仁

幹事 小川憲介・植之原裕行 幹事補佐 橋本俊和

## ★レーザ・量子エレクトロニクス研究会 (LQE)

専門委員長 津田裕之 副委員長 松尾慎治

幹事 篠田和典・田中 有

## ★エレクトロニクスシミュレーション研究会 (EST)

専門委員長 柴田道道

副委員長 柏 達也・馬 哲旺・木村秀明

幹事 平田晃正・大貫進一郎

幹事補佐 平野拓一・陳 春平

## ★マイクロ波・ミリ波フォトニクス研究会 (MWP)

専門委員長 塚本勝俊 副委員長 黒川 悟

幹事 戸田裕之・川西哲也 幹事補佐 岩月勝美・東野武史

日時 1月24日(木) 9:00~18:30

25日(金) 9:00~18:30

会場 大阪大学吹田キャンパス(吹田市山田丘1-1. 大阪モノ  
レール: 阪大病院前駅下車徒歩約5~15分. <http://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/suita.html>)

議題 フォトニックNW・デバイス, フォトニック結晶, ファイ  
バとその応用, 光集積回路, 光導波路素子, 光スイッチング,  
導波路解析, 一般

24日午前 OPE-1 (Room A) (9:00~10:15)

OPE-1. 同期バケットに対する自律制御型光バッファシステムの  
拡張性の検討 ○丸尾勇太・上柿直哉・岸川博紀・  
後藤信夫・柳谷伸一郎(徳島大)

OPE-2. 複素ニューラルネットワークを用いた光QPSKラベル  
処理の特性評価 ○溝瀆智也・溝手健悟・岸川博紀・  
後藤信夫・柳谷伸一郎(徳島大)

OPE-3. コヒーレントBPSK光信号再生実験 ○永田恒一・  
真名垣信吾・田中修平(阪大)・松本正行(和歌山大)

LQE-1 (Room B) (9:00~10:15)

LQE-4. 光導波路結合型HCG-VCSELにおける光出力特性の解  
析 ○常深義博・横田信英・池田和浩・  
河口仁司(奈良先端大)

LQE-5. 共振器集積導波モード共鳴素子の反射位相の検討  
○小倉朋矩・井上純一・近藤知明(京都工繊大)・  
金高健二(産総研)・裏 升吾・粟辻安浩(京都工繊大)

LQE-6. インライン干渉型波長選択導波光変調器の設計  
○森 涼太郎・三浦哲之介(京都工繊大)・  
金高健二(産総研)・西尾謙三・粟辻安浩・  
裏 升吾(京都工繊大)

EMT-1 (Room A) (10:30~12:10)

7. 半無限長誘電体周期導波路による回折界の表現  
西本昌彦(熊本大)

8. 垂直電気双極子による表面電磁波励振への界面媒質誘電率  
の影響 石堂能成(産総研)

9. 400MHz帯におけるトンネル内のFDTD法とレイトレーシ  
ング法による伝搬特性の解析 ○津田顕祐・  
チン ギルバート シー・吉敷由起子(構造計画研)

10. 3次元軸対称磁界問題における双対電気影像法の一般化  
菅原賢悟(三菱電機)

24日午後 EST-1 (Room B) (13:00~14:40)

EST-11. Modelling of the electric field induced by transcranial  
magnetic stimulation in realistic anatomies using the multigrid  
method ○Ilkka Laakso・  
Akimasa Hirata (Nagoya Inst. of Tech.)

EST-12. 小型マイクロストリップ低域通過フィルタと高域通過  
フィルタを組み合わせた有極形帯域通過フィルタの設計  
○秋元亮祐・馬 哲旺・大平昌敬(埼玉大)・陳 春平・  
穴田哲夫(神奈川大)

EST-13. 一次放射器を近接配置可能な金属プレートレンズに関  
する実験的評価 ○尾上寛幸・神谷那由他・須賀良介・  
橋本 修(青学大)

EST-14. 電磁界シミュレータの計算負荷の見積り方法  
○平野拓一・広川二郎・安藤 真(東工大)

MWP-1 (Room B) (13:10~14:25)

MWP-15. 光ファイバ実装電気光学プローブの周波数特性とそ  
の応用 ○都甲浩芳・David Moreno-Dominguez・  
久々津直哉(NTT)

MWP-16. 光電波融合信号の波長分散制御による光ベースバン  
ド信号への干渉抑圧効果の実験的検討  
○堤 康宏(阪府大)・池田研介(電中研)

MWP-17. 光イーサネットを用いたRF信号伝送の品質評価  
○小塚 亮(阪大)・東野武史(奈良先端大)・  
塚本勝俊(阪工大)・小牧省三(MJIT)

IEEE IPS Kansai Chapter (Room B) (14:40~15:40)

18. 超短光パルスの光デバイス加工と分光顕微鏡への応用  
伊東一良(阪大)

19. 高出力半導体レーザーの開発(ISLC2012報告)(仮題)  
森田剛徳(浜松トニクス)

招待講演-1 (Room B) (16:00~17:10)

共通-20. [招待講演] シリコンフォトニクスを用いた高密度  
チップ間インターコネクト  
○賣野 豊(光電子融合基盤技研)・堀川 剛(産総研)・  
中村隆宏(光電子融合基盤技研)・荒川泰彦(東大)

共通-21. [招待講演] エラスティック光ネットワーク技術—最  
近の進展と課題— 神野正彦(香川大)

招待講演-2 (Room B) (17:20~18:30)

共通-22. [招待講演] MWP2012報告 ○荘司洋三・  
諸橋 功(NICT)・久武信太郎(阪大)・菅野敦史(NICT)

共通-23. [招待講演] モバイルアクセスに向けた光アクセス技  
術 ○桑野 茂・寺田 純(NTT)

25日午前 EMT-2 (Room A) (9:00~10:15)

1. 光符号識別用光導波路回路における最大値識別のための検討  
○井下健輔・後藤信夫・柳谷伸一郎(徳島大)

2. 粒径が異なる金属ナノ粒子の集まりからの光の散乱と吸収  
○松田豊稔・小田川裕之(熊本高専)・

- 川野光則 (Lumerical Solutions)
3. 斜め入射に対する散乱因子を用いた誘電体格子の界表現  
○若林秀昭 (岡山県立大)・浅居正充 (近畿大)・松本恵治 (阪産大)・山北次郎 (岡山県立大)
- OPE-2 (Room C) (9:00~10:15)
- OPE-4. カラー撮像デバイス用屈折レンズ・グレーティング複合素子の検討  
○平野忠幸・嶋谷直子 (京都工繊大)・金高健二 (産総研)・西尾謙三・栗辻安浩・裏升吾 (京都工繊大)
- OPE-5. 金属壁とフォトニック結晶で挟み込んだ表面プラズモン共振器の3次元ベクトル有限要素解析  
○石坂雄平・齊藤晋聖・小柴正則 (北大)
- OPE-6. 光スロットアンテナによる5層対称構造プラズモニク導波路への光結合  
尾崎常祐・○村田博司 (阪大)・川西哲也 (NICT)・岡村康行 (阪大)
- EMT-3 (Room A) (10:30~11:45)
7. 大電力マイクロ波の負透磁率空間における自己無撞着な伝搬現象の解析と観測  
○中村嘉浩・飯尾 聡・酒井 道 (京大)
8. TM plane wave reflection and transmission from a thin film with one-dimensional disorder—Enhanced scattering—  
田村安彦 (京都工繊大)
9. A reconsideration of scattering of TE plane wave from periodic rectangular grooves with single defect  
○田村安彦 (京都工繊大)・服部一裕 (前川製作所)
- OPE-3 (Room C) (10:30~11:45)
- OPE-10. モード間光スイッチの提案  
○地藏堂 真・藤野 翔・浜本貴一 (九大)
- OPE-11. 単層グラフェンの可飽和吸収特性を用いた高速導波路型全光スイッチの検討  
○大屋誠啓・岸川博紀・後藤信夫・柳谷伸一郎 (徳島大)
- OPE-12. InP フェーズドアレイ 8x8 高速光スイッチマトリクスの実証  
○郭 命俊・種村拓夫・肥後昭男・中野義昭 (東大)
- 25 日午後 LQE-2 (Room A) (12:45~14:00)
- LQE-13. スプリットリング共振器による熱輻射制御  
○上羽陽介・高原淳一 (阪大)
- LQE-14. 電子・光子両状態制御に基づく単峰・狭帯域熱輻射光源の設計  
○井上卓也・浅野 卓・デゾイサ メナカ・オスクーイ アドバン・野田 進 (京大)
- LQE-15. 2光子吸収を利用したGaAsフォトニック結晶導波路によるアップコンバージョン光の発生  
○小田久哉・山中明生 (千歳科技大)・尾崎信彦 (和歌山大)・池田直樹・杉本喜正 (物材研)
- EST-2 (Room B) (12:45~14:00)
- EST-16. サブ波長キラル周期構造の偏光特性の解析  
大寺康夫 (東北大)
- EST-17. Fundamental 法を導入したADI-BPMによる導波路型光吸収 SPR センサの三次元解析  
○柴山 純・横溝明大・山内潤治・中野久松 (法政大)
- EST-18. テラヘルツ領域における「捕らわれた虹」型光保存のFDTDモデリングに関する検討  
○藤田和広・小田島 渉・並木武文 (富士通)
- LQE-2 (Room A) (14:15~15:30)
- LQE-19. Sub-100 $\mu$ m Si Photonic Crystal Optical Modulators  
○Hong C. Nguyen・Satoshi Hashimoto・Mizuki Shinkawa・Toshihiko Baba (Yokohama Nat'l Univ.)
- LQE-20. 非線形フォトニック結晶とシリコン・有機ハイブリッド光変調デバイス  
○井上振一郎・大友 明 (NICT)
- LQE-21. 高Q値シリコン光ナノ共振器を用いたラマン光増幅素子の開発  
○高橋 和 (阪府大)・乾 善高・浅野 卓・野田 進 (京大)
- PN-1 (Room B) (14:15~15:30)
- PN-22. マルチリングネットワーク用光パケット・光パス統合ノードの開発  
○古川英昭・品田 聡・宮澤高也・原井洋明・和田尚也 (NICT)
- PN-23. In-Service Path-Length Alignment for Self-Homodyne Coherent-Detection-Spatial Division Multiplexing Systems  
○Ruben S. Luis・Benjamin J. Puttnam・Jose Manuel Delgado Mendinueta・Jun Sakaguchi・Werner Klaus・Yoshinari Awaji・Naoya Wada・Atsushi Kanno・Tetsuya Kawanishi (NICT)
- PN-24. スポットサイズ変換器と集積したGaInAsP/InP導波路型光アイソレータ  
○蘇武洋平・櫻井一正・庄司雄哉・水本哲弥 (東工大)
- EMT-3 (Room A) (15:45~17:00)
25. 印加電界による分子モータの回転制御  
大貫進一郎・○朝比奈亜弓・大月 穰 (日大)
26. CIP法におけるサブグリッド法の適用  
○廣田 貴・安藤芳晃 (電通大)
27. モーメント法と解の重ね合わせを用いた多体物体からの電磁波散乱シミュレーション  
○田中雅宏・田中嘉津夫 (岐阜大)
- MWP-1 (Room B) (15:45~17:00)
- MWP-28. 方形導波管における光差周波発生による60GHz帯ミリ波信号生成  
○前島悠登・村田博司・岡村康行 (阪大)
- MWP-29. 結合スプリットリング共振器構造を用いた100GHz帯無線-光変換デバイス  
○西岡隼也・村田博司・岡村康行 (阪大)
- MWP-30. コプレナー型ブランチラインカップラを一体化した電気光学光SSB変調素子  
○川村一代・中尾健志・河合 正・榎原 晃 (兵庫県立大)・川西哲也 (NICT)
- PN-2 (Room A) (17:15~18:30)
- PN-31. 光L2スイッチネットワークにおけるトラヒック変動に対する動的帯域制御方式の特性評価  
○君島直樹・中川雅弘・服部恭太・片山 勝・三澤 明 (NTT)
- PN-32. Self-homodyne coherent detection using a 19-core fiber  
○Ben Puttnam・Jun Sakaguchi・Jos Manuel Delgado Mendinueta・Werner Klaus・Yoshinari Awaji・Naoya Wada・Atsushi Kanno・Tetsuya Kawanishi (NICT)
- PN-33. Investigation of Receiver Digital Signal Processing Carrier Phase Estimation Rate for Self-homodyne Space-division Multiplexing Communication Systems  
○Jose Manuel Delgado Mendinueta・Benjamin J. Puttnam・Jun Sakaguchi・Ruben S. Luis・Werner Klaus・Yoshinari Awaji・Naoya Wada・Atsushi Kanno・Tetsuya Kawanishi (NICT)
- EST-3 (Room B) (17:15~18:30)
- EST-34. 高感度光検出に向けたプラズモニク導波路の設計  
大貫進一郎・○関口洋平・藤井 剛・井上修一郎 (日大)
- EST-35. 接触電流による体内誘導電界と局所SARのFDTD解析  
○服部潤哉・ラクソ イルッカ・平田晃正 (名工大)・多氣昌生 (首都大東京)
- EST-36. データドリブン型フレームワークを用いた到来方向推

定実験系の制御ソフトウェアの開発

○塩見英久・  
岡村康行 (阪大)

◆電気学会：電磁界理論技術委員会連催

☆PN 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

3月11日(月), 12日(火) 沖縄 [未定] テーマ: フォト  
ニックネットワーク関連技術, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

大木英司 (電通大)

TEL [042] 443-5195, FAX [042] 443-5926

E-mail: oki@ice.uec.ac.jp

長谷川 浩 (名大)

TEL [052] 789-4423, FAX [052] 789-3641

E-mail: hasegawa@nuee.nagoya-u.ac.jp

☆EMT 研究会

【問合せ先】

安藤芳晃 (電通大)

E-mail: emt-secretary@ns.ieice.org

◎最新情報は, EMT 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/emt/jpn/>

☆OPE 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

2月28日(木), 3月1日(金) 機械振興会館 [締切済] テー  
マ: 光波センシング, 光波制御・検出, 光計測, ニューロ,  
光ファイバ (ホーリーファイバ, マルチコアファイバ等含  
む) 伝送とファイバ光増幅・接続技術, 光ファイバ計測応  
用, 一般

【問合せ先】

小川憲介 (フジクラ)

〒285-8550 佐倉市六崎 1440

TEL [045] 924-5038, FAX [043] 481-1210

E-mail: kenogawa@lab.fujikura.co.jp

植之原裕行 (東工大)

〒226-8503 横浜市緑区長津田 4259 R2-43

TEL & FAX [045] 924-5038

E-mail: uenohara.h.aa@m.titech.ac.jp

橋本俊和 (NTT フォトニクス研究所)

〒243-0198 厚木市森の里若宮 3-1

TEL [046] 240-2044, FAX [046] 240-2365

E-mail: hashimoto.toshikazu@lab.ntt.co.jp

◎OPE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.or.jp/es/ope/>

◎OPE 研究会では, H18 年度より「学生優秀研究賞」を新設し  
ました。学生の方の発表の中から特に優れた研究を表彰致しま  
すので, 積極的な御投稿をお待ちしています。詳細は研究会  
HP を御覧下さい。

☆LQE 研究会

【問合せ先】

篠田和典 (日立)

TEL [042] 323-1111, FAX [042] 327-7786

E-mail: kazunori.shinoda.nv@hitachi.com

◎LQE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/~lqe/jpn/>

◎LQE 研究会では平成 18 年度より「LQE 奨励賞」を設けまし  
た。対象は発表年度の 4 月 1 日時点で 32 歳以下の若手研究者  
(学生を含む) です。積極的に御投稿下さい。

第一種研究会開催案内

☆EST 研究会

【問合せ先】

陳 春平 (神奈川大)

E-mail: est-entry@mail.ieice.org

☆MWP 研究会

【問合せ先】

戸田裕之 (同志社大)・川西哲也 (NICT)

E-mail: mwp-inquiry@mail.ieice.org

◎最新情報は, MWP 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~mwp/>

## ★イメージ・メディア・クオリティ研究会 (IMQ)

専門委員長 会津昌夫 副委員長 堀田裕弘・山田光穂

幹事 杉山賢二・中口俊哉 幹事補佐 杉本 修・前田 充

日時 1月25日(金) 13:00~16:40

会場 神戸大学六甲台第2キャンパス百年記念館 3F 会議室 A  
(神戸市灘区六甲台町 1-1. JR 六甲道駅からバス (36 系統鶴甲  
団地行)で「神大 文・理・農学部前」下車, 地図 57 番. <http://www.kobe-u.ac.jp/guid/access/rokkoro/rokkodai-dai2.html>)

議題 画像処理と IMQ 一般

1. [特別講演] 波面再生型三次元ディスプレイの広視域化  
○仁田功一・的場 修 (神戸大)
2. 3D 映画視聴時の輻輳と調節の不一致についての考察  
○渋谷優輝・川村祐太・小玉博也・山田光穂 (東海大)
3. 全方位画像中に撮像された車両の自動検出 ○片山康太郎・  
柴田啓司・堀田裕弘 (富山大)
4. 等高線内面積分布を用いた画質評価に関する検討  
水田 忍 (深山科学)
5. 重要性マップに基づいた広ダイナミックレンジ画像の空間解  
像度変換と階調圧縮 ○小島崇裕・浜本隆之 (東京理科大)
6. HDR 画像客観評価方法の主観評価実験による検証  
○本土雄大・相良直哉・杉山賢二 (成蹊大)
7. コアリング劣化の非参照評価におけるエッジ部判定方法の改  
善 ○三宅知寛・相良直哉・杉山賢二 (成蹊大)

☆IMQ 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

3月11日(月), 12日(火) 福岡工大 [1月15日(火)]  
テーマ: メディア・コミュニケーションの品質と福祉, 及び  
一般 (食メディア研究会協賛)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

杉山賢二 (成蹊大)

E-mail: sugiyama@st.seikei.ac.jp

◎IMQ 研究専門委員会ホームページ (<http://www.imqa.jp/confcall.html>) も御覧下さい。

## ★磁気記録・情報ストレージ研究会 (MR)

専門委員長 杉田龍二

幹事 稲葉信幸・小出大一 幹事補佐 白鳥聡志・神邊哲也

日時 1月25日(金) 13:00~17:30

会場 パナソニック企業年金基金松心会館 (門真市中町 1-19.  
京阪電車: 門真市駅下車徒歩約 5 分, または大阪モノレール門

真市駅下車徒歩約5分。http://www.shoai.jp/shoai/access.html TEL [0774] 98-2575 大野鋭二)

#### 議題 映像情報機器, 一般

- Smart TV Box によるケーブルテレビのスマート化  
宮地悟史 (KDDI)
  - 状況依存画面レイアウト制御機構の設計モデルの提案  
○田中宏平・豊岡 明・轟木伸俊・森田知宏 (三菱電機)
  - ウェブ塗布ラミネート方式による20層光ディスクの作成  
○見上竜雄・望月英宏・佐々木俊央・北原淑行・津山博昭・井上健一郎 (富士フイルム)・伊藤雅春 (リソテック)
  - パルスレーザーによる Ge-Sb 及び (GeTe)-(Bi<sub>2</sub>Te<sub>3</sub>) ナノ粒子の結晶化特性  
○植野晶夫・佐藤秀二・古宮 成・三原尚士・久田和也・児島理恵 (パソニック)
  - [招待講演] クラウド時代における光ディスクアーカイブ考察  
○村上節男・渡邊仁孝・林 秀樹 (パソニック)
- MR-6. [招待講演] 電流駆動磁壁移動現象の物理とメモリ応用  
小野輝男 (京大)
- MR-7. 磁気力顕微鏡を用いた微小磁性体に対する磁性マニピュレーション手法  
○前原 慧・豊木研太郎・横田大介・野村 光・中谷亮一 (阪大)
- MR-8. 動力学的手法を用いた p 型 Ge への室温スピン注入  
○小池真利子・仕幸英治・安藤裕一郎・新庄輝也 (阪大)・山田晋也・浜屋宏平 (九大)・白石誠司 (阪大)
- MR-9. C60-Co グラニューラー薄膜中における Co ナノ粒子の電気磁気効果による巨大な磁気抵抗効果  
○豊川修平・田村英一・仕幸英治・新庄輝也・安藤裕一郎 (阪大)・ラザロフ ヴラド・廣畑貴文 (ヨク大)・白石誠司 (阪大)

◆映像情報メディア学会; マルチメディアストレージ研究会, コンシューマエレクトロニクス研究会連催, IEEE CE Soc. Japan Chapter 共催

◎研究会終了後, 懇親会を開催致しますので, 多数御参加下さい。当日会場受付でお申し込み下さい。

時間: 17:40~

会場: 松心会館 (研究会会場と同じ建物です)

☆MR 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

3月8日 (金) 名大〔締切済〕テーマ: 光記録, 一般

### ★音声研究会 (SP)

専門委員長 速水 悟 副委員長 河井 恒

幹事 森 大毅・鈴木基之 幹事補佐 藤本雅清・大谷大和

日時 1月30日 (水) 13:30~17:15

31日 (木) 10:00~16:45

会場 同志社大学京田辺キャンパス恵道館104室 (京田辺市多々羅都谷1-3。近鉄: 興戸駅から徒歩15分。http://www.doshisha.ac.jp/access/tanabe\_access.html)

議題 音声・言語・対話, 一般

30日 一般セッション

- A Preliminary Investigation on Improving Chinese Pinyin-to-character Conversion Using MI Based Automatic Lexical Formation  
Jinsong Zhang (Beijing Language and Culture Univ./NICT)・Wei Li (Beijing Language and Culture Univ.)・  
○Xiaoyun Wang・Masafumi Nishida・Seiichi Yamamoto (Doshisha Univ.)

2. A Study on Perceptual Training of Mandarin Tone 2 and Tone 3 in Japanese Learners

○Jinsong Zhang (Beijing Language and Culture Univ./NICT)・Yue Sun (Beijing Language and Culture Univ.)・Ting Zou (Leiden Univ.)・Xiaoyun Wang・Masafumi Nishida・Seiichi Yamamoto (Doshisha Univ.)

3. 学習者コーパスを利用した音声対話型 CALL システムにおける想定外発話検出手法  
○永井 祐・王 曉芸・西田昌史・山本誠一 (同志社大)

一般セッション

- 母音のフォルマント特徴量を用いた自動話者識別の研究  
○浦上直進・昌子悠太・白石 淳・山内寛紀・福水洋平・泉 知論 (立命館大)
- 音声の周期・非周期成分分解に基づく話者認識の検討  
○石川勇樹・西田昌史 (同志社大)・藤本雅清 (NTT)・山本誠一 (同志社大)
- 日本語 HMM 音声合成のフルコンテキストラベルの改良  
○橋本浩弥・広瀬啓吉・峯松信明 (東大)
- HMM 音声合成における分散共有フルコンテキストモデルによる F0 パターン生成  
○高道慎之介・戸田智基 (奈良先端大)・志賀芳則 (NICT)・Sakriani Sakti・Graham Neubig・中村 哲 (奈良先端大)

31日午前 オーガナイズドセッション「多様な音声・歌声の合成に向けて」(一般講演) 1

- グロウル・スクリーム歌唱音声の音響的特徴と聴覚印象の考察  
○加藤圭造・伊藤彰則 (東北大)
- 歌唱音声評価尺度についての検討  
○金礪 愛・菊池英明 (早大)
- スクリーム唱法における基本周波数とスペクトル変動の相関の調査  
○西脇裕展・坂野秀樹・旭 健作 (名城大)
- 歌唱音声における基本周波数とパワーの変動量を反映するビブラート特徴量の提案とその評価方法について  
○鈴木千文・坂野秀樹・旭 健作・板倉文忠 (名城大)・森勢将雅 (立命館大)

31日午後 オーガナイズドセッション「多様な音声・歌声の合成に向けて」(招待講演)

- [招待講演] 統計モデルに基づく音声合成における話者・スタイルの多様化  
能勢 隆 (東工大)
- オーガナイズドセッション「多様な音声・歌声の合成に向けて」(一般講演) 2
- 任意話者の多様なスタイル生成のための話者正規化スタイル変換法の検討  
○金川裕紀・能勢 隆・小林隆夫 (東工大)
  - 多様な歌声合成のための重回帰 HSMM に基づくスタイル制御法の検討  
○能勢 隆・金本美沙・郡山知樹・小林隆夫 (東工大)

- 多様な韻律生成のための多クラス局所韻律コンテキストの検討  
○前野 悠・能勢 隆・小林隆夫・郡山知樹 (東工大)・井島勇祐・中嶋秀治・水野秀之・吉岡 理 (NTT)
- パラ言語情報処理のための対話音声の収録とラベリング  
○島川智行・森勢将雅・山下洋一 (立命館大)
- 孤立発声母音を用いた声質類似度の評価と自動推定  
○辻村祥平・森勢将雅・山下洋一 (立命館大)

◆日本音響学会; 音声研究会共催, IEEE Signal Processing Society Japan Chapter 協賛

◎31日研究会終了後 (17:30~18:30), 同志社大学応用メディア情報研並びに音声言語処理機構研の見学会を開催します

で、こちら是非御参加下さい、また、見学会終了後に懇親会を予定しています。

☆SP 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

2月28日(木), 3月1日(金) 大同大〔締切済〕テーマ: 音声アプリケーション, 一般

#### 【問合せ先】

森 大毅 (宇都宮大)

TEL [028] 689-6120, FAX [028] 689-6119

E-mail: hiroki@speech-lab.org

## ——中国支部における開催——

### ★超伝導エレクトロニクス研究会 (SCE)

専門委員長 日高陸夫

幹事 山田隆宏・丸山道隆 幹事補佐 赤池宏之

日時 1月24日(木) 9:00~16:15

会場 岡山大学津島西キャンパス創立五十周年記念館大会議室  
(岡山市北区津島中1-1-1. <http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/kinenkan-index.html>)

議題 超伝導センシング基盤技術及びその応用, 一般

- Si 基板上における超伝導単一光子検出器の作製と特性評価  
○東 智洋 (阪大)・三木茂人・山下太郎・寺井弘高 (NICT)・山本 俊・井元信之 (阪大)・王 鎮 (NICT)
  - 量子電圧雑音源を用いたボルツマン定数決定  
○浦野千春・山田隆宏 (産総研)・堀江智弘 (東京都市大)・山澤一彰・山森弘毅・福山康弘・金子晋久・丸山道隆・堂前篤志・丹波 純 (産総研)・桐生昭吾 (東京都市大)
  - 雑音温度計のための集積型量子雑音電圧源の提案  
○前澤正明・山田隆宏・浦野千春 (産総研)
  - アンダーダンブ接合での SFQ 反射を利用する 1000 倍電圧増倍器の動作検証  
○佐藤裕介・守屋雅隆・島田 宏・水柿義直 (電通大)・前澤正明 (産総研)
  - モート間のスペースにおける磁束排除効果の形状依存性の数値解析  
○溝口翔太・井上真澄・藤巻 朗 (名大)
  - 〔招待講演〕 低電圧駆動 SFQ 回路における干渉の解析  
○滝波拓海・伊藤将人・北山敦史・田中雅光・藤巻 朗 (名大)
  - 〔招待講演〕 超低消費電力断熱モード磁束量子パラメトロンを用いた論理回路のシミュレーションと動作実証  
○井上健太・江原康平・竹内尚輝・山梨裕希・吉川信行 (横浜国大)
- 午後 (13:10~)
- HTS-SQUID を用いたサンプル回転式小型磁化率計の高感度計測手法の検討  
○堺 健司・モハマト マワルディ サーリ・濱崎大地・紀和利彦・塚田啓二 (岡山大)
  - ハイブリッド型高温超伝導 SQUID マグネットメータの開発  
○塚本 晃・安達成司・押久保靖夫・波頭経裕・田辺圭一 (超電導工学研)
  - HTS-SQUID システムを用いたマウスの心磁計測  
○溝口崇子・川畑龍三・関 悠介・神島明彦 (日立)・塚本 晃・田辺圭一・安達成司 (SRL)・円福敬二 (九大)
  - STM-SQUID 顕微鏡  
○渡邊騎通・宮戸祐治・糸崎秀夫 (阪大)

- 超低磁場 SQUID-NMR/MRI 装置の異物検査への応用  
○綱木辰悟・山本将彰・阿部貴之・八田純一・廿日出 好・田中三郎 (豊橋技科大)
- MPI 用高感度交流磁場計測システムの開発  
○造隼拓朗・森重堯文・吉田 敬・円福敬二 (九大)
- 磁気マーカーの特性評価と SQUID を用いた液相免疫検査への応用  
○樋口雄一・内田 忍・上岡祐太・吉田 敬・円福敬二 (九大)・塚本 晃・安達成司・田辺圭一 (超電導工学研)

◎11:15~11:20 第三回超伝導エレクトロニクス研究会奨励賞授与式を行います。

◎前日 (23日) 午後には、146 委員会研究会、懇親会を予定しておりますので御参加下さい。

#### 【問合せ先】

山田隆宏 (産総研)

TEL [029] 861-2859, FAX [029] 861-5530

E-mail: yamada-takahiro@aist.go.jp

### ★信号処理研究会 (SIP)

専門委員長 大田恭士 副委員長 澤田 宏・梶川嘉延

幹事 大谷 猛・木下慶介 幹事補佐 西浦敬信

### ★無線通信システム研究会 (RCS)

専門委員長 府川和彦 副委員長 大槻知明・樋口健一

幹事 小西 聡・ベンジャブール アナス

幹事補佐 須山 聡・星野正幸・増野 淳・森田基樹

日時 1月31日(木) 9:30~17:30

2月 1日(金) 9:00~16:30

会場 ビュー・ポートくれ (呉市中通1-1-2. JR 呉駅から徒歩5分. <http://www.viewportkure-hotel.or.jp/access.html> TEL [0823] 21-4961 金城繁徳 (海上保安大))

議題 無線通信のための信号処理及び一般

31日午前 SIP(1) (A会場) (9:55~11:10)

- 3次元モデルのマッチングにおける回転にロバストな正規化手法の検討  
○大塚和喜・市毛弘一 (横浜国大)
- フラッシュ画像を用いたノイズ除去に関する一検討  
○松岡 諒・馬場達也 (北九州市大)・白井啓一郎 (信州大)・奥田正浩 (北九州市大)
- 実時間前景分離 FPGA の実装に関する一検討  
○梶本智仁・八木 竜・西谷隆夫 (首都大東京)

SIP/RCS 招待講演(1) (A会場) (11:20~12:00)

4. [招待講演] 海上保安庁の役割と海上保安大学校における人材育成  
瓜生晴彦 (海上保安大)

31日午後 SIP/RCS 招待講演(2) (A会場) (13:00~13:45)

5. [招待講演] ターボ信号処理のネットワーク情報理論応用分野への展開  
松本 正 (北陸先端大)

SIP(2) (A会場) (13:55~15:35)

- A comparison of leaky RLS and its approximation algorithms for an ANC system  
○Tushar Paul・Eisuke Horita (Kanazawa Univ.)
- Krylov 部分空間の直和分解と適応処理への応用  
○川田義広・島村徹也 (埼玉大)
- ルート IIR ナイキストフィルタの設計とそのデジタル通信における評価  
○一岡 渉・市毛弘一 (横浜国大)

9. 偏波モード分散と偏波依存損失を考慮した偏波多重光 OFDM 伝送方式の SNR 特性 ○小笠原慎二・林 和則・金子めぐみ・酒井英昭 (京大)・安部淳一・前田和佳子・小笠原大作 (NEC)

31 日午後 SIP/RCS 特別講演 (A 会場) (15:45~16:35)

10. [特別講演] Filtered-x Least Mean Square Algorithm: from Theory to Practice

Waleed H. Abdulla (Univ. of Auckland)

SIP/RCS 招待講演 (3) (A 会場) (16:45~17:30)

11. [招待講演] Convergence Analysis of an Adaptive Coupling Wave Canceller in Single-Frequency Full-Duplex Radio Relays Hideaki Sakai (Kyoto Univ.)

31 日午前 RCS (1) (B 会場) (9:30~11:10)

12. 周波数領域プリコーディングを用いた空間変調 OFDM 方式の特性評価 ○中村正祐・佐藤正知 (東京都市大)  
13. 可変中心値を用いた瞬時電力モーメントに基づく QAM 変調方式識別に関する検討 ○宮内良輔・落合秀樹 (横浜国大)  
14. 無線式列車制御用無線通信システムにおける伝送品質のシミュレーションによる評価手法 ○川崎邦弘・菅原宏之 (鉄道総研)・立石幸也・大森裕明 (JR 東日本)  
15. Centralized RAN における BBU-RRH 切替方法

○難波 忍・蕨野貴之・林 高弘 (KDDI 研)

31 日午後 RCS (2) (B 会場) (13:55~15:35)

16. コストを考慮したマルチセル連携 HetNet の特性評価 ○恩田直樹・藤井威生 (電通大)  
17. HetNet における CSO 可変型 CRE のスループット特性 ○菊地克則・大塚裕幸 (工学院大)  
18. LTE-Advanced 下りリンクヘテロロジーニアスネットワークにおけるセル間干渉コーディネーション適用時の干渉抑圧合成受信器に関する検討 ○大渡裕介・森本彰人・三木信彦・奥村幸彦 (NTT ドコモ)  
19. 基地局間インタフェースを用いた LTE 基地局間協調送信制御のフィールド実証実験 ○緒方大悟・長手厚史・藤井輝也 (ソフトバンクモバイル)

2 月 1 日午前 SIP (3) (A 会場) (9:00~10:40)

1. Low Complexity Automatic Modulation Classification Technique for Multiple Modulation Schemes ○Yong Jin・Shuichi Ohno (Hiroshima Univ.)  
2. 混合音響信号から伴奏音除去に用いるスペクトル減算法の減算量の推定法 ○田中耕治・相川直幸 (東京理科大)  
3. 実時間音源位置推定のための受信信号間位相差の変化量に基づく周波数帯域別最適空間分解能の検討 ○林田亘平・中山雅人・西浦敬信・山下洋一 (立命館大)  
4. 周波数帯域別スペクトル包絡補正による音声のクリッピングノイズ抑圧法の検討 ○早川 惇・福森隆寛・中山雅人・西浦敬信 (立命館大)

SIP (4) (A 会場) (10:50~12:05)

5. スパースな連続信号の標準化と最尤推定による再構成 ○廣長陽介・平林 晃 (山口大)  
6. NMR におけるデータ抽出のためのデータ分類手法の一提案 ○田谷 悠・阿部俊弘 (東京理科大)・河合剛太 (千葉工大)・古川利博 (東京理科大)・久保田 一 (千葉工大)  
7. プリミティブパターン分解 (PPD) 法による任意信号列の抽出に関する研究 ○黒坂典生・板倉賢一 (室蘭工大)

2 月 1 日午後 SIP (5) (A 会場) (13:00~14:40)

8. Multikernel Adaptive Filtering with Double Regularization

○Masahiro Yukawa・Ryu-ichiro Ishii (Niigata Univ.)

9. コンパクト Stiefel 多様体における混合 retraction/lifting を用いた平均演算 ○金子哲也・田中聡久 (東京農工大)・シモーネ フィオリ (UNIVPM)

10. テンソル同時対角化によるサンプルの重み付けを用いた脳波識別 ○富田尚規・東 広志・田中聡久 (東京農工大)

11. アップリンク MC-CDMA のための通信路短縮法の提案 ○小竹水輝・宮嶋照行 (茨城大)

RCS (3) (A 会場) (14:50~16:05)

12. ミリ波発振器の位相雑音を考慮した OFDM の ICI 解析とその低減法 ○井上貴之・小原 慶・タン ザカン・荒木純道 (東工大)

13. ミリ波 60 GHz 帯 OFDM リアルタイム伝送実験系の評価

○申 東訓・須山 聡・鈴木 博・府川和彦 (東工大)

14. Joint Optimization Design for Underlay Cognitive Transceiver with Channel Uncertainty

○Bassant Abdelhamid (Kyushu Univ.)・

Maha Elsabrouty (EJUST Univ.)・Masoud Alghoniemy

(Univ. of Alexandria/EJUST Univ.)・

Salwa Elramly (Ain Shams Univ.)・Osamu Muta・

Hiroshi Furukawa (Kyushu Univ.)

2 月 1 日午前 RCS (4) (B 会場) (9:00~10:40)

15. ZCZ-CDMA 方式の同期確立について ○上鉄穴明典・松元隆博・松藤信哉 (山口大)

16. DFT-Precoded OFDMA における復号器出力ビットの LLR を用いる繰り返し判定帰還チャネル推定の特性評価

○田中良和 (東京都市大)・三木信彦・

川村輝雄 (NTT ドコモ)・佐和橋 衛 (東京都市大)

17. DFT-Precoded OFDMA における周波数領域等化を用いる受信ダイバーシチの復号器入力 LLR 生成法の検討

○美和啓太 (東京都市大)・川村輝雄・三木信彦 (NTT ドコモ)・

佐和橋 衛 (東京都市大)

18. DFT-Precoded OFDMA における 6 アンテナの適応選択送信ダイバーシチの特性評価 ○沼田英之 (東京都市大)・

川村輝雄 (NTT ドコモ)・田岡秀和 (ドコモ欧州研)・

佐和橋 衛 (東京都市大)

RCS (5) (B 会場) (10:50~12:05)

19. Joint sparse channel estimation and MMSE detection for AF two-way MIMO-OFDM relay communication systems

○Guan Gui・Fumiyuki Adachi (Tohoku Univ.)

20. 離散階層変調方式を用いたマルチユーザ環境のための無線中継伝送法 ○山浦寛史・金子めぐみ・林 和則・

酒井英昭 (京大)

21. 秘密通信のための送受信ビームフォーミングによる分散伝送路形成に関する検討 ○山中仁昭 (広島国際大)・

宮本伸一・三瓶政一 (阪大)

2 月 1 日午後 RCS (6) (B 会場) (13:00~14:40)

22. BP アルゴリズムを用いた大規模 MIMO 信号検出における計算量削減法 ○福田 航・安孫子卓史・西村寿彦・

大鐘武雄・小川恭孝 (北大)・大渡裕介・岸山祥久 (NTT ドコモ)

23. BP アルゴリズムを用いた大規模 MIMO 信号検出手法の信号合成に関する検討 ○安孫子卓史・福田 航・西村寿彦・

大鐘武雄・小川恭孝 (北大)・大渡裕介・岸山祥久 (NTT ドコモ)

24. Vector perturbation を用いた非線形マルチユーザ MIMO の屋外伝送実験 ○藪部聡司・塚本悟司・前田隆宏・矢野一人・

伴 弘司・宇野雅博・小林 聖 (ATR)

25. 8×8 MIMO-OFDM 超高速ビットレート屋内伝送実験  
○福田裕之・須山 聡・鈴木 博・府川和彦 (東工大)  
RCS(7) (B 会場) (14:50~16:30)
26. Timing offset estimation for distributed antenna network  
○Wei Peng・Fumiyuki Adachi (Tohoku Univ.)
27. 重複基底を用いたマルチキャリア変調におけるシンボルタイ  
ミングと周波数オフセットの推定  
○竹内知明 (NHK エンジニアリングサービス)・濱住啓之・渋谷一彦・  
齊藤正典 (NHK)
28. 無線 LAN パケット衝突検出アルゴリズムの性能評価実験  
○邵 鵬・松本 晃・和田育実 (NEC 通信システム)・  
ダイビス ピーター (テレコネックス)
29. 高可用有・無線統合エミュレータの提案—試作と評価—  
真野 浩 (山梨大)

◆IEEE Signal Processing Society Japan Chapter 共催

☆SIP 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

3月14日(木), 15日(金) 慶大鶴岡キャンパス [1月13日  
(日)] テーマ: ネットワークプロセッサ, 通信のための信号  
処理, 無線 LAN/PAN, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

大谷 猛 (富士通研)  
TEL [044] 874-2489  
E-mail: otani.takeshi@jp.fujitsu.com

☆RCS 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

2月27日(水)~3月1日(金) 早大 [締切済] テーマ: 移動  
通信ワークショップ

【問合せ先】

須山 聡 (東工大)  
E-mail: rcs\_ac-entry@mail.ieice.org

——四国支部における開催——

★通信方式研究会 (CS)

専門委員長 葉玉寿弥 副委員長 坪井利憲  
幹事 小崎成治・梅原大祐

★光通信システム研究会 (OCS)

専門委員長 石田 修 副委員長 水落隆司  
幹事 平野 章・斎藤恒聡

◎本研究会は CS 研究会と HCS 研究会の併催です。研究会資料  
は各研究会ごとに発行されます。

日時 1月24日(木) 13:30~18:00  
25日(金) 9:00~14:35

会場 愛媛大学総合情報メディアセンター (城北地区) (松山市  
文京町3. 伊予鉄市内電車「鉄砲町」下車5分。 <http://www.ehime-u.ac.jp/access/johoku/index.html> TEL [089] 927-  
8802 野口一人)

議題 コア・メトロシステム, 光アクセスシステム・次世代  
PON, ブロードバンドアクセス方式, (広域) イーサネット,  
光伝達網 (OTN), 高速インタフェース, アナログ光伝送, 量  
子通信, 一般

第一種研究会開催案内

24日

OCS-1. C-band 入力波長に対する連続分散可変パラメトリック  
光分散補償方式 ○谷澤 健・来見田淳也 (産総研)・  
高坂繁弘・八木 健 (古河電工)・並木 周 (産総研)

OCS-2. Experimental Evaluation of the Relative Contribution to  
Q Factor Penalty of a Received Signal from Accumulation of  
ASE and from Inter-Core Crosstalk in MCF Transmission  
Systems ○Emmanuel Le Taillandier de Gabory・  
Manabu Arikawa・Toshiharu Ito・Kiyoshi Fukuchi (NEC)

OCS-3. 40 Gbps 光通信用 3 重連接誤り訂正符号とその性能評価  
○斧原聖史・宮田好邦・平野 進・久保和夫・杉原隆嗣・  
吉田英夫・小口和海・水落隆司 (三菱電機)

OCS-4. タイムインターリーブドオーバーサンプリングを用いた  
光コヒーレント受信器のための周波数領域等化  
○康村吉広・吉田悠来・北山研一 (阪大)

OCS-5. 統計解析アルゴリズムを用いたサイクルスリップ抑制に  
よるデジタルコヒーレントシステムの伝送性能改善

○濱岡福太郎・関 剛志・松田俊哉・那賀 明 (NTT)

OCS-6. フレキシブルグリッド光ネットワークにおけるリアルタ  
イムコヒーレント受信器を用いたヒットレス波長デフラグメン  
テーションの実証実験 ○曾根恭介 (富士通研)・  
Xi Wang (FLA)・小田祥一朗・中川剛二 (富士通研)・  
青木泰彦 (富士通)・Inwoong Kim・

Paparao Palacharla (FLA)・星田剛司 (富士通)・  
関屋元義 (FLA)・Jens C. Rasmussen (富士通)

CS-7. [特別招待講演] 多様なサービスやネットワーク構成を  
実現する伸縮自在光メトロ・アクセス融合型アグリゲーション  
ネットワーク技術—エラスティック λ アグリゲーションネッ  
トワーク— 岡本 聡 (慶大)

CS-8. [特別招待講演] FTTH, それ以前

小口喜美夫 (成蹊大)

25日午前

OCS-1. 超多分岐型 TDMA-PON における ONU 登録方式の実  
験的評価 ○神谷尚保・大石将之・村上隆秀・  
西村公佐 (KDDI 研)

OCS-2. 非線形効果抑圧・高 SNR 化を可能とする光ダイバーシ  
ティ伝送 ○飯田 匡・水鳥 明・古賀正文 (大分大)

OCS-3. 一括雑音抑制型リモートノードを用いた完全非同期 Ny-  
quist-rate, 160 Gbps-OCDFM-PON システムの検討  
○小玉崇宏 (阪大)・和田尚也 (NICT)・  
シンコッティ ガブリエラ (ロマ大)・北山研一 (阪大)

CS-4. PON システムにおけるイーサネット OAM 実装方法の提  
案 ○菊澤隆司・弥栄香織・川手竜介・向井宏明 (三菱電機)

CS-5. 仮想 PON における OLT 起動制御が通信品質に及ぼす影  
響 ○今中規景・中平佳裕・鹿嶋正幸 (OKI)

CS-6. 波長可変型 WDM/TDM-PON を用いた広域フォトニッ  
クアグリゲーション技術による省電力効果の検討

○妹尾由美子・金子 慎・吉田智暁・木村俊二・  
吉本直人 (NTT)

CS-7. 40-Gbit/s 級波長可変型 WDM/TDM-PON の実現に向け  
た 1.5 μm 帯波長可変パースト送信方式の一検討

○田口勝久・中村浩崇・浅香航太・木村俊二・  
吉本直人 (NTT)

25日午後 (13:20~)

OCS-8. セキュア光アクセスネットワークに向けた直接変調方式  
による光通信量子暗号 (Y-00) —2.5 Gb/s, 80 km 伝送実験—

告 27

○二見史生・広田 修 (玉川大)

OCS-9. セルラーネットワークにおける無線基地局向けベースバンド信号圧縮伝送技術の検討

○縣 亮・

難波 忍 (KDDI 研)

OCS-10. 強度変調を用いたセルラ可視光通信のダウンリンクにおける協力伝送方式

○朝倉 俊・小林健太郎・岡田 啓・

片山正昭 (名大)

◎24日研究会終了後、懇親会を予定していますので是非御参加下さい。

日時：1月24日(木) 18時30分～

会場：「セ・トリアン」(愛媛大学内)

会費：4,000円(一般), 1,000円(学生)

☆CS研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

2月 休会

3月14日(木), 15日(金) 慶大鶴岡キャンパス [1月13日(日)] テーマ：ネットワークプロセッサ, 通信のための信号処理, 無線LAN/PAN, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

小崎成治 (三菱電機)

TEL [03] 3218-6305, FAX [03] 3218-6454

梅原大祐 (京都工繊大)

E-mail: kanji2012@csken.org

◎最新情報は、CS研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/>

☆OCS研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

2月28日(木), 3月1日(金) 機械振興会館 [締切済] テーマ：光波センシング, 光波制御・検出, 光計測, ニューロ, 光ファイバ (ホーリーファイバ, マルチコアファイバ等含む) 伝送とファイバ光増幅・接続技術, 光ファイバ計測応用, 一般

【問合先】

斎藤恒聡 (古河電工)

TEL [0436] 42-1725, FAX [0436] 42-9340

E-mail: tsune@ch.furukawa.co.jp

◎OCS ホームページ：<http://www.ieice.org/~ocs/jpn-new/index.php>

◎OCS研究会では、2007年より「光通信システム研究会 奨励賞」及び「光通信システム研究会 論文賞」を設立しました。毎年9月～翌年8月のOCS研究会に投稿した論文を対象に選考し、翌年12月の光通信システムシンポジウムにて表彰します。詳しくはOCSホームページを御覧下さい。

## ★光ファイバ応用技術研究会 (OFT)

専門委員長 富田 茂

幹事 伊藤文彦・椎野雅人 幹事補佐 山田裕介・今村勝徳

日時 1月24日(木) 13:00～17:40

25日(金) 9:00～12:10

会場 アスティとくしま第5会議室 (徳島市山城町東浜傍示1. JR徳島駅から徳島市営バス「南部循環線(左回り)」に乗り「文理大学前」下車(15分)徒歩5分。 <http://www.asty-to-kushima.jp/koutsuu/> TEL [088] 624-5111)

議題

告 28

24日

1. [招待講演] IWCS2012 報告 塩原 悟 (フジラ)

2. 細径高密度光ケーブルの開発 ○竹田大樹・富川浩二・

伊佐地瑞基・大里 健・山中正義・岡田直樹 (フジラ)

3. ローカル光入力技術を用いた心線対照器の入力部における基本検討 ○真保 誠・廣田栄伸・本田奈月・川野友裕・

真鍋哲也・東 裕司 (NTT)

4. ダブルパルス BOTDR の受信感度改善と測定距離拡大

○雲田真弘・安在勇介・松浦 聡・小山田弥平 (茨城大)

5. コヒーレント OTDR による現実的な温度分布の測定シミュレーション ○宮本雅弘・伊藤 拓・武田茂樹・泉田 史・

小山田弥平 (茨城大)

6. コヒーレント OTDR による歪・温度分布測定における測定レンジの拡大 ○東郷明雄・須藤智明・泉田 史・

小山田弥平 (茨城大)・李 哲賢・岸田欣増 (ニューブレクス)

7. 合成型 BOTDR の提案と実験による検証

○西口憲一 (阪大)・李 哲賢・グジク アーター・

岸田欣増 (ニューブレクス)

8. SM ファイバにおけるひずみと温度を分離するハイブリッド分布計測システムの開発 ○岸田欣増・李 哲賢 (ニューブレクス)・

西口憲一 (阪大)・山内良昭・グジク アーター・

津田 勉 (ニューブレクス)

9. 光線路無瞬断切替システムにおける遅延調整方式に関する検討 ○片山和典・納戸一貴・井上雅晶・真鍋哲也・

東 裕司 (NTT)

10. ポンプ光反射器を用いたラマン増幅のパッシブ光アクセス網への適用 加島宜雄 (芝浦工大)

25日

1. 空孔径制御を用いた偏波保持フォトニック結晶ファイバ光減衰器の作製 ○横田浩久・井上直哉・小林脩人・

今井 洋 (茨城大)

2. 動的周期性マイクロバンドを用いた全ファイバQスイッチ Tm ファイバレーザ ○荒木隼悟・金原健太・富木政宏・

坂田 肇 (静岡大)

3. 再構成可能な長周期ファイバグレーティングの波長・損失制御 ○坂田 肇・山畑孝介・渡邊 健・原田智弘 (静岡大)

4. 並列線形光サンプリング法を用いた低雑音レーザの位相雑音解析 ○岡本達也・井上雅晶・伊藤文彦 (NTT)

5. [招待講演] ECOC2012 報告—光ファイバ関連—

今村勝徳 (古河電工)

6. FE-BPM を用いた2モード光ファイバのモード励振比率推定方法 丸山 遼・○桑木伸夫・松尾昌一郎・

佐藤公紀 (フジラ)・大橋正治 (阪府大)

7. 六角形ラッドマルチコアファイバの突合せ接続

○田中正俊・八若正義・藤巻洋介・谷口浩一 (三菱電機)

◎24日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆OFT研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

2月28日(木), 3月1日(金) 機械振興会館 [締切済] テーマ：光波センシング, 光波制御・検出, 光計測, ニューロ, 光ファイバ (ホーリーファイバ, マルチコアファイバ等含む) 伝送とファイバ光増幅・接続技術, 光ファイバ計測応用, 一般

【問合先】

今村勝徳 (古河電工)

TEL [0436] 42-1728, FAX [0436] 42-9340

E-mail: imamura.katsunori@furukawa.co.jp

◎OFT 研究会では、2011 年 1 月より「奨励賞」、「学生奨励賞」を新設しました。一般講演の中から選定しますので、積極的な御投稿をお願い致します。選奨規定については、OFT ホームページを参照下さい。

<http://www.ieice.org/cs/oft/jpn/>

## ★ヒューマンコミュニケーション基礎研究会 (HCS)

専門委員長 渡辺昌洋 副委員長 伊藤京子・松田昌史

幹事 井上智雄・渡邊伸行

幹事補佐 林 勇吾・小森政嗣・田中貴紘

日時 1 月 24 日 (木) 12:50~16:50

25 日 (金) 9:15~16:45

会場 高知市文化プラザかるぽーと第 3 学習室 (高知市九反田 2-1. 高知駅より土佐電鉄: はりまや橋下車徒歩 5 分. <http://www.bunkaplaza.or.jp/access/index.html> TEL [046] 240-3620 松田昌史)

議題 コミュニケーションの心理及び一般

24 日 ヒューマン・メディア論(1): マン・マシン・インタフェース

1. ロボットの内部処理を映像で伝える際のトランジション効果の印象評価 ○藤原菜々美・小川貴弘・尾関基行・岡 夏樹 (京都工繊大)
2. ドライバの認知状態共有に関する社会的受容性のアンケート調査 ○志堂寺和則 (九大)・内海 章・多田昌祐・山本直樹 (ATR)・松尾典義・鳥居武史 (富士重工)
3. PC 作業中のアプリケーション切り替えタイミングのブレークポイント代替可能性の検討 ○田中貴紘 (東京農工大)・Niels A. Taatgen (RUG)・藤田欣也 (東京農工大)
4. 家の中で人はどのように生活しているのか—聞き取り情報に基づく ICT サービスのニーズ抽出— ○片桐有理佳・高山千尋・中谷桃子・大野健彦 (NTT)

ヒューマン・メディア論(2): 拡張/仮想現実とコミュニケーション

5. AR WoZ システムを用いた対話に適したユーザと AR キャラクタの位置関係の分析 ○荒牧怜奈・村上 真 (東洋大)
6. 拡張現実を用いた遠隔共食コミュニケーションシステムの構築 ○下川裕太・村上 真 (東洋大)
7. 複数プレイヤー参加型テレビゲームにおける協力行動が人物評定に与える影響 ○藤田信之介・風井浩志・片寄晴弘 (関西学院大)
8. 高校生を対象としたアバターデザインでの対人要因の検討 ○石崎優美・風井浩志・片寄晴弘 (関西学院大)

9. ソーシャルメディア情報に対する受け手の信頼性評価に関する検討 ○飯塚重善 (神奈川大)・小松原明哲 (早大)

25 日午前 顔, 表情の認知・理解

1. 競争/協調と感情状態が表情人物の判断に与える影響 ○藤原 健 (阪大)・大坊郁夫 (東京未来大)
2. 会話場面における話題の感情価と聞き手の表情の不一致—話者の非言語行動及び感情状態に注目して— ○村山 綾・弓仲美穂・今津千紘・三浦麻子 (関西学院大)
3. 怒り顔の閾下提示による好感度向上と瞳孔反応 ○吉本早苗 (日本女子大/JST CREST)・今井久登 (学習院大)・竹内龍人 (日本女子大)
4. アイコンタクト知覚範囲の性差に関する探索的検討

第一種研究会開催案内

- 松田昌史 (NTT)・本間元康 (精神研)・石井 亮・熊野史朗・大塚和弘・大和淳司 (NTT)
5. 抑うつ症状と表情認知について ○須惠明音・美濃哲郎 (福祉科学大)

25 日午後 ライフサイクル(1): 幼児の言語・対話モデル (12:30~)

6. 育児語の複数ラベル提示状況下での 1 歳児の語彙学習 ○小林哲生 (NTT)・村瀬俊樹 (島根大)
7. オノマトペが示す見た目と触り心地—日本人 4 歳児によるオノマトペのクロスモーダルな理解— ○池田彩夏 (京大)・小林哲生 (NTT)・板倉昭二 (京大)
8. 指示対象が曖昧な発話における解釈方略の発達—幼児と成人を対象とした実験的検討— ○村上太郎・橋彌和秀 (九大)
9. 幼児のコミュニケーション場面における責任帰属推論—アコーディオン効果の観点から— ○石川勝彦・橋彌和秀 (九大)

ライフサイクル(2): 青少年・高齢者の適応支援

10. 学校環境と高校生の携帯電話依存 三島浩路 (中部大)
11. 高校生の携帯電話によるネット利用と適応感との関連 ○黒川雅幸 (福岡教大)・三島浩路 (中部大)・本庄 勝 (KDDI 研)・吉武久美 (名大)・中村 海・橋本真幸・長谷川 亨 (KDDI 研)・吉田俊和 (名大)
12. 3 相主成分分析によるダンス動作の個人特徴分析—Perfume のモーションデータを例に— ○前田和甫・大西佳太郎・小森政嗣 (阪電通大)
13. 高齢者の利他的行動場面における世代間相互作用の実験的検討 ○田淵 恵・三浦麻子 (関西学院大)
14. 傾聴時における対話者の気分と態度の関係の分析—高齢者を対象とした傾聴エージェントに向けて— ○澁澤紗優美・黄 宏軒・林 勇吾・川越恭二 (立命館大)

◆社会心理学会共催

◎24 日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

【問合先】

松田昌史 (NTT)

TEL [046] 240-3620

E-mail: [matsuda.masafumi@lab.ntt.co.jp](mailto:matsuda.masafumi@lab.ntt.co.jp)

◎最新情報は、HCS 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/hcs/>

——九州支部における開催——

## ★環境電磁工学研究会 (EMCJ)

専門委員長 桑原伸夫 副委員長 多氣昌生

幹事 王 建青・内海邦昭 幹事補佐 平井義人・青柳貴洋

日時 1 月 10 日 (木) 10:00~17:15

11 日 (金) 12:55~17:15

会場 長崎大学文教キャンパス工学部サイエンス&テクノラボ 2F セミナー室 2 (長崎市文教町 1-14. JR 長崎駅から路面電車: 長崎駅前から赤迫行きで、「長崎大学前」下車. または長崎バス「長崎駅前」から 1 番系統「溝川」, 「上床」, 「上横尾」行きで「長崎大学前」下車. <http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/access/bunkyo/index.html> TEL [095] 819-2561 田口光雄)

議題 通信, EMC, 一般

EMCJ-1. 中間周波数帯用磁界測定システムの空間分解能の向上

告 29

- 佐藤彰訓 (青学大)・藤井勝巳・和氣加奈子・渡辺聡一・松本 泰 (NICT)・橋本 修 (青学大)
- EMCJ-2. 0.5-10 GHz ダイポールアンテナによる局所 SAR と頭部内温度上昇の関係 ○浅井龍一・ラクソ イルッカ・平田晃正 (名工大)
- EMCJ-3. 全身平均 SAR 測定用カロリメータの大型化に関する検討 ○秋山卓也 (東京農工大/NICT)・和氣加奈子 (NICT)・有馬卓司 (東京農工大)・渡辺聡一 (NICT)・宇野 亨 (東京農工大)
- EMCJ-4. ファントム内誘導電界測定に基づいた中間周波数帯数値シミュレーションの妥当性評価 ○田又慎也・キック アルフレード・鈴木敬久 (首都大東京)・平田晃正 (名工大)

#### 10 日午後

- EMCJ-5. スロットライン付き UWB フィルタの設計と評価 ○謝 驥 (電通大)・村野公俊 (東海大)・上 芳夫・肖 鳳超 (電通大)
- EMCJ-6. 容量性電圧プローブの測定精度の改善について ○佐藤 博・桑原伸夫 (九工大)
- EMCJ-7. GPU クラスタを用いた FDTD 法による地中レーダにおける地下変位検出特性の統計的解析 ○小関勇気・園田 潤 (仙台高専)・昆 太一 (NTT-AT)・佐藤源之 (東北大)
- EMCJ-8. 基板実装型コモンモードチョークコイルの電磁界解析用モデル ○中本藤之・佐々木雄一・渡邊陽介・宮崎千春・岡 尚人 (三菱電機)
- EMCJ-9. コンバータ回路に適用する空芯リアクトルの銅損・容積の最適設計に関する一考察 ○井淵貴章・舟木 剛 (阪大)
- EMCJ-10. Numerical and Experimental Study on A Planar Waveguide Sheet with Switched Open/Short Termination ○Kuan-hua Chen・Qiang Chen・Kunio Sawaya (Tohoku Univ.)・Machiko Oouchida・Yoshiaki Hirano (Teijin)
- EMCJ-11. スイッチング電源の電磁妨害波発生要因とその特徴 ○村田仁一・二宮 保 (長崎大)
- EMCJ-12. ケーブルから放射される電界強度とモジュールからの妨害波電流との相関性の検討 ○矢野健一・桑原伸夫 (九工大)・島先敏貴 (NEC エンジニアリング)・村松秀則 (VCCI)・森 健悟 (アイ・オー・データ)
- EMCJ-13. プリント配線板電源層からの放射雑音低減方法の検討—電源層形状— ○泊 佑樹・佐々木伸一・11 日
- EMCJ-1. 共振ダイポールからの置換法による短縮ダイポールアンテナ係数 ○森岡健浩 (産総研)・山中政来 (パナソニック)・平沢一紘 (筑波大)
- EMCJ-2. 40 GHz から 75 GHz に渡るミリ波用電波吸収体の斜め入射特性評価 ○小寺達明・山本真一郎・畠山賢一 (兵庫県立大)・岩井 通 (カワキテク)
- EMCJ-3. マルチモード TDR 法を用いた多重故障診断方式の検討 ○桑原 崇・小林 剛・上馬弘敬・明星慶洋 (三菱電機)・斉藤成一 (神戸高専)
- EMCJ-4. 伝導妨害波のディファレンシャルモードとコモンモードに関する評価検討 ○廣瀬健二・佐々木雄一・岡 尚人 (三菱電機)・熊本武文 (三菱電機エンジニアリング)
- EMCJ-5. アナログ・デジタル混載配線板における電源雑音の低減—抵抗付加法の適用— ○馬場俊輔・佐々木伸一・

- 高倉一旨・松本裕章 (佐賀大)
- EMCJ-6. 生活支援ロボットにおける帯電フレームモデルの ESD イミュニティ試験法の検討—ロボット支持台に関する要件— ○村上真之 (都産技研)・池田博康 (安衛研)
- EMCJ-7. 機能安全を導入した生活支援ロボットのための放射 RF 電磁界イミュニティ試験システムの開発 ○村上真之 (都産技研)・池田博康 (安衛研)
- EMCJ-8. [特別講演] スイッチング電源とノイズ 二宮 保 (長崎大)

◆IEEE EMC Society Japan Chapter, URSI-E 分科会 共催。IEEE EMC Society Sendai Chapter 協賛

◎11 日 9:00~11:55 には、同じ会場で光応用電磁界時限研究 (PEM) が開催されます。併せて御参加下さい。

◎10 日の研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆EMCJ 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

2 月 休会

3 月 8 日 (金) 機械振興会館 [1 月 14 日 (月)] テーマ: 放送, EMC, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

#### 【問合せ先】

青柳貴洋 (東工大大学院社会理工学研究科人間行動システム専攻)

〒152-8552 目黒区大岡山 2-12-1-W9-110

TEL & FAX [03] 5734-2992

E-mail: emcj@mail.ieice.org

### ★ソフトウェアサイエンス研究会 (SS)

専門委員長 中島 震 副委員長 結縁祥治

幹事 鷲崎弘宜・高田喜朗 幹事補佐 小林隆志

日時 1 月 10 日 (木) 13:00~17:30

11 日 (金) 9:00~12:15

会場 石垣市民会館 (石垣市浜崎町 1-1-2. 石垣空港からバス (東運輸バスターミナルから徒歩で約 5 分), または, タクシー. [http://www.city.ishigaki.okinawa.jp/400000/410000/410400/cityhall/city\\_hall.htm](http://www.city.ishigaki.okinawa.jp/400000/410000/410400/cityhall/city_hall.htm))

#### 議題

##### 10 日 論理と形式手法

- DTD 存在下における兄弟軸を含む Positive XPath クエリの恒真性判定問題 ○楠 洋平 (阪大)・橋本健二 (奈良先端大)・石原哲哲・藤原 融 (阪大)
  - 制約付き項のインスタンスを受理する制約付き木オートマトンの構成法 ○中野靖大・西田直樹・酒井正彦・坂部俊樹・草刈圭一郎 (名大)
  - リファインメント・プランニング 中島 震 (NII)
- ##### アルゴリズムと言語処理系
- 論理パズルを解く汎用的なシステムの構築 ○福本 悟・荒木健治 (北大)
  - API を用いた言語拡張のための COINS を用いた処理系実装の試み ○塩出拓也・川端英之・北村俊明 (広島市大)
  - Malbolge 低級アセンブリプログラミングにおける制御命令の配置設計のための SAT ソルバの利用 ○安藤 聡・酒井正彦・坂部俊樹・草刈圭一郎・西田直樹 (名大)
  - パラメータ値に関する制約を考慮したランダムテストの不具

合検出率について ○重岡大樹・小島英春・土屋達弘 (阪大)  
8. テスト実施状況のリアルタイム可視化を行う単体テスト可視化ツール“Jvis”の開発 ○松岡慎吾・片山徹郎 (宮崎大)

#### 11日 文書とモデリング

1. ソフトウェア文書の抽象化に関する一考察 里中真人・  
○大西 淳 (立命館大)
2. Simulink モデルの保守性向上に向けたクラスターリング及び  
UML モデルとの双方向変換 ○小澤貴之・鷲崎弘宜・  
深澤良彰 (早大)

#### プログラム解析と開発支援

3. デザインパターン検出ツールを用いた汎化関係の追加に基づ  
くパターン適用可能箇所検出手法 ○山崎康生・  
高田喜朗 (高知工科大)
4. オープンソースソフトウェアにおけるソフトウェアライセンス  
間の順序関係の調査 ○眞鍋雄貴・井上克郎 (阪大)
5. プリプロセス命令の制御構造を利用したフィーチャ間の依存  
性解析 ○渥美紀寿 (名大)・小林隆志 (東工大)・  
阿草清滋 (京大)
6. Android アプリケーションの運用時消費電力分析  
○古庄裕貴・久住憲嗣 (九大)・神山 剛・  
稲村 浩 (NTTドコモ)・中西恒夫・福田 晃 (九大)

◎10日研究会終了後、懇親会を行います。

☆SS研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

3月6日(水)~8日(金) 休暇村志賀島[未定] テーマ:一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

#### 【問合先】

鷲崎弘宜 (早大)

TEL & FAX [03] 5286-3272

E-mail: washizaki@waseda.jp

◎最新の情報は SIGSS 研究会ホームページで御確認下さい。

<http://www.washi.cs.waseda.ac.jp/sigss/>

### ★情報通信マネジメント研究会 (ICM)

専門委員長 高野 誠 副委員長 阿多信吾・登内敏夫

幹事 吉原貴仁・増田 健 幹事補佐 野村祐士

### ★ライフインテリジェンスとオフィス情報システム研究会(LOIS)

専門委員長 若原俊彦 副委員長 岡本 学

幹事 杵淵哲也・山元規晴 幹事補佐 茂木 学

日時 1月17日(木) 9:30~17:40

18日(金) 9:30~14:30

会場 佐賀市民会館(佐賀市水ヶ江1-2-20. JR 佐賀駅南口から  
徒歩約30分。または佐賀駅バスセンターから3番乗り場(佐  
賀市営バス)20・21 諸富橋行, 23 犬井道行, 29 蓮池・橋津  
行/4番乗り場(佐賀市営バス)11 相応行, 12 東与賀行/5番  
乗り場(祐徳バス)武雄温泉, 祐徳神社行/7番乗り場(昭和  
バス)多久・小城行で佐嘉神社前下車。 <http://www.shinpo.jp/access/access.html>)

議題 ライフログ活用技術, オフィス情報システム, ビジネス管  
理, 一般

#### 17日午前

1. TMF SID に使われている Characteristic パターンの実装につ  
いて ○西尾 学・武 直樹 (NTT)

2. ロール階層モデルを適用したマネジメントエンジンの検討

○湊 賢治・築島幸男・沈 文裕 (NTT)

3. 網羅的な操作と操作ログ検索による GUI テストの自動化手法  
の提案 ○中島 一・増田 健・高橋郁也 (NTT)

4. 距離マトリクス画像からの直線検出にもとづく電話会話検索  
手法の提案と評価 ○西 宏之・横林優貴・木村義政・  
柿木稔男 (崇城大)

5. 理解度を向上させるための教材作成法の研究

○趙 永為・若原俊彦 (福岡工大)

6. 自己組織化カテゴリ階層型検索インタフェースの提案と評価

○榎 俊孝・若原俊彦・坂本真仁・本田泰規・  
池田 誠 (福岡工大)

7. ライフログに基づく感性コミュニケーションモデルに関する  
考察—類似経験の提示による感情共有— ○望月理香・  
渡部智樹・小林 透 (NTT)

#### 17日午後

8. 高負荷分散オブジェクトストレージにおけるサイト間複製処  
理の改善 ○陣内一喜・加藤 稔 (NTTコムウェア)・  
河野慎司 (NTTインターネット)・今崎充智 (NTTコムウェア)

9. 複数リクエストのキューイングによりストレージ設定を高速  
化する機構 ○中島 淳・柴山 司・坂下幸徳・名倉正剛・  
篠原大輔 (日立)

10. [奨励講演] OSS を構成する仮想マシンの最適配置手法の  
評価 ○中里彦俊・清水雅史・瀬世家 光 (NTT)

11. [招待講演] Restoration Status for Damage Caused by the  
Great East Japan Earthquake and Future Responses

Toshiya Masuzawa (NTT)

12. [招待講演] コンテナ型データセンタを活用した災害復興の  
事例報告 小林秀樹 (日立システムズ)

13. [招待講演] テレコムネットワークの仮想化による災害対  
策・省電力化への研究開発の取り組み 横田英俊 (KDDI 研)

14. [招待講演] 柔軟な移動通信ネットワーク実現への課題とア  
プローチ ○清水敬司・岩科 滋・中村哲也・  
滝田 亘 (NTTドコモ)

15. [招待講演] センサと医療情報ネットワーク

藤野雄一 (公立はこだて未来大)

16. [招待講演] センサと医療情報ネットワーク

藤野雄一 (公立はこだて未来大)

#### 18日午前

1. 複数基準による階層クラスタを導入した P2P コンテンツ配布  
システム ○赤瀬準一・植田和憲 (高知工科大)

2. WMN における隣接関係に基づく経路決定手法の検討

○福見和彦・植田和憲 (高知工科大)

3. WMN における隣接関係を考慮したルーティングプロトコル  
MBCR の位置情報生成手法の拡張と性能評価 ○丸岡優大・  
植田和憲 (高知工科大)

4. レシート情報システムのためのデータベース設計と入力デー  
タ処理アルゴリズム ○塔 娜・船曳信生・中西 透・  
渡邊 寛 (岡山大)

5. 手作り料理支援システムの調理ガイダンス機能のための An-  
droid アプリケーション ○岡田朋也・松島由紀子・  
船曳信生・中西 透・渡邊 寛 (岡山大)

6. 仮想 PC 型シンクライアントシステムの開発 ○梅澤克之・  
岩下 新・加藤雄一郎 (日立)

7. 携帯端末のセンサ情報を用いた人物移動状態の識別に関する  
検討 ○上原聡介 (早大)・市野将嗣 (電通大)・  
吉井英樹 (ソフトバンクテレコム)・鶴丸和宏・甲藤二郎・  
小松尚久 (早大)

18 日午後 (13:30~)

8. [奨励講演] 構造化オーバーレイを用いた大規模計算基盤の装  
装と基礎評価 ○水谷后宏・間野 暢・明石 修 (NTT)・  
福田健介 (NII)

9. 大規模 SaaS 向けログデータストア方式の提案と評価  
○佐藤竜也・吉澤政洋・直野 健 (日立)

10. [奨励講演] サービスの優先度に対応したフロー制御技術に  
よるネットワーク品質の全体最適化手法 ○山田 啓・  
近江貴晴・川原浩一・蔭 海鷹・山田洋一 (NTT コムウェア)

☆ICM 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

3 月 14 日 (木), 15 日 (金) 屋久島環境文化村センター [1  
月 4 日 (金)] テーマ: エレメント管理, 管理機能, 理論・  
運用方法論, 及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

ICM 研究会幹事  
E-mail: icm-kanji@mail.ieice.org

○<http://www.ieice.org/~icm/jpn/>

☆LOIS 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

3 月 7 日 (木), 8 日 (金) 宮古島マリンターミナル [1 月 11  
日 (金)] テーマ: ライフログ活用技術, オフィスインフォ  
メーションシステム, ライフインテリジェンス, 及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

山元規靖 (福岡工大情報工学部)  
〒811-0295 福岡市東区和白東 3-30-1  
FAX [092] 606-0758 E-mail: nori@fit.ac.jp

## ★アンテナ・伝播研究会 (A・P)

専門委員長 宇野 亨 副委員長 菊間信良  
幹事 石井 望・高橋 徹 幹事補佐 道下尚文

日時 1 月 23 日 (水) 10:10~17:05  
24 日 (木) 9:35~17:15  
25 日 (金) 9:35~17:05

会場 ホテルメリージュ 2F 琥珀の間 (宮崎市橋通東 3-1-11. 宮  
崎駅から徒歩約 10 分. <http://www.meriegues.co.jp/access/>  
TEL [0985] 26-6666 (会場) 横田光広 (宮崎大))

議題 電波伝搬, 一般

23 日午前

- 管壁を部分的にオーバーラップさせた Z 形状スロット導波管  
エッジシャントスロットアレーアンテナ ○渡辺 光・  
山口 聡・中本成洋・高橋 徹・小西善彦 (三菱電機)
- Magic-T とオフセット給電回路を用いた簡易型電磁到来角セ  
ンシングアレーアンテナ ○坂井博敏・西山英輔・  
豊田一彦・相川正義 (佐賀大)
- 共振構造を有する同一チャンネル全二重無線通信向け平面アン  
テナのアイソレーション特性 ○岩元 啓・鈴木 誠・  
長谷良裕・森川博之 (東大)
- 無線秘密鍵生成共有方式の盗聴耐性を高める可変指向性アン  
テナの指向性多様性指標の提案 ○坂井尚貴・小田康明・  
ウリントヤ・上原秀幸・大平 孝 (豊橋技科大)

23 日午後 オーガナイズドセッション「無線技術の未来を創る

電波伝搬の研究」I

- 基地局における 3D ビームフォーミング性能評価のための垂  
直到来波分布特性の検討 ○北尾光司郎・今井哲朗・  
齋藤健太郎・奥村幸彦 (NTT ドコモ)
  - MIMO チャネル容量の低下メカニズムと実環境における影響  
○丸山雅弥・中林寛暁 (千葉工大)
  - 都市内と住宅地の移動伝搬損失を対象としたスケールモデル  
手法 青木博志・○川崎 望・本田智治・市坪信一 (九工大)  
オーガナイズドセッション「無線技術の未来を創る電波伝搬の研  
究」II
  - 屋外-屋内伝搬環境における時空間チャネル特性の実験的検討  
○今井哲朗・齋藤健太郎・北尾光司郎・  
奥村幸彦 (NTT ドコモ)
  - 高速鉄道車両間ドアによる無線 LAN 遮蔽効果の FDTD 解析  
○日景 隆・白船雅巳・野島俊雄 (北大)・山田 渉・  
北 直樹・杉山隆利 (NTT)
  - ヘテロロジーニアスネットワークにおける 2/3 GHz 帯の違い  
による干渉量評価 ○堀尾三咲・西森健太郎・  
久住圭介 (新潟大)・北尾光四郎・今井哲朗 (NTT ドコモ)
  - 自己共振形ノーマルモードヘリカルアンテナの電気的・磁気  
的エネルギーの関係 ○毛利克也・道下尚文・  
山田吉英 (防衛大)
  - 円形パッチアンテナの特性改善に関する検討  
○山路翔太・藤垣輝也・塩川孝泰 (東北学院大)
  - 防災用ヘルメットアンテナに関する基礎検討  
○中尾拓磨・伊藤 敦・鍵山憲幸・森下 久 (防衛大)
- 24 日午前 オーガナイズドセッション「無線技術の未来を創る  
電波伝搬の研究」III

- 狭帯域 FSK 信号を用いた MIMO センサの特性評価に関する  
検討 ○西森健太郎 (新潟大)・満井 勉 (サンス) 横浜研)・  
牛木敬太 (新潟大)・竹村暢康・長谷川 実 (サンス) 横浜研)
- Very Large MIMO に適した通信周波数に関する基礎検討  
○堅岡良知・西森健太郎・牧野秀夫 (新潟大)
- 車々間通信環境における 5.8 GHz 帯・700 MHz 帯間伝搬損失  
差の評価 ○吉田亮路・岩井誠人・笹岡秀一 (同志社大)

A・P 研

- Study on RF Characteristics of Transparent Flexible Sub-  
strate ○Young Yun・Jang-Hyeon Jeong・Sung-Jo Han・  
Ki-Jun Son・Hong-Seung Kim・  
Nak-Won Jang (Korea Maritime Univ.)
  - 損失性導体円柱の吸収断面積 ○奥間健太郎・宇野 亨・  
有馬卓司 (東京農工大)
- 24 日午後
- 隣接素子間減結合による MIMO チャネル容量の改善効果  
○八巻直也・本間尚樹 (岩手大)
  - 端末用アンテナ特性と MIMO チャネル容量の関係について  
新井宏之 (横浜国大)
  - 小型地上波テレビ放送受信アンテナ ○田口光雄・  
坂元裕紀 (長崎大)
  - MIMO システムを用いた生体活動検出法の評価  
○南湖政輝・本間尚樹 (岩手大)・西森健太郎 (新潟大)・  
佐藤宏明 (岩手大)
  - Study on Multistream MIMO System Using Full-Duplex  
Relays ○Tetsuki Taniguchi・  
Yoshio Karasawa (Univ. of Electro-Comm.)
  - [チュートリアル講演] ITS 車車間通信環境における伝搬損

失モデル 多賀登喜雄 (関西学院大)  
12. [IEEE AP-S Fukuoka Chapter 特別講演] 宮崎県, 西都原古墳群における地下レーダー探査の実践と GIS を利用した地下マップ制作について (口頭発表) 東 憲章 (宮崎県教育庁)

25 日午前

1. L 形プローブを用いた導波管形広帯域円偏波アンテナの高周波帯における交差偏波低減 ○山浦真悟・福迫 武 (熊本大)
2. 分散給電による板状逆 F アンテナの放射効率向上法  
○本間尚樹・尾柏 智 (岩手大)
3. 小型広帯域偏波共用基地局アンテナ ○王 シン・新井宏之 (横浜国大)・蔣 恵玲 (NTT ドコモ)・長 敬三 (千葉工大)・李 章煥 (日本電業工作)
4. [チュートリアル講演] チルト角制御用移相器の開発  
菊込正敏 (日本電業工作)

25 日午後

5. [チュートリアル講演] 体内植込み型アンテナに挑む  
高橋応明 (千葉大)
- オーガナイズドセッション「無線技術の未来を創る電波伝搬の研究」IV
6. 粒子フィルタを用いた MIMO システム評価のための市街地動的チャンネルモデリング ○齋藤健太郎・北尾光司郎・今井哲朗・奥村幸彦 (NTT ドコモ)
  7. 住宅地低層一低層環境における到来波分布特性  
○佐々木元晴・山田 渉・北 直樹・杉山隆利 (NTT)
  8. Analysis of Indoor Measurement with Wideband 24×24 MIMO Sounder at 11 GHz ○Yuyuan Chang・Yohei Konishi・Minseok Kim・Jun-ichi Takada (Tokyo Inst. of Tech.)
  9. 送受信間に複数の人が存在する場合の伝搬距離及び通行人密度に対する伝搬損失特性の数値的検討 ○内布直毅・友永千晴・椎屋和久・横田光広 (宮崎大)・太田喜元・藤井輝也 (ソフトバンクテレコム)

A・P 研

10. 歩行時の動的統計データに基づく BAN ダイバーシチアンテナのシャドウイング・マルチパス練成解析 ○本田和博・李 鯤・小川晃一 (富山大)
11. Ku 帯衛星回線の降雨減衰特性に対する雨域通過速度と上空の風速の影響について ○前川泰之・稲森佑崇・柴垣佳明 (阪電通大)
12. Ku 帯ビーコン観測による低高度を周回する超小型衛星の軌道変化の推定 ○西尾正則・宮本 翔・北迫千歩・森松健人・森田大貴・中野 大・和合佐友里・山道千鶴 (鹿児島大)・坂本祐二 (東北大)

◆IEEE AP-S Fukuoka Chapter, URSI-F 共催

◎24 日研究会終了後, 懇親会を予定していますので奮って御参加下さい。

☆A・P 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

2 月 7 日 (木) 産総研臨海センター [締切済] テーマ: 放送技術, 測定, 一般

3 月 14 日 (木), 15 日 (金) 湯河原商工会館 [1 月 10 日 (木)] テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

高橋 徹 (三菱電機)

E-mail: ap\_ac-secretary@mail.ieice.org

第一種研究会開催案内

## ★宇宙・航行エレクトロニクス研究会 (SANE)

専門委員長 小瀬木 滋 副委員長 浜 真一

幹事 富木淳史・灘井章嗣 幹事補佐 平田和史

日時 1 月 24 日 (木) 10:30~17:15

25 日 (金) 10:30~16:10

会場 長崎県美術館 (長崎市出島町 2-1. 路面電車: 出島電停より徒歩 3 分, 市民病院前電停より徒歩 2 分. バスで長崎新地ターミナルより徒歩 5 分, 長崎市コミュニティバスらんらん「長崎市美術館」下車. JR 長崎駅より徒歩 15 分. フェリー: 大波止ターミナルより徒歩 10 分. <http://www.nagasaki-museum.jp/> TEL [095] 819-2704 小菅義夫)

議題 測位・航法及び一般

24 日午前

1. 位置・速度を観測値とする九次元追尾フィルタ  
○松尾健太・小菅義夫・松波 勲 (長崎大)
2. TOA (Time of Arrival) 追尾の基礎検討 ○呂 楠・小菅義夫・松波 勲 (長崎大)
3. 等加速度運動モデルを使用した不定サンプリング過渡応答用非干渉形フィルタの性能評価 ○匂梅和也・小菅義夫・松波 勲 (長崎大)

24 日午後

4. 複合シーケンス多周波 CW 方式の提案 ○渡邊俊人・山下 遼・稲葉敬之 (電通大)
5. 多周波ステップ CPC レーダへの ELD-STAP の適用と評価  
○新田大輔・稲葉敬之・深町弘毅 (電通大)
6. 直交周波数に基づいたレーダ変調方式に合成帯域方式を組み合わせた多周波ステップ OFPR 方式の提案と実験的検証  
○村永哲也・稲葉敬之 (電通大)
7. 車載レーダにおける NN アソシエーションを適用した先行車両追尾 ○深町弘毅・渡辺優人・稲葉敬之 (電通大)・小菅義夫 (長崎大)
8. 車両の走行態勢を考慮したシミュレーションモデルの構築  
○若杉博幸・松波 勲・小菅義夫 (長崎大)・梶原昭博 (北九州市大)
9. マイクロ波による微小変位計測の基礎検討 ○蔵田真彦・稲葉敬之 (電通大)
10. Khatri-Rao 積拡張アレー処理による海洋レーダ分解能特性改善に関する検討 ○小沢直輝・山田寛喜・山口芳雄 (新潟大)・平野圭蔵・伊藤浩之 (長野日本無線)
11. 多周波 CW 方式を用いた近距離着陸レーダのフィージビリティ検討 ○中島大輔・稲葉敬之 (電通大)・水野貴秀・福田盛介 (JAXA)
12. 連続波源の角度幅を推定するスパース信号処理  
○塚越洋明・原 六蔵・平田和史 (三菱電機)

25 日午前

1. 追尾フィルタの数値実験—n サンプル後の目標位置予測の評価— ○山口優子・小菅義夫・松波 勲 (長崎大)
2. 巡回型カルマンフィルタによる巡回目標追尾の性能評価  
○ムハンマド シャミー・小菅義夫・松波 勲 (長崎大)
3. サンプリング間隔不定の場合の過渡応用線形最小自乗フィルタの性能評価 ○李 勁・小菅義夫・松波 勲 (長崎大)・古賀 禎 (電子航法研)

25 日午後

4. 航空機ハイブリッド監視における追尾技術の基礎的検討  
○呂 曉東・古賀 禎 (電子航法研)

5. 航空路 FIX への推定到着時刻に基づく出発制御時刻の確率的決定法Ⅱ—不確定性分布の非対称性とバイアスの到着順序への影響— ○長岡 栄 (電子航法研)・グウィグナー クラウス (BFU)・福田 豊 (電子航法研)
6. 推定到着時刻の不確定性情報を利用する順序付けの一方法 ○長岡 栄・福田 豊 (電子航法研)
7. 飛行軌道の区分多項式近似とコンフリクト検出に関する一検討 藤田雅人 (電子航法研)
8. 経路毎に横方向重畳確率を推定した短縮垂直間隔運用の安全性評価 天井 治 (電子航法研)
9. 交通情報配信による機上監視の一検討 ○大津山卓哉・小瀬木 滋 (電子航法研)
10. 関西国際空港におけるボーイング 787 型機による GLS 飛行評価 ○齊藤真二・福島荘之介・山 康博 (電子航法研)

◆IEEE AES Society Japan Chapter 共催

◎24日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆SANE 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

2月21日(木), 22日(金) 沖縄県青年会館〔締切済〕テーマ: 衛星応用技術及び一般

【問合せ先】

富木淳史 (JAXA)

TEL [050] 3362-6575

E-mail: tomiki.atsushi@jaxa.jp

灘井章嗣 (NICT)

TEL [042] 327-6496

E-mail: nandai@nict.go.jp

★ネットワークシステム研究会 (NS)

専門委員長 漆谷重雄 副委員長 平松 淳

幹事 木下和彦・栗本 崇 幹事補佐 武田知典

日時 1月24日(木) 13:00~18:40

25日(金) 9:25~16:35

会場 熊本大学黒髪南地区(熊本市中央区黒髪 2-39-1, 熊本駅からバスで25分, 阿蘇くまもと空港から空港リムジンバスと産交バス・電鉄バスで50~70分. <http://www.kumamoto-u.ac.jp/campusjohou/access> 北須賀輝明)

議題 ネットワークソフトウェア(ソフトウェアアーキテクチャ, ミドルウェア), NW アプリケーション, SOA/SDP, NGN/IMS/API, 分散制御・ダイナミックルーティング, グリッド, NW 及びシステム信頼性, NW 及びシステム評価, 一般

24日

- 無線メッシュネットワークでのリンク速度変化を考慮した経路木アルゴリズムの拡張 ○丸山 渉・船曳信生・中西 透・渡邊 寛 (岡山大)
- An Extension of Access-Point Aggregation Algorithm Considering Link Speed Change for Wireless Local Area Networks ○Md. Ezharul Islam・Nobuo Funabiki・Toru Nakanishi・Kan Watanabe (Okayama Univ)
- Improvement and evaluation of rate adaptation based on average fade region duration estimation for IEEE 802.11 ○Chie Mishima・Irda Binti Roslan・Tsumomu Inamoto・Yumi Takaki・Chikara Ohta・Hisashi Tamaki (Kobe Univ.)
- 無線メッシュネットワーク動作アクセスポイント選択アルゴリズムの拡張 ○藤田 翔・船曳信生・中西 透・

渡邊 寛 (岡山大)

- SIP モビリティの拡張による端末非依存型ハンドオーバー方式の性能向上に関する検討 ○織田喜雄・中村嘉隆・高橋 修 (公立はこだて未来大)
  - NGN ASF & SSF のソフトウェアアーキテクチャー呼処理部品の設計 ○原 大輔・江村義樹・田中昌也 (NTT)
  - 無線メッシュネットワークにおけるリンク可用帯域を用いた呼受付制御手法の提案 ○野呂昌弘・正木大介・杉崎義雄・浅谷耕一 (工学院大)
  - アドホック通信における高速ファイル転送方式の提案と実装 ○高橋大斗・中村嘉隆・高橋 修 (公立はこだて未来大)
  - 実機と実 TCP 実装を用いた TCP の公平性の評価 ○秋山友理愛・大浦 亮・神津智樹・山口実靖 (工学院大)
  - パケットロス環境におけるマルチストリーム機能と PR-SCTP を用いた分割ダウンロードのタイムアウト削減法 ○勝部 潤・舟阪淳一・石田賢治 (広島市大)
  - 〔招待講演〕スーパーコンピュータ「京」開発秘話—世界最高性能への挑戦— 松本孝之 (富士通)
- 25日午前
- 〔奨励講演〕Implementation and Evaluation of ID/Locator Split-based HIMALIS Network Protocol Stack ○Ved P. Kafle・Hajime Tazaki・Tomoji Tomuro・Yasunaga Kobari・Hiroaki Harai (NICT)
  - コンテンツオリエンテッドサービスにおける受信駆動型輻輳制御の検討 ○於久野精隆・山本 幹 (関西大)
  - 網内における正規表現を用いた動画トラフィックフロー検出 ○安藤翔伍・中尾彰宏 (東大)
  - 省電力運転を動的に制御するルータシステムの検討 ○中務諭士・渡辺裕太・新井直樹 (NTT)
  - 〔奨励講演〕残存次数分布の相互情報量最小化に基づくネットワーク設計 ○シン ルー・荒川伸一・村田正幸 (阪大)
  - 監視の自動化における監視員の課題と解決策—生理計測結果に対する解釈— ○村井秀聡・魚住光成 (三菱電機)
  - 通信サービス途絶時の経済被害額評価法の検討 ○中西靖人・唐澤秀一・船越裕介・松林泰則 (NTT)
- 25日午後(13:30~)
- ネットワーク内遊休計算資源の利用効率を考慮した複数情報探索スケジューリング手法 ○三浦 力・菅原真司・石橋 豊 (名工大)
  - 異種センサネットワークにおける複数シンクノードへのデータ分散法 ○荒井典大・町田 徹・織田大原 進・水野 修 (工学院大)
  - プレゼンスサービスのためのスマートフォンを用いた情報入出力方式 ○西畑拓晃 (工学院大)・片岡春乃・下村道夫 (NTT)・水野 修 (工学院大)
  - BitTorrent におけるネットワーク座標システムの可能性に関する検討 ○佐々木 亮・ザニケエフ マラット・渡邊 均 (東京理科大)
  - プル型ファイル転送プロトコルを用いた並列分散映像処理手法の検討 ○黄 民錫・金子 豊・竹内真也・砂崎俊二 (NHK)
  - 仮想遠隔大規模ストレージ実験—NICT サイエンスクラウドの基盤技術開発— 渡邊英伸・○村田健史・山本和憲 (NICT)・木村英善 (愛媛大)・黒澤 隆 (日立東日本)・建部修見 (筑波大)
  - 大規模シミュレーションデータポスト処理・可視化環境仮想

化一分散ファイル管理システムによる遠隔地からの大規模データ処理技術— ○村田健史・山本和憲・渡邊英伸 (NICT)・木村映善 (愛媛大)・黒澤 隆 (日立東日本)・建部修見 (筑波大)

◎24日研究会終了後、懇親会を予定しておりますので御参加下さい。会費は以下を予定しております。

3,000円 (一般), 2,000円 (学生)

☆NS研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

3月7日 (木), 8日 (金) 残波岬ロイヤルホテル [1月14日 (月)] テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

#### 【問合先】

NS研究会幹事及び幹事補佐

E-mail: ns-secretariat@mail.ieice.org

武田知典 (NTT) TEL [0422] 59-7434

栗本 崇 (NTT) TEL [0422] 59-3121

◎最新情報は、NS研ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/ns/jpn/>

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

## ★情報ネットワーク研究会 (IN)

専門委員長 浅見 徹 副委員長 小林秀承

幹事 堀 賢治・五十嵐弓将 幹事補佐 田坂和之・野村啓仁

日時 1月24日 (木) 14:30~17:10

25日 (金) 10:00~15:50

会場 鹿児島県産業会館 (鹿児島市名山町9-1。鹿児島中央駅から電車またはバスで10分、天文館から徒歩で10分。 <http://www.kagoshima-con.or.jp/facilities/article.php?id=19>)

議題 ソーシャル・ネットワーク、セキュリティ管理、災害時情報流通、オーバーレイネットワーク、P2Pネットワーク、自律分散制御及び一般

24日

1. ホームネットワークの遠隔アクセス方式とユーザ別優先制御の検討 ○高田佳典・高橋大祐・堀内栄一 (三菱電機)

2. バッテリーの残り使用時間と充電状態を考慮したパス構築 ○大山晋平・ザニケエフ マラット・渡邊 均 (東京理科大)

3. 複数コミュニティを踏まえた情報伝播モデルの構築 ○川口誠矢・ザニケエフ マラット・渡邊 均 (東京理科大)

4. 都市災害を想定した減災情報ネットワークの運用方法の検証 ○隆 晃人・山本 翔・水野 修 (工学院大)

5. [招待講演] IPv4 アドレス在庫枯渇問題とIPv6の現状—最近の動向をご紹介— 小川晃通

25日午前

1. サービス指向ホームネットワークにおけるタイミング制約を用いたセンサ連携サービスの性能評価 ○丸尾彰宏・まつ本真佑・中村匡秀 (神戸大)

2. MANET トポロジが激変する環境における自律的に形成されたクラスタ構造のロバスト性 ○増田健太 (首都大東京)・高野知佐 (広島市大)・会田雅樹 (首都大東京)

3. MANET のルーティングに適した新しいノード中心性指標の提案 ○中島ことみ・会田雅樹 (首都大東京)

4. 無線 LAN MAC 層における傍受型ユニキャストと反復型マル

チキャストの性能比較 ○松浦一樹・阪田史郎 (千葉大)・原 誠一郎 (アルファシステムズ)

25日午後 (12:40~)

5. 高速なオーバーレイマルチキャストのための木集合構築手法 ○水口弘明・笹部昌弘・滝根哲哉 (阪大)

6. Skip Graph をベースとした高速な挿入と検索が可能な構造化オーバーレイの提案 ○播磨裕太・安倍広多・石橋勇人・松浦敏雄 (阪市大)

7. 最短経路木を利用した省電力経路制御における集約ルータ/転送経路選択方式 ○川本和樹 (九工大)・田村 瞳 (福岡工大)・川原憲治・尾家祐二 (九工大)

8. マルチパス TCP における輻輳制御アルゴリズム ○三浦史也・稲井 寛 (岡山県立大)

9. ネットワーク機器省電力化のための TCP セグメント転送移行によるリンク利用時間集約方式 ○村上 慎 (九工大)・田村 瞳 (福岡工大)・川原憲治・尾家祐二 (九工大)

10. ネットワーク連携型タスクスケジューリングによる Hadoop 性能の改善 ○片岡 駿・渡邊飛雄馬・川原崎雅敏 (筑波大)

11. インタークラウドにおけるリソース性能測定方式 ○首藤裕一・波戸邦夫・小林秀承・桑名栄二 (NTT)

☆IN研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

3月7日 (木), 8日 (金) 残波岬ロイヤルホテル [1月14日 (月)] テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

#### 【問合先】

IN研究会幹事及び幹事補佐

E-mail: in\_ac-kanji-2007@mail.ieice.org

堀 賢治 (KDDI 研)

TEL [049] 278-7651, FAX [049] 278-7510

田坂和之 (KDDI 研)

TEL [049] 278-7574, FAX [049] 278-7510

◎IN研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/in/jpn/>

◎なお、原稿の締切日を過ぎますと技報への掲載ができなくなり、原稿なしでの御発表となります。プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

## ★電子通信エネルギー技術研究会 (EE)

専門委員長 庄山正仁 副委員長 大津 智

幹事 石塚洋一・馬場崎忠利 幹事補佐 山下暢彦

## ★電子部品・材料研究会 (CPM)

専門委員長 竹村泰司 副委員長 高野 泰

幹事 圓佛晃次・阿部克也 幹事補佐 小館淳一・佐藤知正

日時 1月24日 (木) 10:00~18:15

25日 (金) 9:00~16:10

会場 阿蘇ファームランド (阿蘇郡南阿蘇村河陽5579-3。九州横断バス ([http://www.kyusanko.co.jp/sankobus/kyushu\\_odan/](http://www.kyusanko.co.jp/sankobus/kyushu_odan/)) 利用 (座席定員制のため事前予約・購入が必要です)、または JR 豊肥本線: 赤水駅より車で約7分、熊本空港より車で約30分)

議題 エネルギー変換技術、電池関連技術、一般

24日午前

1. ブリッジレス PFC 回路の効率解析とスイッチングノイズ低減に関する研究 ○増本 聖・施 克威・庄山正仁 (九大)・富岡 聡 (TDK ムダ)
2. 同期整流型降圧方式 DC-DC コンバータにおける PCB レイアウトの違いによる放射ノイズへの影響 ○後藤研太・庄山正仁 (九大)
3. 対称的な構成を持つ 2 つの三相インバータによるコモンモードノイズの抑制 ○平川晋也・庄山正仁 (九大)
4. LLC 電流共振形 DC-DC コンバータの動特性解析について ○河津修平・峰 陽介・石塚洋一・二宮 保 (長崎大)・安部征哉 (国際東アジア研究センター)
5. 高電圧直流給電システム用 LLC 電流共振形 DC-DC コンバータの並列運転における動作特性について ○川原大輝 (長崎大)・安倍征哉 (ICSEAD)・本村 聖・土本和秀・石塚洋一・二宮 保 (長崎大)・庄山正仁 (九大)・加賀雅人 (NTT ファシリテーズ)
- 24 日午後 (13:30~)
6. SOFC 燃料極の再酸化に起因する電解質破損条件の評価 ○田原由梨・大類姫子・渡部仁貴・杉田 敏・小林隆一 (NTT)
7. リチウム空気電池用空気極材料の開発 ○林 政彦・蓑輪浩伸・林 克也・小林隆一 (NTT)
8. ナトリウム二次電池用酸化物材料の電極特性 ○小野陽子・由井悠基・エリ セテアワテイ・蓑輪浩伸・林 政彦・林 克也・小林隆一 (NTT)
9. 通信用リチウムイオン電池の寿命性能と安全性 ○辻川知伸・藪田火峰 (NTT ファシリテーズ)・荒川正泰 (NTT ファシリテーズ総研)・林 晃司 (新神戸電機)
10. 特性の異なるリチウムイオン電池で構成された組電池の構成切り替え制御に関する実験的検討 ○宮武 想・薄 良彦・引原隆士 (京大)・坂口幸継・菊池達也 (キャパックス)
11. 蓄電池温度特性及び温度管理システム構築の一考察 ○加藤啓路・山本祐介・浅永稜太・林 磊・福井正博 (立命館大)
12. 周期変動充放電効率の評価に向けたリチウムイオン二次電池の等価回路モデリングに関する一考察 ○大石貴章・杉原英治・舟木 剛 (阪大)
13. 5 エレメント複合共振形 DC-DC コンバータの閉ループ出力制御特性 ○水谷大斗・三島智和 (神戸大)・中岡睦雄 (慶南大)
14. 部分共振 ZVS 1 石フォワード DC-DC コンバータの 2 次側整流器の実動作特性の検証 ○埴岡正史・三島智和 (神戸大)
15. 双方向 DC-DC コンバータのシームレスな動特性モデル ○今村泰隆・梁 時熏・庄山正仁 (九大)
16. 高電圧直流給電システムにおける LLC 電流共振形 DC-DC コンバータの高効率・高パワー密度化について ○本村 聖 (長崎大)・安部征哉 (国際東アジア研究センター)・川原大輝・土本和秀・石塚洋一・二宮 保 (長崎大)・庄山正仁 (九大)・加賀雅人 (NTT ファシリテーズ)
4. 高耐圧パワーデバイス用スケールダウン・テストベッドの開発 ○松吉 峻 (九工大)・附田正則 (国際アジア研究センター)・平井秀敏・大村一郎 (九工大)
5. 固体高分子形燃料電池の周囲磁界を利用した発電電流分布推定 ○増山 翔・楠原良人 (鹿児島高専)・後藤雄治 (大分大)・泉 政明 (北九州市大)・清水勇喜 (鹿児島高専)
6. 性能カウンタを用いた計算機電力モニタリング手法 ○河口進一・谷内利明 (東京理科大)
7. 高電位部への送電に適した長ギャップ非接触給電方式の検討 ○榎藤亮太 (同志社大)・久保敏裕・松原克夫 (日新電機)・高橋康人・藤原耕二 (同志社大)
8. 電動車両用高効率非接触給電システムに関する検討 ○吉川明孝・高橋康人・藤原耕二 (同志社大)
- 25 日午後 (13:30~)
9. 有効電力制御を導入した直流給電システムの運転効率最大化に関する研究 ○織原 大・斎藤浩海 (東北大)・樋口裕二・馬場崎忠利 (NTT)
10. スwitching 共鳴方式を用いた 10 MHz 級複共振形 ZVS ワイヤレス給電の検討 ○大林雄一郎 (同志社大)・細谷達也 (村田製作所)・藤原耕二 (同志社大)
11. 双方向 DC-DC コンバータを用いた EDLC と蓄電池によるハイブリッド電源システム ○川地光之輔・後藤研太・梁 時熏・庄山正仁 (九大)
12. 双方向 DC-DC コンバータを用いた直流電力自動ルーティングシステム ○庄山正仁・Husam A. Ramadan・今村泰隆・川地光之輔・梁 時熏・Gamal M. Dousoky (九大)
13. 電気自動車 (EV) バッテリー交換ステーションの配置と EV 稼働率に関する解析 ○迎 尚悟・ザニケエフ マラット・渡邊 均 (東京理科大)
14. 電力取引組合せオークション最適化の社会的効用 ○遠藤登志聖・ザニケエフ マラット・渡邊 均 (東京理科大)
- ◆IEEE Power Electronics Society Japan 共催
- ◎宿泊施設が限られるため、宿泊される方は事前の申し込みをお願いします。申し込み方法・申し込み先等は EE 研究会のホームページ (<http://www.ieice.org/cs/ee/jpn/>) にてお知らせしますので、御確認下さい。
- ◎24 日研究会終了後、懇親会を開催しますので是非御参加下さい。上記宿泊と合わせてお申し込みをお願いします。

☆EE 研究会

【問合先】

山下暢彦 (NTT 環境エネルギー研究所)  
TEL [0422] 59-4222, FAX [0422] 59-5682  
E-mail: yamashita.nobuhiko@lab.ntt.co.jp

☆CPM 研究会

【問合先】

小館淳一 (NTT マイクロシステムインテグレーション研究所)  
TEL [046] 240-2915, FAX [046] 270-2351  
E-mail: kodate.junichi@lab.ntt.co.jp

25 日午前

1.  $\Delta\Sigma$  変調制御を用いた降圧コンバータの出力精度について ○米満優太・田中哲郎 (鹿児島大)
2. H 形コンバータの昇降圧動作について—降圧・昇圧混合モード— ○松下大起・田中哲郎 (鹿児島大)
3. 部分共振形プッシュプルコンバータの静特性 ○前原一智・田中哲郎 (鹿児島大)

## ★医用画像研究会 (MI)

専門委員長 佐藤嘉伸 副委員長 清水昭伸・森 健策  
幹事 河田佳樹・菅 幹生 幹事補佐 原口 亮・北坂孝幸

日時 1月24日(木) 9:50~17:50

25日(金) 9:15~16:30

会場 沖縄ぶんかテンプス館(那覇市牧志3-2-10, ゆいレール:  
牧志駅から徒歩4分, [http://www.tenbusu.jp/shisetsu\\_riyou/  
access/index.html](http://www.tenbusu.jp/shisetsu_riyou/access/index.html) TEL [098] 868-7810 五藤三樹(沖縄職  
能大)・北坂孝幸(愛知工大))

議題 計算解剖モデルとその診断・治療支援への応用, 医用画像  
一般

24日午前 テーマセッション1 計算解剖モデル

1. Variational Mean of Biological Organs ○Shun Inagaki・  
Atsushi Imiya (Chiba Univ.)・  
Hidekata Hontani (Nagoya Inst. of Tech.)・  
Shouhei Hanaoka・Yoshitaka Masutani (Univ. of Tokyo)
2. 条件の誤差モデルを用いた条件付き統計的形状モデルの改良  
○朝重 青・Elco Oost・清水昭伸・渡部秀文(東京農工大)・  
縄野 繁(国際医療福祉大)
3. Graphical lassoによる解剖学的ランドマーク間距離の疎な無  
向グラフィカルモデルの作成ーランドマーク自動検出システム  
への応用可能性の検討ー ○花岡昇平・増谷佳孝・根本充貴・  
野村行弘・三木聡一郎・前田恵理子・吉川健啓・林 直人・  
大友 邦(東大)

テーマセッション2 診断・治療支援1

4. 統計動態モデルを用いた人工膝関節のロバスト3次元動態計  
測 ○亀井亮吾(立命館大)・山崎隆治・岡田俊之・  
菅本一臣・吉川秀樹(阪大)・陳 延偉(立命館大)・  
富山憲幸・佐藤嘉伸(阪大)
5. 脳FDG-PETの統計比較を用いた認知症診断におけるMRI  
の解剖学的標準化による性能向上  
○水野僚介(千葉大/都健康長寿研)・坂田宗之・石井賢二・  
織田圭一・豊原 潤・石渡喜一(都健康長寿研)・  
木村裕一(放医研/千葉大)

医用画像情報学会特別講演

6. [特別講演] 核医学画像を対象とした画像診断及び検査支援  
システムの開発 原 武史(岐阜大)

24日午後 ポスターティーザー1(テーマ)(13:10~)

7. MRエラストグラフィと超音波エラストグラフィのファント  
ムを用いた特性評価 ○小山敦久(千葉大)・  
菅 幹生(千葉大/放医研)・岸本理和(放医研)・  
池田 啓・島崎晋平(千葉大)・若山哲也(GEヘルスケア・ジャパン)・  
小島隆行・辻 比呂志(放医研)
8. [ポスター講演] 4次元放射線治療計画のためのアーチファ  
クト低減に関する研究 ○福島祐樹(阪府大高専)・  
宮部結城(京大医学部附属病院)・森山真光(近畿大)・  
窪田哲也(阪府大高専)
9. [ポスター講演] 動体モデリングを考慮した4次元線量分布  
計算に関する研究 ○堀 裕太(阪府大高専)・  
宮部結城(京大医学部附属病院)・森山真光(近畿大)・  
窪田哲也(阪府大高専)
10. [ポスター講演] Real AdaBoostの拡張とAi支援システム  
への応用 ○浅井 祐・清水昭伸・渡部秀文(東京農工大)・  
山本正二(Ai情報センター)
11. Computer-aided Delineation of Lung Tumor Regions in

Treatment Planning CT Images and PET/CT Images Using  
Localized Level Set Approach ○Ze Jin・

Hidetaka Arimura・Yoshiyuki Shioyama (Kyushu Univ.)・  
Jumpei Kuwazuru

(Medipolis Proton Therapy and Research Center)・

Taiki Magome・Katsumasa Nakamura・Hiroshi Honda・

Fukai Toyofuku・Hideki Hirata・

Masayuki Sasaki (Kyushu Univ.)

12. 固有空間法を用いた3次元X線CT像の部位推定手法の検  
討 ○加賀城 充(新居浜高専)・中村嘉彦(名大)・  
スマディアント エカ プトラ(Gadjah Mada Univ.)・  
平野雅嗣(新居浜高専)・森 健策(名大)
13. Reduction of acquisition time in intersection profile method  
for 4D-MRI reconstruction of thoracoabdominal organs  
○Windra Swastika (Chiba Univ.)・  
Yoshitada Masuda (Chiba Univ. Hospital)・  
Haneishi Hideaki (Chiba Univ.)
14. 先天性心疾患の3次元モデル構築支援システムー球座標系に  
よるモデル表現及び編集インタフェースー  
○益田祐次(奈良先端大)・  
原口 亮(国立循環器病研究センター)・中尾 恵(京大)・  
岩田倫明・黒寄健一・鍵崎康治・白石 公・  
中沢一雄(国立循環器病研究センター)・湊 小太郎(奈良先端大)
15. [ポスター講演] 4D-CT画像とX線透視画像の位置合わせ  
に関する研究 ○上村恭平(阪府大高専)・  
宮部結城(京大医学部附属病院)・森山真光(近畿大)・  
窪田哲也(阪府大高専)
16. [ポスター講演] ロコモティブシンドローム定量評価のため  
の腓腹筋の3次元画像解析 ○名和寛文・渡邊恒夫・  
福岡大輔・寺林伸夫・原 武史・藤田広志(岐阜大)
17. 逐次近似再構成を用いた4次元Cone Beam CT画質改善  
○木田智士(東大)・増谷佳孝(東大病院)・  
中野正寛(東大)・今江禄一・芳賀昭弘(東大病院)
18. 気管支鏡ナビゲーションにおける複数の磁気センサを用いた  
CT-センサ間マーカーフリーレジストレーション手法  
○董 陽・羅 雄彪・二村幸孝(名大)・  
北坂孝幸(愛知工大)・森 健策(名大)
19. CT画像における体幹部の解剖学的構造のデータベース構築  
法に関する考察 ○山口昌太郎・周 向榮・陳 華岳・  
原 武史(岐阜大)・姜 慧研(中国東北大)・横山龍二郎・  
兼松雅之(岐阜大医学部附属病院)・星 博昭・  
藤田広志(岐阜大)
20. マンモグラムにおける乳腺実質濃度の評価を用いた構築の乱  
れの自動検出システムの改良 ○山田菜美(岐阜大)・  
松原友子(名古屋文理大)・角森昭教(エコマニアルケムジー)・  
原 武史・村松千左子(岐阜大)・  
遠藤登喜子(名古屋医療センター)・藤田広志(岐阜大)
21. マルチスライスCT画像を用いた脊椎3次元構造解析  
○高橋英治・鈴木秀宣・河田佳樹・仁木 登(徳島大)・  
中野恭幸(滋賀医科大)・上野淳二・原田雅史(徳島大)・  
森山紀之(国立がんセンター)
22. 3次元腹部CT像からの仮想胃展開像生成システムの開発  
○水藤倫彰・林 雄一郎・小田昌宏(名大)・  
北坂孝幸(愛知工大)・飯沼 元(国立がんセンター)・  
三澤一成(愛知県がんセンター)・縄野 繁(国際医療福祉大)・  
森 健策(名大)

23. [ポスター講演] 拡散テンソル解析による神経走行情報を用いた脳内活動源推定 ○大坂匡道・深見忠典・舟生勇人・嘉山孝正(山形大)
24. Monte-Carlo simulation of a novel 2 m-long entire-body PET scanner ○Ismet Isnaini・Takashi Obi (Tokyo Inst. of Tech.)・Eiji Yoshida・Taiga Yamaya (NIRS)
- フェロー記念講演
25. [記念講演] 対象の大きな変形を考慮した医用画像統合解析 喜多泰代(産総研)
- テーマセッション3 診断・治療支援2
26. 記憶機能における前頭側頭神経束とMRスペクトロスコピーの相関 ○密山京太・佐藤哲大(奈良先端大)・星田 徹・丸山信之(奈良医療センター)・湊 小太郎(奈良先端大)
27. 放射光CT画像による肺二次小葉の肺気腫肺のミクロ構造の解析 ○福岡泰規・河田佳樹・仁木 登(徳島大)・梅谷啓二(JASRI)・中野恭幸・高橋雅士・村田喜代司(滋賀医科大)・伊藤春海(福井大)
28. インタラクティブな肝臓手術支援システムの構築—肝切除シミュレーション— ○宮脇康介・進藤 典(立命館大)・海堀昌樹・松井康輔・津田 匠・権 雅憲(関西医科大)・陳 延偉(立命館大)
29. 呼吸性体動に対応したPET ベース腫瘍トラッキング ○品地哲弥(千葉大)・田島英朗・吉田英治・村山秀雄・山谷泰賀(放医研)・羽石秀昭(千葉大)
- テーマセッション4 計算解剖モデルを利用したセグメンテーション
30. グラフカットと統計アトラスを用いたびまん性肺疾患を含む三次元胸部CT画像からの肺野領域の抽出 ○浦山亮祐・徐 睿・平野 靖・木戸尚治(山口大)
31. 体格正規化手法と個別尤度マップを用いた3次元腹部CT像からの複数臓器抽出手法に関する検討 ○チョ成文・小田昌宏(名大)・北坂孝幸(愛知工大)・三澤一成(愛知県がんセンター)・藤原道隆・林 雄一郎(名大)・Robin Wolz・Daniel Rueckert (ICL)・森 健策(名大)
32. 3次元マルチスライスCT画像における胸部構造解析法 ○松廣幹雄・鈴木秀宣・河田佳樹・仁木 登・上野淳二(徳島大)・中野恭幸(滋賀医科大)・大松広伸(国立がんセンター東病院)・楠本昌彦・土田敬明(国立がん研究センター中央病院)・江口研二(帝京大)・金子昌弘(東京都予防医学協会)・森山紀之(国立がん研究センター)
33. 階層的臓器領域抽出法による腹部造影CT画像からの上部消化管領域自動抽出 ○平山俊太・岡田俊之・堀 雅敏・富山憲幸・佐藤嘉伸(阪大)
34. 階層的正規化に基づく患者固有統計アトラスを用いた造影CT画像からの疾患腎臓領域の自動抽出 ○福田紀生・中本将彦・岡田俊之(阪大)・浮村 理・Inderbir S. Gill(南カリフォルニア大)・富山憲幸・佐藤嘉伸(阪大)
- 25日午前 テーマセッション5 レジストレーション
1. 解剖学的ランドマークデータに基づく2次元臓器形状のレジストレーション ○森田景子・井宮 淳(千葉大)・酒井智弥(長崎大)・本谷秀堅(名工大)・増谷佳孝(東大)
2. 非剛体ICPにおける統計形状モデルの表現性能 ○矢口雄貴・松野高道・澤田好秀・本谷秀堅(名工大)
3. PDMの位置合わせにおけるエッジの連結性の考慮 ○恒川優人・澤田好秀・本谷秀堅(名工大)
4. 改良した正規化相互情報量によるマルチモダリティ画像の位置合わせ ○小林彩子・工藤博幸(筑波大)
- 一般セッション1 セグメンテーション・その他
5. 患者個人に特化した手術シミュレーションのための血管構造の抽出 ○進藤 典・健山智子・アミール フルーゼン・宮脇康介・段 桂芳(立命館大)・リュウ ジンウ(浙江大)・津田 匠・松井康輔・海堀昌樹・権 雅憲(関西医科大)・陳 延偉(立命館大)
6. 機械学習とグラフカットによる胸部CT像からの気管支抽出に関する検討 ○二村幸孝(名大)・北坂孝幸(愛知工大)・本間裕敏(札幌厚生病院)・高島博嗣(札幌南三条病院)・森 雅樹(札幌厚生病院)・名取 博(恵和会西岡病院)・森 健策(名大)
7. 皮下脂肪領域の除去によるCT画像の仮想展開と腹直筋領域の自動認識 ○神谷直希(豊田高専)・村松千左子・周 向栄・陳 華岳・原 武史・星 博昭・藤田広志(岐阜大)
8. デイリクレ分布を用いた大腸NBI内視鏡動画認識の安定化 ○平川 翼・玉木 徹・ライチュフ ビセル・金田和文・吉田成人・竹村嘉人・蔭地啓市・宮木理恵・田中信治(広島大)
- 写真学会特別講演
9. [特別講演] 画像診断を支援する類似症例検索システム「SYNAPSE Case Match」の開発 大沢 哲(富士フィルム)
- 25日午後 ポスターティーザー2(一般)(13:10~)
10. Online DICOM Collation, Segmentation and Sharing System: DICOLLATOR ○Dodzidenu Dzakuma・Takayuki Kitasaka・Yasuhito Suenaga (Aichi Inst. of Tech.)・Kensaku Mori・Yukitaka Nimura (Nagoya Univ.)
11. [ポスター講演] 逐次2値化頭部CTA画像を用いた血管追跡による血管芯線及び径の推定 ○菅井 駿・篠原寿広(近畿大)・中山雅人(立命館大)・中迫 昇(近畿大)
12. [ポスター講演] 腹部CT像を用いた肝臓比較造影支援システムの開発 ○吉田 翔・長谷川純一(中京大)・縄野 繁(国際医療福祉大)
13. [ポスター講演] 脳血管位置及び径情報を利用した脳血管ポリュームデータ操作の基礎的検討 ○白石卓人・篠原寿広・中迫 昇(近畿大)・中山雅人(立命館大)
14. [ポスター講演] 眼底画像における毛細血管瘤の自動検出法—ROC DBによる評価— ○畑中裕司・井上 剛・奥村 進(滋賀県立大)・村松千左子・藤田広志(岐阜大)
15. 振動誘発スイッチング傾斜磁場を利用したガントリ振動MR Elastographyによる生体脳計測 ○池田 啓(千葉大)・菅 幹生(千葉大/放医研)・小山敦久・島崎晋平(千葉大)・若山哲也(GEヘルスケア・ジャパン)・岸本理和・小島隆行(放医研)
16. MRI画像に基づくPET吸収補正法が脳機能の定量解析に及ぼす影響 ○川口拓之(放医研)・谷川明日香・菅 幹生(千葉大)・平野祥之・白石貴博・吉田英治・木村泰之・谷本克行・小島隆行・伊藤 浩・山谷泰賀(放医研)
17. 胸部CTにおけるすりガラス状結節陰影の自動検出に向けた肺野領域内画素の識別に関する初期的検討 ○根本充貴・増谷佳孝・花岡昇平・野村行弘・三木聡一郎・吉川健啓

- 林 直人・大友 邦 (東大)
18. 腹部複数スライス CT 画像における肝臓領域自動抽出に関する研究 ○古賀道雄・本田城二・鹿嶋雅之・佐藤公則・渡邊 睦 (鹿児島大)
19. 肝病理組織における索状構造解析のための形態的特徴の自動計測 ○石川雅浩・福井智也・村上百合・山口雅浩 (東工大)・阿部時也・橋口明典・坂元亨宇 (慶大)
20. パターン投影法による非接触三次元計測の高精度化と高速化に関する開発研究 ○倉本 圭・田中基史・鈴木春洋・小橋昌司・畑 豊 (兵庫県立大)
21. ナビゲーションシステムにおける音声認識を用いた直感的操作 ○平田正保・目加田慶人 (中京大)・森 健策 (名大)・道満恵介 (中京大)
22. 映像照合による腹腔鏡手術映像へのタグ付けに関する検討 ○佐藤健司・目加田慶人 (中京大)・森 健策 (名大)・三澤一成 (愛知県がんセンター)・道満恵介 (中京大)
23. MRI 情報を用いた脳血流 SPECT の部分容積効果補正法の改良と病変検出への応用 ○野村勇人・工藤博幸 (筑波大)
24. X 線 CT における近接スプリットングを用いた統計的画像再構成法 ○小林祐介・工藤博幸 (筑波大)
25. PET 画像動態データの雑音除去の性能に速度乗数に関する事前情報が与える影響 ○小澤孝弘・本谷秀堅 (名工大)・坂口和也 (北里大)・坂田宗之 (東京都老人総研)・木村裕一 (放医研)
26. モルフォロジー演算を用いた歯科パノラマ X 線写真上の頸動脈石灰化の自動検出法 ○澤頭 毅・原 武史 (岐阜大)・勝又明敏 (朝日大)・村松千左子・周 向榮 (岐阜大)・飯田幸弘・脇阪 孝・松岡正登 (朝日大)・藤田広志 (岐阜大)
27. 組織標本デジタル画像を用いた 3 次元可視化及びラビッドプロトタイピング ○岩田倫明・原口 亮・築谷朋典・巽 英介・植田初江 (国立循環器病研究センター)
- JAMIT フロンティア特別講演**
28. [特別講演] 新規な超音波イメージング技術の研究開発—京都大学-キャンノン協同研究プロジェクト (CK プロジェクト)の研究活動— ○浅尾恭史 (キヤン)・戸井雅和・椎名 毅 (京大)
- 一般セッション 2 その他**
29. 日常診療環境における医師の見落とし統計モデルの構築 ○野村行弘・増谷佳孝・根本充貴・花岡昇平・三木聡一郎・吉川健啓・林 直人・大友 邦 (東大)
30. 3D Non-rigid Medical Volume Registration using Landmark Based Initialization for Locoregional Therapy of Liver ○Chen-Lun Lin・Tomoko Tateyama (Ritsumeikan Univ.)・Ryosuke Inokuchi・Toshihito Seki (Kansai Medical Univ.)・Yen-Wei Chen (Ritsumeikan Univ.)
31. トータルバリエーション正則化のためのローアクション型画像再構成法 ○大森広崇・工藤博幸 (筑波大)
32. MICCAI2012 参加報告 ○平野 靖 (山口大)・中口俊哉 (千葉大)・花岡昇平・増谷佳孝 (東大)・清水昭伸 (東京農工大)・北坂孝幸 (愛知工大)・小田昌宏・森 健策 (名大)・澤田好秀・本谷秀堅 (名工大)・佐藤嘉伸 (阪大)・古川大介・中野雄太 (キヤン)
- ◆日本医用画像工学会; JAMIT フロンティア 2013, 医用画像情報学会, 日本写真学会共催 (メディカルイメージング連合フォーラムとして開催)
- ◎24 日研究会終了後に懇親会を企画しています。24 日の午前中

に先着 50 名で受付致します。定員になり次第締め切りますので、早目の受付をお願いします。

#### 【問合先】

医用画像研究会世話人

E-mail: mi-submit@mail.ieice.org

上記で連絡がつかないとき

北坂孝幸 (愛知工大情報科学部)

TEL [0565] 48-8121 (内線 2423), FAX [0565] 48-0509

E-mail: kitasaka@aitech.ac.jp

### ★ME とバイオサイバネティクス研究会 (MBE)

専門委員長 小池康晴 副委員長 中尾光之

幹事 井澤 淳・渡邊高志 幹事補佐 吉村奈津江・中村和浩

日時 1 月 25 日 (金) 13:00~17:55

26 日 (土) 9:30~16:25

会場 九州工業大学情報工学部飯塚キャンパス共通教育研究棟 1 階 AV 講演室 (飯塚市川津 680-4. 福岡天神/福岡空港/小倉駅から西鉄飯塚バスセンターで下車。飯塚バスセンターから新飯塚駅を経由し、「九工大前」下車。http://www.iizuka.kyutech.ac.jp/public/access/ TEL [0948] 29-7723 井上勝裕)

議題 ME, 一般

25 日

MBE-1. 視覚誘発電位頭皮上分布推定のための数式モデルを用いた成分分離 ○後藤和彦・杉 剛直・松田吉隆・後藤 聡 (佐賀大)・福田裕樹 (柳川リハビリテーション学院)・後藤純信 (国際医療福祉大)・山崎貴男・飛松省三 (九大)

MBE-2. ワーキングメモリ課題の訓練効果と課題遂行中の脳波の関連性に関する基礎的研究 ○碓山和弥・村山伸樹・伊賀崎伴彦 (熊本大)

MBE-3. 指電気刺激法によるブレイン・コンピュータ・インタフェースの開発—刺激呈示法の検討— ○宮内翔平・村山伸樹・伊賀崎伴彦 (熊本大)

MBE-4. 連続運動イメージを用いた 2 方向制御 BCI の開発 ○秋吉洋行・伊賀崎伴彦・村山伸樹 (熊本大)

MBE-5. 図形注視・想像時の脳波パターン識別 ○木下晃一・前田 誠・井上勝裕 (九工大)

MBE-6. 独立成分分析を用いた急速眼球運動時の睡眠脳波解析 ○山下真司・前田 誠・井上勝裕 (九工大)

MBE-7. BCI システムにおける独立成分分析を用いた重心推定 ○畑瀬 悟・岩崎宣生・井上勝裕 (九工大)

MBE-8. Bayesian Network を利用した運動関連電位によるジャンケン動作予測 ○杉本翔平・山崎敏正 (九工大)

MBE-9. Eye Glance 入力インタフェースの検討 ○高 トククン・板倉直明・水戸和幸・水野統太 (電通大)

MBE-10. 高速度カメラを用いた単音認識に関する検討 ○李 響・齊藤剛史 (九工大)

MBE-11. Kinect を利用した指文字認識に関する検討 ○井上 快・齊藤剛史 (九工大)

26 日午前

MBE-1. 複数電流パターンを使った腹部電気伝導度のトモグラフィ ○山口 亨 (東京電機大)・片嶋弘弘 (花王)・王 力群・栗城真也 (東京電機大)

MBE-2. 筋電義手のための動作判別時における表面筋電信号の Petal 構造に基づく外れ値評価 ○阿比留卓也・佐藤弘明・

小田昌史・永井秀利・江島俊朗（九工大）・

木村伸行（アクティブステイ）・木原由光（ロボフューチャー）

MBE-3. 圧電センサによる心拍信号・呼吸信号の抽出に関する基礎的研究 ○吉川和磨・伊賀崎伴彦・村山伸樹（熊本大）

MBE-4. 匂いクラスタセンシングフィルムの開発

○孫 瀟・今橋理宏・陳 斌・劉 伝軍・林 健司（九大）

MBE-5. 蛍光性 His-TRPV1 による匂いの検知

○古澤雄大・平田真吾・中野幸二・小野寺 武・劉 傳軍・林 健司（九大）

MBE-6. 磁性ナノ粒子導入アストロサイトをを用いた培養神経回路網活動の調節 ○中島佑太郎・齋藤淳史・榛葉健太・

高山祐三・小谷 潔・神保泰彦（東大）

26 日午後（13：20～）

7. 大画面没入環境でのバーチャル酔いにおける眼精疲労に関する研究 濱本和彦（東海大）

8. 流路形状による誘電泳動力の向上と微小流路型セルソーターの高速化 ○鈴木誠一・長谷川世納・高橋 勉・伊藤恵美子（成蹊大）

9. 周波数領域干渉計法による高分解能超音波イメージングにおける適応型周波数平均法の有効性 ○瀧 宏文・山川 誠・椎名 毅・佐藤 亨（京大）

10. 全頭型 MEG 用コイルアレイ配置を磁気刺激用途に用いた場合の誘導場に関する検討 濱田昌司（京大）

11. 第一次運動野における反復経頭蓋磁気刺激の刺激効果の予測 ○野嶋和久・片山喜規・伊良皆啓治（九大）

12. An investigation into the relationship between physiological signals and attention level ○Ding Zining・Keiji Iramina（九大）

13. Estimation of sleeping stage of newborn infant using EEG and ECG ○劉 イ直・生野貴洋・片山喜規・伊良皆啓治（九大）

◆電気学会；医用・生体工学研究会連催。日本生体医工学会；ME とバイオサイバネティクス研究会，九州工業大学共催

☆MBE 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

3 月 13 日（水）～15 日（金） 玉川大 [1 月 15 日（火）] テーマ：ME，一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】 吉村奈津江（東工大）  
〒226-8503 横浜市緑区長津田町 4259-J3-10  
TEL [045] 924-5054, FAX [045] 924-5085  
E-mail : yoshimura@cns.pi.titech.ac.jp

## ★回路とシステム研究会 (CAS)

専門委員長 中野敬介 副委員長 山路隆文

幹事 前田義信・三友敏也 幹事補佐 高藤大介・宮北和之

日時 1 月 28 日（月） 9：00～17：30

29 日（火） 9：00～17：45

会場 別府国際コンベンションセンター小会議室 32（別府市山の手町 12-1. JR 別府駅から徒歩 15 分。別府駅西口 3 番バス乗り場より，行先番号③（扇山団地行き），または行先番号⑧（スギノイバレス行き）で約 5 分（160 円）。<http://www.b-conplaza.jp/access/index.htm> TEL [097] 554-7799 高坂拓司（大分大）

告 40

## 議題

28 日午前 CAS1

1. Baxter Permutation の列挙 ○清水創介・高橋俊彦（新潟大）

2. M 系列とカオス理論に基づいた負相関スペクトル拡散符号の性能評価 ○徳永昌平・常田明夫（熊本大）

3. 二次元ランダムマルチホップ無線網における経路存続時間と切断時間の近似解析 ○宮北和之・中野敬介（新潟大）

4. 社会ネットワークを導入した通貨交換モデルによる地域通貨創発の再現 ○伊藤 尚（富山高専）・谷 賢太郎・前田義信（新潟大）

学生セッション 1

5. 伝送線路端部の電圧を測定して線路上の電圧分布を求める一方法 ○伊達龍吾・関根敏和・高橋康宏（岐阜大）

6. 可視光通信を用いた屋内案内装置—蛍光灯と LED への対応— ○西片宏一（新潟大）・若月大輔・小林 真（筑波技大）・西森健太郎・牧野秀夫（新潟大）

7. PSO による CSD 係数 FIR フィルタ設計のための局所解停留回避の一提案 ○齋藤一幾・陶山健仁（東京電機大）

8. ゼブラマッピングを利用した 2 次元一斉射撃アルゴリズムの実装 ○東 正悟・野村 輝・梅尾博司（阪電通大）

28 日午後 学生セッション 2（13：30～）

9. On Orthogonal Ray Trees ○Kousuke Nishikawa・Satoshi Tayu・Shuichi Ueno（Tokyo Inst. of Tech.）

10. 格子グラフ上の二重入れ子状矩形境界間を接続する互いに点素なパスについて ○花田英人・高藤大介・田岡智志・渡邊敏正（広島大）

11. ネットワークのトラフィックパスに基づく信頼性計算における要素分解順序の改良について ○野口 威・田岡智志・渡邊敏正（広島大）

12. 無線通信におけるチャネル割当に応用される辺彩色の評価 ○芦田雄祐・田村 裕（中大）・篠田庄司（早大）

13. アドホックネットワークにおけるネットワークコーディングの適用を考慮したルーティングプロトコル ○名達明裕・田村 裕（中大）・篠田庄司（早大）

フェロー記念特別講演 1

14. [フェロー記念講演] スマートな社会を支えるアナログ回路を目指して 板倉哲朗（東芝）

フェロー記念特別講演 2

15. [フェロー記念講演] 回路雑感—回路理論のいくつかの概念についての初等的考察— 井上高宏

29 日午前 CAS2

1. 近似的陰解法に基づく有損失電源分配回路網の高速過渡解析 ○中島悠貴・関根惟敏・浅井秀樹（静岡大）

2. CIP 法に基づく微細構造を含む電磁界解析に関する一考察 ○関口雄太・関根惟敏・浅井秀樹（静岡大）

3. CIP 法による伝送線路の時間領域解析の検討 ○石田一恭・関根敏和・高橋康宏（岐阜大）

4. タイムインタリーブ型 A/D 変換器の高速オールデジタル補正 ○野崎 剛（富士通マイクロソリューションズ）・吉岡正人（富士通研）・薛 宗陽（富士通マイクロソリューションズ）

5. 疑似デルタシグマ変調単インダクタ 2 出力 SIDO 降圧形スイッチング電源 ○小堀康功（小山高専）・李 慕容・呉 シュ・趙 峰・シャイフル ニザム モハイヤ（群馬大）

小田口貴宏・中西 功（AKM ㈱）・根本謙治（AKM）

松田順一（旭化成㈱）・高井伸和・小林春夫（群馬大）

招待講演

6. [招待講演] MPSoC のレイアウト評価と階層レイアウト手法  
中村祐一 (NEC)

29 日午後 CAS3 (13:30~)

7. 接地点検出装置を備えるステアリング型倒立二輪ロボットの試作  
○市村智康 (小山高専)・古口英己 (NTT ファシリテーズ中央)

8. 長期間にわたる心拍変動計測データを用いた個人適合型気分状態評価の試み  
○吉野公三・松岡克典 (産総研)

9. スパイクパターンに基づいたフィードフォワード・ニューラルネットワーク内の神経活動伝達に関する考察

○浅井義之 (沖繩科技大)・Alessandro Villa (UNIL)

#### 学生セッション 3

10. Gold 系列とカオス理論に基づいた負相関スペクトル拡散符号の性能評価—AWGN 環境下での非同期 DS/CDMA 通信の BER 特性—  
○阿部怜史・常田明夫 (熊本大)

11. 負相関スペクトル拡散符号を用いた SIK 方式非同期光 CDMA 通信の BER 特性  
○荒木誠司・常田明夫 (熊本大)

12. オンオフキミング CDMA と TDOA に基づいた屋内測位システムの性能評価  
○河野悠樹・常田明夫 (熊本大)

13. プリント基板の電気検査におけるプローブピン位置補正の遺伝的アルゴリズムを用いた最適化  
○森澤雅志・片桐英樹 (広島大)・羽森 寛 (オ・エィ・ティ)・加藤浩介 (広島工大)

#### 学生セッション 4

14. SAT ソルバーを用いたロボットの行動計画  
○鈴木拓也・田向 権・関根優年 (東京農工大)

15. 音声認識システムにおける音素前処理回路  
○岡本佳太・田向 権・関根優年 (東京農工大)

16. 音声インタフェースを用いた娯楽ゲームの開発  
○金 麗・村山尚紀・谷 賢太郎・前田義信 (新潟大)

17. 人工学級ゲームを用いた交友関係形成の行動分析  
○龍田篤弥・谷 賢太郎・前田義信 (新潟大)・加藤浩介 (広島工大)

◆フェロー記念特別講演は IEEE CAS JC 共催

☆CAS 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

3月14日(木), 15日(金) 慶大鶴岡キャンパス [1月13日(日)] テーマ: ネットワークプロセッサ, 通信のための信号処理, 無線 LAN/PAN, 一般

**[発表申込先]** 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikom.html>

#### **[問合せ先]**

宮北和之 (新潟大)

TEL [025] 262-7581

E-mail : miyakita@cais.niigata-u.ac.jp

○回路とシステム研究専門委員会では, 研究会の振興を目的として「回路とシステム研究会学生優秀発表賞」を制定しました。優秀な学生発表は, 3月の総合大会にて表彰致しますので, 奮って申し込み・投稿をお待ちしております。受賞資格は回路とシステム研究会で御自身で発表され, かつ予稿にて第一著者の IEICE 学生会員 (申し込み中でも可) の方です。詳しくは幹事までお問い合わせ下さい。

## ◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

### ●光応用電磁界計測 (PEM) 時限研究専門委員会第 2 回研究会

委員長 陳 強 (東北大)

本時限研究専門委員会は, 急速に進化・変貌を遂げつつある電磁界環境を正確に評価・計測するために, 電磁界と光・物質との多彩な応答を利用した, 新しい電磁界計測技術を追求することを目標としています。計測対象とする電磁界は, アンテナや高周波回路だけでなく, プラズマ電磁界, 宇宙到来電磁波など, 人工及び自然発生電磁界全般を含みます。

第 2 回の PEM 研究会を, 「光応用電磁界計測と環境電磁工学」というテーマで下記のとおり開催します。多数の御参加をお待ちしております。

日時 平成 25 年 1 月 11 日 (金) 9:00~11:55

会場 長崎大学文教キャンパス工学部サイエンス&テクノラボ 2F セミナー室 2 (長崎市文教町 1-14)

テーマ 光応用電磁界計測と環境電磁工学

1. [特別講演] 光電界センサを利用したイメージングレーダ

佐藤源之 (東北大)

2. 標準電界強度の生成手法と不確かさ 森岡健浩 (産総研)

3. 光給電バイコンカルアンテナを用いた 1 GHz 超放射妨害波測定の試験所間比較 鉛谷充隆 (産総研)

4. 超短パルスレーザー生成プラズマを用いた大気中における電場の遠隔計測技術 藤井 隆 (電中研)

5. LD 実装電界プローブを用いた TDS 計測 染野 薫 (PTT)

参加費 (資料代金込み): 2,000 円

◎1 月 10 日 (木) 10:00~17:00, 1 月 11 日 (金) 12:55~17:15 には, 同じ会場で環境電磁工学研究会 (EMCJ) が開催されます。併せて御参加下さい。

#### **[申込・問合せ先]**

村田博司 (阪大大学院基礎工学研究科)

TEL [06] 6850-6306

E-mail : murata@ee.es.osaka-u.ac.jp

都甲浩芳 (NTT マイクロシステムインテグレーション研究所)

TEL [046] 240-2070

E-mail : togo.hiroyoshi@lab.ntt.co.jp

主催 光応用電磁界計測時限研究専門委員会

### ●テラヘルツ応用システム研究会

委員長 久々津直哉 (NTT) 副委員長 伊藤 弘 (北里大)

日時 平成 25 年 1 月 17 日 (木) 10:00~17:00

会場 NTT 武蔵野研究開発センタ (武蔵野市緑町 3-9-11)

<http://www.ntt.co.jp/inlab/access/index.html>

#### 概要

テラヘルツ帯電磁波領域は光と電波の狭間にあって, 発生・検出が容易でなかったため, あまり利用されてきませんでした。近年のフェムト秒レーザー技術の進歩やエレクトロニクス素子の高周波化に伴い, 未利用周波数帯であるテラヘルツ帯を積極的に利用しようとするテラヘルツ波応用技術分野の研究が内外で活発になってきています。当該技術分野を開拓するための発表・討論の場として, 以下のとおり研究会を開催致します。研究会では, 発

表・討論のほか、機器展示、NTT 技術史料館 (<http://www.htc.ecl.ntt.co.jp/>) の見学ツアーを予定しております。関係者多数の御参加をお待ちしております。

スケジュール予定

- 10:00~12:30 招待講演&一般講演
- 12:30~14:00 展示見学
- 14:00~15:15 一般講演
- 15:15~17:00 NTT 技術史料館見学 or 展示見学

#### 【参加申込】

参加費（資料代含む） 一般：5,000 円，学生：無料  
参加申込：下記研究会 Web ページを参照下さい。

#### 【申込・問合先】

矢板 信 (NTT)

E-mail : [yaita.makoto@lab.ntt.co.jp](mailto:yaita.makoto@lab.ntt.co.jp)

◎最新情報を研究会 Web ページに掲載致しますので、御参照下さい。  
<http://www.ieice.org/es/thz/>

主催 テラヘルツ応用システム時限研究専門委員会

### ●平成 24 年度第 3 回医療情報通信技術研究会

委員長 井家上哲史 (明大)

期日 平成 25 年 1 月 18 日 (金)

会場 首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス ([http://www.tmu.ac.jp/university/campus\\_guide/access.html#mapakihabara](http://www.tmu.ac.jp/university/campus_guide/access.html#mapakihabara))

テーマ 医療情報通信技術一般

参加費 一般 4,000 円 (講演資料代を含む)

学生 無料 (講演資料代は別途 2,000 円)

プログラム <http://www.ieice.org/mict/> に掲載されます。

参加方法 事前参加登録は不要です。御参加を希望される方は、当日、会場受付にお越し下さい。

#### 【問合先】 幹事

金 ミンソク (東工大)

E-mail : [mict-sec@mail.ieice.org](mailto:mict-sec@mail.ieice.org)

主催 医療情報通信技術時限研究専門委員会

共催 医用生体電磁気学研究会

### ●次世代ナノ技術研究会

委員長 小森和弘 (産総研)

副委員長 高原淳一 (阪大) 天野 建 (産総研)

日時 平成 25 年 1 月 29 日 (火) 13:00~17:00

会場 電気通信大学東 3 号館 306 (<http://www.uec.ac.jp/about/profile/access/>)

テーマ 次世代プロセス技術によるナノ構造の形成と応用

プログラム

1. ナノ科学とナノ技術の最近の動向  
目黒多加志 (東京理科大)
2. 低温接合とエレクトロニクス実装技術 水野 潤 (早大)
3. ナノインプリントモールドとナノピラー細胞培養  
山本治朗 (日立)
4. エピタキシャルグラフェンナノ構造と電子物性相関  
田中 悟 (九大)
5. Directed Self-Assembly によるシングルナノパターンニング  
吉田博史 (日立)
6. 半導体量子ドットにおける多重励起子生成と太陽電池への応

用 沈 青 (電通大)  
参加費 4,000 円 (学生聴講は無料です。)

◎最新情報は Web ページ (<http://www.ieice.org/~nnn/>) を御覧下さい。研究会終了後に交流会 (会費 2,000 円程度) を予定しております。

#### 【問合先】

一色秀夫 (電通大大学院情報理工学研究所)

E-mail : [hisshiki@ee.uec.ac.jp](mailto:hisshiki@ee.uec.ac.jp)

主催 次世代ナノ技術に関する時限研究専門委員会

## ◇ ◇ 第二種研究会発表募集案内 ◇ ◇

### ●第 23 回サイバーワールド (CW) 研究会

期日 平成 25 年 3 月 8 日 (金) / 11 日 (月)

会場 神奈川工科大学

テーマ ソーシャルメディアと生活空間

サイバーワールド (CW) 二種研究会では、下記のとおり第 23 回目の研究会を開催します。皆様の多数の御参加と活発な意見交換をお待ちしております。

Twitter や Facebook など、ソーシャルメディアと呼ばれるサービスが急速にユーザ数を伸ばしている。それらのサービスには日々の何気ない日常が投稿されている一方、東日本大震災やジャスミン革命で示されたように、人々の行動に良くも悪くも大きなインパクトを与えるほどの力が備わっている。このことは、よりミクロな、つまり、地域に目を向けても同じことが言えるであろうし、ソーシャルゲームの急成長もソーシャルメディアがわたしたちの生活に浸透してきたことを意味している。一方、携帯電話、スマートフォン、デジカメ、携帯ゲーム機など、GPS 機能を搭載する機器の増加により、位置情報の利活用が重要性を高めている。わたしたちの生活空間を位置情報と切り離すことは難しく、位置情報を投稿可能なソーシャルメディアも存在する。

そこで第 23 回サイバーワールド研究会では、「ソーシャルメディアと生活空間」と題し、ソーシャルメディアの適応を改めて議論したい。ソーシャルメディアを中心に、地域、文化・教育、歴史、被災地再生、福祉、医療、セキュリティ、位置情報、プライバシー、ブランディングなど、様々な角度から議論を展開したい。

ソーシャルメディアに関連する様々な研究発表を行い、学際的に議論を発展させる場として頂ければ幸いです。年度末ということもあり、学生の方々が研究成果を発表し議論する場としても活用して頂ければ幸いです。

#### 【発表申込方法】

電子情報通信学会の研究会発表申込システムを利用しております。以下の URL を御覧になり、申込をお願い致します。<http://www.ieice.org/ken/program/index.php?tgid=CW> 「講演の分類」は「一般講演 (テーマ 1)」を選択して下さい。

発表申込締切日 1 月 25 日 (金)

原稿締切日 2 月 4 日 (月)

提出原稿のフォーマットは「電子情報通信学会技術研究報告執筆要項」に準じます。詳しくは以下の URL を御覧下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/toukou/kenkyukai.html#2>

原稿提出枚数は 4 または 6 ページとします。期日までに「PDF 形式の原稿のみ」を研究会幹事の石川 (ao-ishikawa@

kddilabs.jp), 河野 (ykawano@rsch.tuis.ac.jp), 宛てに E-mail にてお送り下さい。

#### 【第 23 回研究会問合先】

服部 哲 (神奈川工科大情報学部)

E-mail : ahattori@ic.kanagawa-it.ac.jp

#### 【問合先】 幹事

石川彰夫 (KDDI 研)

E-mail : ao-ishikawa@kddilabs.jp

河野義広 (東京情報大)

E-mail : ykawano@rsch.tuis.ac.jp

主催 サイバーワールド時限研究専門委員会

<http://www.ieice.org/~cw/jpn/index.html>

### ●第 50 回機能集積情報システム研究会

委員長 肥川宏臣 (関西大)

本研究会は、ディベンダブルコンピューティング研究専門委員会の下での第二種研究会として開催します。本研究会は、平成 3 年に設置された「ウェーハスケール集積システム時限研究専門委員会」以降、複数の時限研究専門委員会の下での研究会を経て現在の研究会に引き継がれました。

近年の LSI 製造技術の進歩により、大規模かつ斬新な情報処理機能をシリコンウェーハあるいは大規模 IC チップ上に集積・実装する情報システム FIIS (Functional Integrated Information System) の構築技術が注目されています。そこで、本研究会では次に示す幅広い研究分野を対象としています。

まず、IC チップ製造段階では、チップの歩留まり解析、歩留

まり向上設計法、レイアウト解析、フォールトトレラント手法などが挙げられます。また、IC チップ上の情報システム構築 (SOC: System On Chip) 技術としては、IC 内部の欠陥検出法 (テスト手法や BIST: Build In Self Test) や誤り訂正・回復技術、故障を許容する高並列プロセッサや相互結合網の再構成方式、耐故障再構成可能情報システムの構築技術、動的再構成可能情報システムの構築技術、低消費電力技術などが挙げられます。更には、故障モデルの解析、信頼度解析、性能評価などの理論的解析手法も挙げられます。

本機能集積情報システム (FIIS) 研究会は、上述したような技術を、応用分野の枠を超えた高性能・高信頼性・低消費電力のマイクロ情報システム実現のための強固な枠組みであると捉えています。本研究会では上記内容を中心としていますが、それらにとらわれず、各種応用研究を含めた広い研究分野からの研究発表を歓迎致します。

今回の第 50 回機能集積情報システム研究会を下記要領で一般発表を募集致しますので、多数の申し込みをお待ちしております。

期日 平成 25 年 3 月 15 日 (金)

会場 宮崎大学木花キャンパス (宮崎市学園木花台西 1-1)

一般申込締切 1 月 15 日 (火)

発表を希望される方は、論文題目、著者、所属、連絡先を下記幹事までお知らせ下さい。

#### 【申込・問合先】

金子晴彦 (東工大大学院情報理工学研究所)

E-mail : hkaneko@fuji.cs.titech.ac.jp

主催 ディベンダブルコンピューティング研究専門委員会

## 本会発行図書案内

言葉に代わる新しいコミュニケーション手段

# ブレインコミュニケーション

## ——脳と社会の通信手段——

相良和彦・田中靖人・竹市博臣・山下宙人・  
長谷川良平・岡部達哉・前田太郎 共著  
A5 判上製 定価 4,200 円(税込)

情報通信技術の進展により、あらゆる情報を即時に入手することが可能となり、人間にとってストレスの少ないコミュニケーション手段を実現することが重要となっている。一方、脳機能計測技術の進展に伴い、生体信号を利用して機械を操作したり、感覚データを伝達して人間の行動を制御したりすることも可能となっている。本書では、このような時代背景を踏まえ、ブレインコミュニケーションに関する技術全般を体系的に解説している。具体的には、基礎編で、脳波や MRI などの計測技術、実験計画法、統計解析手法について述べ、応用編で、意思伝達技術、ロボット操作技術、感覚情報利用技術などについて詳しく記述している。これから脳計測技術と情報通信技術をつなげた新しい分野の研究を目指す大学生や大学院生、また現役の研究者にとって格好の図書である。

《内容目次》神経活動の計測技術／心理実験技術／統計解析技術／意思決定の脳内機構と認知型 BMI への応用／運動出力型ブレイン・マシンインタフェース技術／身体情報応用技術

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館内 振替口座 00120-0-35300

TEL [03] 3433-6691(代) FAX [03] 3433-6659 E-mail : kaiin@ieice.org

正員、学生員等の個人会員の方の注文を承ります。2 割引・送本費 500 円 上記番号で御注文下さい。

一般社団法人 **電子情報通信学会**

通信ソサイエティ 会長 田中良明

ユビキタス・センサネットワーク研究専門委員会 (USN) とアドホックネットワーク研究専門委員会 (AN) が統合し、知的環境とセンサネットワーク研究専門委員会 (ASN) が発足することになりました。また、短距離無線通信時限研究専門委員会 (SRW) が常設研究専門委員会になり、更に、モバイルマルチメディア通信研究専門委員会 (MoMuC) がモバイルネットワークとアプリケーション研究専門委員会 (MoNA) へと名称変更することになりました。進歩発展が速い情報通信分野において、先端的、学際的分野の議論の場をいち早く提供し、会員の皆様の研究のお役に立ちたいと考えています。

——研究専門委員会新設——

●知的環境とセンサネットワーク研究専門委員会

委員長 大槻知明

実空間に存在する人やモノ、あるいは空間それ自体の状態をセンシングする機器同士のネットワークはセンサネットワークと呼ばれ、世界中で活発な研究が進められています。また、センサネットワークから得られたデータを処理・解析して、その人の活動を拡張・強化あるいは補完・補助する機能を知的環境 (Ambient Intelligence) と呼びます。これらセンサネットワークと知的環境を活用した情報通信システムは、従来にはない利便性の提供や抜本的なコスト削減が期待できるため、スマートグリッドによる電力の有効利用、効率的な交通システム、市民に優しい街環境の実現などが注目されています。今後、情報通信技術を他の産業と融合させ、社会基盤として発展させていくためには、上記センサネットワークと知的環境技術を高めることはもちろん、他の産業との複合領域の研究を推進することが重要です。このために、2007年4月に同時に設置されたアドホックネットワーク研究専門委員会 (AN 研専) とユビキタス・センサネットワーク研究専門委員会 (USN 研専) を統合し、知的環境とセンサネットワーク研究専門委員会 (Ambient intelligence and Sensor Networks: ASN) を新たに設立することとしました。

会員の皆様の積極的な御参加と交流をお願いする次第です。特に、他の産業との複合領域の研究を推進し、社会基盤の構築・実用化を目指す上で、M2M、農業漁業、建築、発電電等の諸産業分野や、地域支援・防災支援・災害時支援等の諸分野で実用化を進めている企業・研究機関・自治体等の方々の御参加をお待ちしております。研究会は、5月、7月、11月、1月に開催致します。

なお本研究専門委員会で取り扱う主要分野は以下のとおりです。

1. ユビキタスセンシング・アクチュエーション技術
2. アドホック・メッシュ・センサネットワーク
3. アンビエントインテリジェンス
4. システム基盤
5. システム応用

英文名称 Ambient intelligence and Sensor Networks (略称 ASN)

【問合先・連絡先】

幹事 山本高至 (京大)、猿渡俊介 (静岡大)

E-mail: asn-sec@mail.ieice.org

◎最新情報は、下記 URL を御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~asn/>

●短距離無線通信研究専門委員会

近年、積極的に導入されつつあるワイヤレス LAN (WLAN) の性能拡大及びワイヤレス PAN (WPAN) の研究が国際的に盛んになりつつあります。前者は 100 m 程度、後者は 10 m 程度をサービスエリアとして通常 10 dBm 程度の小電力で、前者はサブ 1 Gbit/s、後者は数 Gbit/s の高速・超高速伝送を当面のゴールとしています。これらの分野では日本が PHY, MAC いずれの分野でも世界をリードしているとは言い難く、ビジネスとしても米国・台湾系のメーカーがマーケットをリードしています。更に、最近の傾向としては、米国のアナログ TV のデジタル化による空きバンド (TV White Space) にもこれら WLAN 技術を積極的に使用していく傾向が強くと見られます。一方米国発案のスマートグリッドは電波免許不要帯で小電力 (一般には最大 10 dBm 程度) の安価な無線通信方式が求められています。これらの特徴をまとめると以下のようになります。

通信距離: 主として 10~100 m, 場合により数百 m, 送信電力: 一般に最大 10 dBm

無線周波数: 900 MHz, 2.4, 5, 60 GHz 帯等の免許不要バンド

電波伝搬: 見通し (LOS), 非見通し (NLOS)

通信環境: 屋内及び屋外

アンテナ: 無指向性, 指向性及び MIMO

PHY: シングルキャリア, OFDM

MAC: CSMA/CA, 及び TDMA をアクセス方式とする制御方式

Layer 3-4: TCP/IP

これから分かるように、上記 WLAN, WPAN を中心とする短距離無線通信は“端末一端間通信の携帯電話通信”とは主として、通信モード (端末一端間通信の直接通信あり)、免許不要バンド、通信環境 (屋内中心)、電波伝搬 (LOS を含む)、小送信電力 (一般に最大 10 dBm) 等の点で異なり、特にこれらネットワークを制御する MAC は携帯電話網のそれとは全く異なり、日本にはその技術はないといっても過言ではありません。

一方、世界的には IEEE での標準化 (IEEE802.11, 15, 19, 22) を中心に無線通信の研究中心が大きく WLAN, WPAN にシフトしており、前述のように TV White Space にもこれら技術の適用が検討されています。

日本は携帯電話技術の領域では世界をリードしていますが、これら短距離無線通信の領域では研究開発・ビジネス、いずれの領域でも世界をリードしているとは言い難く、日本無線通信の将来のためにもこれらの分野への国を挙げての取組みが必要です。

これらの外部状況から、本研究会は、この WLAN, WPAN を中心とした短距離無線通信の分野で活躍中・これから活躍が期待される幅広い分野の研究者が集い、基礎的研究から、製品開発・応用、国際標準化までを見据えた日本における短距離無線通信研究開発・ビジネス活性化の底上げを目的とします。

また、日本若手研究者の弱点とされているシステムが分かる技術者を育てるために、自由闊達に議論できる場を提供し、“自身が専門とする狭い領域”だけではなく、短距離無線通信全体が分かるような一貫した研究分野設定とします。

更に、当委員会は海外研究機関とのジョイントワークショップ等も開催し、研究者のグローバル化、国際標準化への貢献も合わせて検討できる委員会とします。

なお、本研究専門委員会で取り扱う主要分野は以下のとおりです。

1. 短距離無線通信用伝搬・アンテナ
  2. 短距離無線通信用物理層・RF
  3. 短距離無線通信用 MAC
  4. 短距離無線通信用実装技術
  5. 短距離無線通信の利用形態・応用 (Usage model)
  6. ネットワーク・セキュリティ
- 英文名称：Short Range Wireless communications (略称 SRW)

**【問合せ・連絡先】**

委員長 加藤修三 (東北大)

TEL [022] 217-5506, FAX [022] 217-5476

E-mail : shukato@riec.tohoku.ac.jp

副委員長 加藤正文 (富士通研)

TEL [044] 874-2459, FAX [044] 754-2646

E-mail : katou.masafumi@jp.fujitsu.com

副委員長 原田博司 (NICT)

TEL [046] 847-5074, FAX [046] 847-5440

E-mail : harada@nict.go.jp

幹事 田野 哲 (岡山大)

TEL [086] 251-8126, FAX [086] 251-8255

E-mail : denno@trans.cne.okayama-u.ac.jp

幹事 溝口匡人 (NTT)

TEL [046] 859-3758, FAX [046] 859-3351

E-mail : mizoguchi.masato@lab.ntt.co.jp

幹事補佐 沢田浩和 (東北大)

TEL [022] 217-6112, FAX [022] 217-5476

E-mail : sawahiro@riec.tohoku.ac.jp

幹事補佐 Lan Zhou (NICT)

TEL [046] 847-5097, FAX [046] 847-5110

E-mail : lan@nict.go.jp

——モバイルマルチメディア通信研究専門委員会

(MoMuC) 名称変更について——

●モバイルネットワークとアプリケーション研究専門委員会 (MoNA)

委員長 横田英俊

モバイルマルチメディア通信研究専門委員会 (MoMuC) は 2001 年に常設の研究専門委員会として設立され、モバイルマルチメディア通信全般を対象に活動を行ってまいりました。設立から 11 年目を迎え、インターネットや高機能なスマートフォンの急速な普及によりモバイル通信環境も大きく変貌を遂げ、同分野の研究対象も無線通信等の基礎分野からモバイルアプリケーションを指向したものが増えてきております。一方、音声や映像などの複合メディアを意味する「マルチメディア」という技術は既に当然のものとして捉えられ、キーワードとして利用されることが少なくなってきました。このような状況の中で、モバイルアプリケーションに関する研究に従事している研究者の成果発表や技術交流の場として、当研専がその機会を逸することがないように、直接訴求するキーワードを積極的に打ち出していく必要があるとの認識が高まってまいりました。そこでこのたび、モバイルに関連するネットワーク及びアプリケーションの境界領域に係る研究者が闊達な議論をする場として、これらのキーワードを含む「モバイルネットワークとアプリケーション研究会」に名称変更することになりました。当研究会がモバイルアプリケーションやサービスについても活動対象としていることを明示的に示すことにより、これまで以上に研究会参加や論文投稿が促進され、通信ソサイエティ全体の更なる活性化に貢献できるものと考えております。今後とも、会員皆様の御支援・御協力をお願い申し上げます。新研究専門委員会名称：モバイルネットワークとアプリケーション研究専門委員会

新研究会名称：モバイルネットワークとアプリケーション研究会

英文名称：Mobile Network and Applications

新略記号：MoNA

変更時期：2013 年 4 月

——各種証明, 閲覧の手数料について——

電子情報通信学会では、各種の証明, 閲覧について、下記のとおり料金を頂きますので御了承下さい。

なお、突然来局された場合すぐに対応できない場合がありますので、必ず前もって御連絡下さるようお願い致します。

TEL [03] 3433-6691 ※は、TEL [03] 3433-6692

種 類	内 容	料 金 (税 込)	備 考
証明手数料	特許証明	会 員 200 円/件 非会員 500 円/件	
	在会証明書	無 料	
閲覧手数料	会誌・論文誌※ 技術研究報告 各種大会論文集 その他本会出版物	会 員 無 料 非会員 300 円/冊 コピー 10 円/枚	料金は 1 冊 (綴) ごととします。

(注) 会員からの依頼で非会員が代行される場合は、非会員の料金となります。

● ..... 2013年総合大会開催案内 ..... ●

本総合大会は、4 ソサイエティ、1 グループが合同で開催する大会です。奮って参加されますようお願い致します。会員以外の方の御参加も歓迎致します。

期 日 2013年3月19日(火)~22日(金)  
 会 場 岐阜大学(岐阜市)  
 (会場構内は駐車禁止ですので公共機関を御利用下さい)  
 交 通 JR岐阜駅(北口)バスロータリー9番のりばから岐阜大学・病院線(バス系統C70)または、岐南町線(バス系統N45)に乗車の上、「岐阜大学」下車、徒歩約1分。(所要時間約35分, 310円)

2013年総合大会ホームページ  
[http://www.toyoag.co.jp/ieice/G\\_top/g\\_top.html](http://www.toyoag.co.jp/ieice/G_top/g_top.html)

主なイベント内容：上記ホームページにて(1月28日)公開予定です。

◎聴講参加・冊子講演論文集予約申込みについては、上記からWeb登録をお願い致します。(1月10日公開)

※ソサイエティ大会に引続き団体・機関の図書館等の法人向けに継続購入の申込募集を行います。法人には法人用DVDを大会終了後、2週間後に御送付致します。

<予約申込期限>

2月20日(水)締切厳守(電話による予約は不可)  
 事前予約されますと、予約物を3月5日~3月7日までに請求書を同封して発送致します。  
 また、3月11日(月)までに予約物が届いていない場合には必ず御連絡下さい。大会終了後では対応できない場合があります(発送・請求関係連絡先：tk-tyoko@ieice.org)。

<予約のお勧め(DVD)>

大会講演発表の申込み・投稿の電子化、講演論文集・プログラムのDVD化により、講演内容等の必要情報の入手が一段と便利になります。聴講者におかれましても、是非このDVDの機能を有効に活用するため、事前予約をお勧め致します。  
 御予約頂きますと、3月5日~3月7日までに索引機能を充実したDVD(全講演・プログラム)を発送致しますので、聴講の下調べ等にお役立て下さい。

なお、大会会場でも当日参加を受け付けておりますが、当日DVDを活用する設備がございませんので、その旨御了承下さい。

◎ 聴講参加・冊子講演論文集予約について(予定)  
 <聴講参加>(本会会員：不課税, 本会会員外：消費税込)

☆2010年総合大会から、事前聴講申込者に対する参加費の割引制度を実施しております。事前申込みの割引制度を御利用頂くと当日申込みより2割引の参加費で大会聴講が可能となります。更に、非会員学生の聴講参加費を値下げ致しました。皆様、奮って御参加下さい。

【事前申込み(DVD含む)】

会 員 名誉員・正 員	8,000円
学生員(DVD購入)**	2,400円
60歳以上の会員***	2,400円

非会員 社会人	16,000円
学生(DVDなし)	2,400円
学生(DVD購入)	4,800円

【当日申込み(DVD含む)】

会 員 名誉員・正 員	10,000円
学生員(DVDなし)*	無料
学生員(DVD購入)**	3,000円
60歳以上の会員***	3,000円
非会員 社会人	20,000円
学生(DVDなし)	3,000円
学生(DVD購入)	6,000円

[凡 例]

\* DVDを必要とされない「学生員」は無料で聴講できますので事前申込みの必要はございません。総合受付までお越し頂ければ参加章をお渡し致します。(会員証を提示して頂きますので御持参下さい。)

\*\* 会場で会員証を提示して下さい。

\*\*\*年金以外の収入がない方が対象となります。

※この機会に入会されますと、会員扱いとさせていただきます。  
 ※電気学会、照明学会、映像情報メディア学会、情報処理学会の会員及び本会と協定を締結した海外の学会の会員は会員扱いとなります。

<法人価格申込>

1. DVD 1枚(合本付)	90,000円
2. DVD 1枚	70,000円

<冊子講演論文集>

論文集の内容は多少変わることもございますので、御了承下さい。  
 冊子講演論文集は、予約部数に基づいて論文集を作成しておりますので、予約期限を過ぎますとお求めに出来ない場合がありますので、くれぐれも御注意下さい。  
 (発行日：平成25年3月5日/価格は消費税込み)

各分冊講演論文集の内容・価格については、上記ホームページを御覧下さい(1月10日公開)。

<支払方法>

予約物に同封して請求・納品・見積・振込用紙をお送り致しますので御利用頂き、送金をお願い致します(振込先口座等は請求書に記載)。

申込みの問合先  
 〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館内  
 電子情報通信学会 大会論文集予約係  
 TEL [03] 3433-6691, FAX [03] 3433-6659  
 E-mail: taikai@ieice.org  
 発送・請求の問合先 E-mail: tk-tyoko@ieice.org

今回の総合大会では男女共同参画委員会の活動の一環として予約・有料制の託児所を開設します。詳細は下記URLに案内を掲示しますので御利用下さい。(http://www.toyoag.co.jp/ieice/G\_top/g\_top.html)(2月上旬を予定)

●…… 講演会・講習会・学術研究集会等 ……●

——東海支部——

●平成24年度専門講習会「医工・産学官連携による近未来リハビリテーション支援ロボットの開発動向」

座長 森田良文（名工大）

日時 平成25年1月9日（水）13:30～17:50

会場 ウィンクあいち 1101会議室（名古屋市市中村区名駅4-4-38, ユニモール地下街5番出口 徒歩2分, TEL [052] 571-6131 <http://www.winc-aichi.jp/access/>）

演題及び講師

- (1) 開会挨拶
- (2) 認知機能障害スクリーニングシステムの開発  
加藤昇平（名工大）
- (3) リハビリロボットの開発と製品化への課題  
榊 泰輔（九産大）
- (4) 空気圧ゴム人工筋を用いたリハビリ用パワーアシストウェアの開発  
則次俊郎（岡山大）
- (5) リハビリテーション支援ロボットとその本格的実用化  
古荘純次（福井工大）
- (6) 人と人の絆を大切にしたりハビリ支援機器の開発  
森田良文（名工大）

(7) 閉会挨拶

注）演題・講師については変更される場合がございます。

詳細は、東海支部 HP (<http://www.ieice.org/tokai/>) を参照願います。

主催 電子情報通信学会本部, 同東海支部

協賛 情報処理学会・電気学会・映像情報メディア学会・日本音響学会各東海支部, 電気設備学会・日本電気技術者協会・計測自動制御学会各中部支部, 中部エレクトロニクス振興会

——関西支部——

●電気四学会関西支部専門講習会「超高精細映像技術の最新動向」

デジタル技術は、我々の生活やメディア産業に劇的な変革をもたらし、今後、更なる発展と進化を推し進めようとしています。映像情報の分野では、情報通信技術や放送通信連携など多種多様な技術やサービスの分野を創出したとともに、テレビの映像品質そのものに格段の向上を遂げようとし、近年この超高精細テレビ技術の動向は世界的にも注目を集めているところです。

今回は、「超高精細映像技術の最新動向」と題し、超高精細映像の関連技術について最新の動向を御講演頂きます。是非、皆様御参加下さい。

日時 平成25年2月15日（金）9:45～17:15

会場 中央電気倶楽部 513号室（大阪市北区堂島浜2-1-25, ドージマ地下街南詰を右側に上がり、右へ約50m, 左側のレンガ造り建物）

講演内容

- (1) 開講の挨拶 映像情報メディア学会関西支部支部長
- (2) スーパーハイビジョン映像の臨場感・実物感—超高精細映像の特徴を明らかにする— 正岡顕一郎（NHK）
- (3) 新しい映像符号化標準技術「HEVC」  
関口俊一（三菱電機）
- (4) 次世代地上放送の伝送技術 齊藤正典（NHK）
- (5) 超高精細液晶ディスプレイの技術と展望

講演会・講習会・学術研究集会等

熊倉 威（シャープ）

(6) スーパーハイビジョン（SHV）カメラの開発の現状と将来展望  
吉田哲男（日立国際電気）

(7) 超高精細映像制作システムの展望—4K/8KリアルタイムCGによる映像制作と4K/8K映像制作機器の実際—  
林 正樹（ゴットランド大）

(8) 閉講の挨拶 映像情報メディア学会関西支部庶務幹事  
聴講料 主催学会会員：正員 10,000円,  
准員・学生員 無料  
会員外（一般15,000円, 学生5,000円）

定員 80名（定員になり次第、締め切らせて頂きます。）

申込方法 講習会題目・開催日・会員種別・氏名・連絡先（会社学校名・所属・郵便番号・所在地・電話番号）等を映像情報メディア学会関西支部のHP (<http://www.ite.or.jp/kansai/>) からお申し込み下さい。後日、参加章と請求書を郵送します。なお、FAX, E-mailの場合は下記宛てにお申し込み下さい。

申込先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-25  
中央電気倶楽部内関西電気関連学会事務センター  
TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534  
denki4g@ares.eonet.ne.jp

主催 電子情報通信学会・映像情報メディア学会・電気学会・照明学会各関西支部

●電気四学会関西支部専門講習会「油入変圧器 保守診断技術の最新動向」

高度成長期に導入された経年機器の合理的な維持運用が近年の変電設備における課題となっている。油入変圧器においては、2010年には30年以上経過した変圧器が半数以上を占めると言われており、経年数の増大に伴う事故率の上昇は不可避である一方、経済性の観点から機器の長期運用が求められている。経年機器の信頼性確保、徹底活用という背景から、機器の異常診断、劣化診断、余寿命診断技術の高精度化が望まれている。

これらの背景の下、オンライン監視技術を中心とした状態監視技術についての報告が活発化しており、①UHF法を適用した部分放電監視、②オンライン油中ガス監視装置の実用化、高精度化、③周波数応答解析の状態監視への活用などに関する取組みが盛んに行われています。

「油入変圧器の保守診断技術の最新動向調査専門委員会」では、異常診断技術、オンライン監視技術、余寿命評価技術などの動向の調査が行われ、その報告がまとめられています。本講習会では、委員会での成果とその後の最新動向を交え、広く紹介致します。奮っての御参加をお待ちしています。

日時 平成25年2月20日（水）13:30～17:00

会場 中央電気倶楽部 513号室（交通等前掲参照）

講演題目と講師

- (1) 開講の挨拶 電気学会関西支部支部長
- (2) 概論、保守診断技術の実態—変圧器の劣化、診断の現状—  
小川吉晴（明電舎）
- (3) 油中ガス分析診断手法の高度化技術 千切健史（東芝）
- (4) オンライン監視技術—音響測定、電磁波測定—  
水野康宏（愛知電機）
- (5) 劣化・異常診断の新測定法—周波数応答解析（FRA）ほか—  
水谷嘉伸（電力中研）
- (6) 質疑応答
- (7) 閉講の挨拶 電気学会関西支部総務企画幹事

参加費 主催学会 会員 4,000 円, 准員 1,500 円,  
会員外 5,000 円, 学生無料 (テキスト代別)

テキスト 電気学会技術報告 第 1191 号「油入変圧器 保守診断  
技術の最新動向」(定価 2,835 円)を使用します。希望  
者には特別価格 (2,000 円)で頒布致します。テキスト  
が必要な方は 2 月 6 日 (水)までに事前お申込みを願  
い致します。はがきは締切日必着でお願いします。  
Web 申込みでは連絡事項欄に「テキスト希望」を、は  
がき/FAX/E-mail には、「テキスト希望」と書いて下  
さい。テキストは当日お渡し致します。

定員 80 名 (定員になり次第, 締め切ります。)

申込方法 電気学会関西支部 HP (<http://www2.iee.or.jp/ver2/kansai/>) からお申込み下さい。はがき, FAX または  
E-mail による申込みの場合, 講習会題目, 開催日, 会  
員種別, 氏名, 連絡先 (会社あるいは学校名, 所属, 郵  
便番号, 所在地, 電話番号) 並びにテキストの可否を,  
下記の申込先まで御連絡下さい。後日, 参加章と請求書  
をお送りします。なお, お知らせ頂きました個人情報  
は, 行事の運営に必要な場合のみに使用致します。

申込先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25  
中央電気倶楽部内関西電気関連学会事務センター  
TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534  
denki4g@ares.eonet.ne.jp

主催 電子情報通信学会・電気学会・照明学会・映像情報メ  
ディア学会各関西支部

#### ●電子情報通信学会関西支部第 18 回学生会研究発表講演会

下記のとおり, 大阪電気通信大学 (寝屋川キャンパス) にて第  
18 回学生会研究発表講演会を開催致します。皆様の奮っての御  
応募をお待ち申し上げます。

日時 平成 25 年 3 月 6 日 (水) 10:00~17:00  
会場 大阪電気通信大学寝屋川キャンパス (寝屋川市初町18-8)  
対象分野 「基礎・境界」, 「通信」, 「エレクトロニクス」, 「情報・  
システム」ソサイエティが対象としている全技術分野  
応募資格 大学 (大学院を除く), 高等専門学校 (専攻科を含  
む), 短期大学に所属する電子情報通信学会の学生員,  
若しくは入会予定者。

発表形式 口頭発表 (発表 12 分, 質問 3 分, 合計 15 分)

参加費 無料

原稿執筆 原稿執筆及び投稿の要領に関しては, 電子情報通信学  
会関西支部学生会 HP を御参照下さい。

発表申込 発表申込は原稿投稿をもって代えさせていただきます。平  
成 24 年 12 月 17 日 (月)~平成 25 年 1 月 25 日 (金)に  
学生会 HP にて, 原稿を御投稿下さい。

懇親会 研究発表講演会後に同大学キャンパス内にて懇親会を開  
催致します。万障お繰り合わせの上, 御参加をお待ち申  
上げます。(懇親会費は実費負担となります。)

連絡先 学生会研究発表講演会について, 御不明な点や質問など  
ございましたら, 関西支部学生会幹事長 (中条) まで御  
連絡下さい。

学生会幹事長 中条竜二 (大阪電気通信大学 大学院電  
子通信研究科) ※ E-mail: mfl1a010@oecu.jp

主催 電子情報通信学会関西支部学生会  
※学生会 HP: <http://ieice-kansai.jp/student/student/index.htm>

#### —本会が協賛等のもの—

(※は参加費割引あり)

#### 第 6 回 KAST システムバイオロジー講座 (分野篇) 「システムバ イオロジーの新展開」

期日 平成 25 年 1 月 16 日 (水), 18 日 (金) (計 2 日間)

会場 かながわサイエンスパーク (川崎市)

問合先 神奈川科学技術アカデミー

教育研修グループ 担当 石川

TEL [044] 819-2033, FAX [044] 819-2097

#### 第 358 回講習会「魁・設計塾〜価値を生み出す設計者への道」(※)

期日 平成 25 年 1 月 17 日 (木)

会場 東京理科大学森戸記念館 (東京都新宿区)

問合先 精密工学会

TEL [03] 5226-5191, FAX [03] 5226-5192

<http://www.jspe.or.jp/event/koshukai/seminar.html>

#### 第 25 回 「自律分散システム・シンポジウム」(※)

期日 平成 25 年 1 月 25 日 (金), 26 日 (土)

会場 東北大学片平さくらホール (仙台市)

問合先 計測自動制御学会事務局 部門協議会担当

TEL [03] 3814-4121 bumon@sice.or.jp

#### 第 20 回超音波による非破壊評価シンポジウム

期日 平成 25 年 1 月 28 日 (月), 29 日 (火)

会場 きゅりあん (東京都品川区)

問合先 日本非破壊検査協会学術課 岡

TEL [03] 5821-5105, FAX [03] 3863-6524

[oka@jsndi.or.jp](http://oka@jsndi.or.jp)

#### 圧電材料・デバイスシンポジウム 2013

期日 平成 25 年 1 月 28 日 (月), 29 日 (火)

会場 東北大学工学部青葉記念館 (仙台市)

問合先 東北大学大学院工学研究科通信工学専攻内

圧電材料・デバイスシンポジウム事務局担当 吉澤 晋

TEL [022] 795-5843, FAX [022] 795-7147

[piezodevice@ecei.tohoku.ac.jp](mailto:piezodevice@ecei.tohoku.ac.jp)

<http://www.ecei.tohoku.ac.jp/ume/PoPM-Dsymposium/>

#### 第 25 回専門講習会「液中プラズマ技術と水処理・抗菌応用」(※)

期日 平成 25 年 1 月 29 日 (火)

会場 東京工業大学情報理工学部 (東京都目黒区)

問合先 プラズマ・核融合学会事務局

TEL [052] 735-3185, FAX [052] 735-3485

[plasma@jspf.or.jp](mailto:plasma@jspf.or.jp) <http://www.jspf.or.jp/25senmon/>

#### 日本学術会議公開シンポジウム「ICT (情報通信技術) の将来展 望と課題解決に向けて一期待される人材とその育成方策」

期日 平成 25 年 1 月 30 日 (水)

会場 日本学術会議講堂 (東京都港区)

問合先 大柴小枝子 (京都工芸繊維大学電子システム工学部門)

TEL [075] 724-7401, FAX [075] 724-7400

[optlab@kit.ac.jp](mailto:optlab@kit.ac.jp)

<http://www.scj.go.jp/ja/event/index.html>

第188回研究会「高周波電磁界活用の最前線」(※)

期日 平成25年1月31日(木)  
会場 中央大学駿河台記念館(東京都千代田区)  
問合先 日本磁気学会事務局 TEL [03] 5281-0106  
http://www.magnetics.jp/seminar/topical/188.html

第15回薄膜基礎講座(※)

期日 平成25年2月19日(火), 20日(水)  
会場 東京理科大学森戸記念館(東京都新宿区)  
問合先 日本表面科学会事務局  
TEL [03] 3812-0266, FAX [03] 3812-2897  
shomu@sss.jp http://www.sss.jp

第40回ニューセラミックスセミナー「次世代型蓄電池にむけた材料革新」(※)

期日 平成25年2月27日(水)  
会場 大阪市中央公会堂(大阪市)  
問合先 ニューセラミックス懇話会事務局(大阪府立産業技術総合研究所内) TEL [0725] 53-1919  
FAX [0725] 53-2332 newceramics@dantai.tri-osaka.jp

第18回分子動力学シンポジウム(※)

期日 平成25年5月17日(金)  
会場 東京工業大学大岡山キャンパス(東京都目黒区)  
問合先 日本材料学会 TEL [075] 761-5321  
FAX [075] 761-5325 http://www.jsms.jp

安全工学シンポジウム2013

期日 平成25年7月4日(木), 5日(金)  
会場 日本学術会議(東京都港区)  
問合先 安全工学シンポジウム2013(幹事学会:電気学会事業サービス課) TEL [03] 3221-7313  
FAX [03] 3221-3704 event@iee.or.jp  
http://www2.iee.or.jp/ver2/honbu/03-conference/index100-10.html

●…………… 国 際 会 議 ……………●

第4回有機・無機電子材料とナノテクノロジーに関する国際シンポジウム

期日 2013年6月17日(月)~20日(木)  
会場 石川県立音楽堂(金沢市)  
問合先 EM-Nano 2013 組織委員会 村田英幸  
TEL [0761] 51-1531, FAX [0761] 51-1532  
murata-h@jaist.ac.jp

2013 The Twentieth International Workshop on Active-Matrix Flatpanel Displays and Devices—TFT Technologies and FPD Materials— (AM-FPD 13)

期日 2013年7月2日(火)~5日(金)  
会場 龍谷大学アバンティ響都ホール(京都市)  
問合先 AM-FPD 事務局(茂原アテックス内) 担当 吉田  
TEL [0475] 23-1150, FAX [0475] 25-7703  
secretariat@amfpd.jp

●…………… 受賞候補者募集等 ……………●

——第42回日本産業技術大賞——

対象 ①産業の発展に貢献度の高い大型産業設備、構造物の開発、②独創的、画期的で産業・社会に変革をもたらしたシステム技術の開発、③地球環境保全に大きな効果を発揮した設備の開発などで、実際に工業化または活用されて成果を上げたもの、あるいは効果が実証されたもの。  
応募締切 平成25年1月31日(木) 必着  
問合先 日刊工業新聞社編集局「日本産業技術大賞事務局」科学技術部 藤元  
TEL [03] 5644-7190, FAX [03] 5644-7089  
grandprix@nikkan.co.jp www.nikkan.co.jp

——第54回藤原賞——

推薦対象 自然科学分野に属するもの。  
候補者 日本の国籍があり、かつ日本在住の方であれば、ほかに賞を受けられた方でも、また以前に推薦された方でも可。  
受賞件数及び賞金 毎年2件、1,000万円/件  
締切日 平成25年1月31日(木)  
問合先 藤原科学財団 TEL [03] 3561-7736,  
FAX [03] 3561-7860 http://www.fujizai.or.jp

——第26回安藤博記念学術奨励賞——

対象研究分野 エレクトロニクス及びこれに関連する科学技術(通信・放送・音響・画像技術、コンピュータ・情報処理システム、半導体デバイス、材料、マイクロエレクトロニクス、マイクロメカトロニクス、ナノテクノロジー等の研究分野を含む。)  
対象研究者 大学の若手研究者(原則として35歳未満、大学院生を含む)等で上記の研究分野において独創的・萌芽的な研究活動を行っている者。  
奨励賞の内容 賞状、記念品及び賞金1件50万円で4件以上。  
推薦者 原則として各所属機関長(学部長・大学院研究科長・研究所長等)を推薦者とし、1機関につき1件の推薦とする。  
応募締切 平成25年2月末日(消印有効)  
問合先 安藤研究所 表彰事業部 prize@ando-lab.or.jp

(※は参加費割引あり)

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合せ先：電子情報通信学会編集出版部  
TEL [03] 3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

——教官・教員募集——

●筑波技術大学

公募人員 産業技術学部産業情報学科 講師 1名  
専門分野 電子工学全般  
応募資格 博士の学位または同等の研究業績を有している方、かつ聴覚障害学生の教育について熱意のある方  
着任時期 平成 25 年 4 月 1 日  
応募締切 平成 25 年 1 月 18 日 (金) 必着  
問 合 先 産業技術学部産業情報学科長 岡崎彰夫  
TEL [029] 858-9395, FAX [029] 858-9405  
aokazaki@a.tsukuba-tech.ac.jp  
詳 細 本学のホームページを参照

●岐阜大学

公募人員 助教 1 名  
所 属 機能材料工学科材料物性工学講座 (改組により平成 25 年度から電気電子・情報工学科電気電子コース)  
専門分野 パワーマグネティックスを主とする磁性材料・磁気計測・磁気工学  
応募締切 平成 25 年 2 月 1 日 (金) 必着  
問 合 先 工学部機能材料工学科長 嶋 陸宏  
TEL [058] 293-2719, shimam@gifu-u.ac.jp  
詳 細 <http://www.gifu-u.ac.jp/>の「教員・職員募集」

◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/koukoku/kyokanshainboshu.html>

◎次回締切 3月号掲載分 平成 25 年 1 月 25 日 (金) 必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページに掲載しております。下記からお入り頂くと今月号だけではなく、締切前の求人が全て御覧になれます。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanboshu.html>

IWAIT 2013

期日：2013 年 1 月 7 日 (月), 8 日 (火) 会場：名古屋大学 (名古屋市) 問合せ先：如澤裕尚 NTT サイバースペース研究所  
TEL [046] 859-3382, FAX [046] 855-1735 jozawa.hirohisa@lab.ntt.co.jp

第 5 回先進プラズマ科学と窒化物及びナノ材料への応用に関する国際シンポジウム (ISPlasma2013)

期日：2013 年 1 月 28 日 (月)~2 月 1 日 (金) 会場：名古屋大学 (名古屋市) 問合せ先：科学技術交流財団東海広域的クラスター創成事業本部 担当 直海 TEL [0561] 76-8327, FAX [0561] 76-8328 isplasma@astf.or.jp

第 18 回人工生命とロボットに関する国際シンポジウム (AROB 18th'13)

期日：2013 年 1 月 30 日 (水)~2 月 1 日 (金) 会場：Daejeon Convention Center (韓国大田市) 問合せ先：AROB 事務局 (ALife Robotics 内) TEL & FAX [097] 594-0181 arobsecr@alife-robotics.co.jp

薄膜トランジスタ国際会議 (ITC2013)

期日：2013 年 3 月 1 日 (金), 2 日 (土) 会場：東京大学弥生講堂 (東京都文京区) 問合せ先：関谷 毅 (東京大学大学院工学系研究科) TEL [03] 5841-6756, FAX [03] 5841-6709 sekita ni@ee.t.u-tokyo.ac.jp

第 11 回国際フェライト会議 ICF11

期日：2013 年 4 月 15 日 (月)~19 日 (金) 会場：沖縄コンベンションセンター (宜野湾市) 問合せ先：ICF11 事務局 松下伸広 (東京工業大学応用セラミックス研究所) TEL [045] 924-5310, FAX [045] 924-5358 ICF11@msl.titech.ac.jp

ITU Kaleidoscope Conference 2013

期日：2013 年 4 月 22 日 (月)~24 日 (水) 会場：京都大学百年時計台記念館 (京都市) 問合せ先：松本充司 早稲田大学大学院国際情報通信研究科 TEL & FAX [03] 5292-7897 mmatsumoto@waseda.jp <http://www.itu.int/ITU-T/uni/kaleidoscope/2013/>

国際パワーエレクトロニクスとドライブシステム会議 (PEDS 2013)

期日：2013 年 4 月 22 日 (月)~25 日 (木) 会場：北九州国際会議場 (北九州市) 問合せ先：福岡大学工学部電子情報工学科 末次正 TEL [092] 871-6631 (内線 6394), FAX [092] 865-6031 suetsugu@fukuoka-u.ac.jp

OPTICS & PHOTONICS International Exhibition 2013 (OPIE'13)

期日：2013 年 4 月 24 日 (水)~26 日 (金) 会場：パシフィコ横浜 (横浜市) 問合せ先：オプトロニクス社事業推進室 宇津野 TEL [03] 3269-3550, FAX [03] 3269-2551 utsuno@optronics.co.jp <http://www.optronics.co.jp>

The 13th IAPR International Conference on Machine Vision Applications (MVA2013)

期日：2013年5月21日(火)～23日(木) 会場：立命館大学朱雀キャンパス(京都市) 問合せ先：MVA組織委員会 東京大学生産技術研究所気付 TEL [03] 5452-6242, FAX [03] 5452-6244 mva2013-sec@mva-org.jp <http://www.mva-org.jp/MVA2013/>

第25回パワー半導体デバイス国際シンポジウム (ISPSD '13)

期日：2013年5月26日(日)～30日(木) 会場：石川県立音楽堂(金沢市) 問合せ先：ICSコンベンションデザイン 浦田, 田中 TEL [03] 3219-3541, FAX [03] 3219-3577 ispsd13@ics-inc.co.jp

第13回統合ネットワークとサービスマネジメント国際会議 (IM2013)

期日：2013年5月27日(月)～31日(金) 会場：Ghent大学(ベルギー) 問合せ先：NTTネットワークサービスシステム研究所 笹山浩二 TEL [0422] 59-6557, FAX [0422] 59-4945 sasayama.koji@lab.ntt.co.jp

第29回宇宙技術および科学の国際シンポジウム

期日：2013年6月2日(日)～9日(日) 会場：名古屋国際会議場(名古屋市) 問合せ先：同シンポジウム事務局(日本航空宇宙学会内) 担当 清水 TEL [03] 3519-4808, FAX [03] 3519-9998 shimizu@ists.or.jp

第35回国際生体医工学会議・第52回日本生体医工学会大会

期日：2013年7月3日(水)～7日(日) 会場：大阪国際会議場(大阪市) 問合せ先：同会議事務局 担当 金子綾衣 TEL [092] 642-5360, FAX [092] 642-5374 embc2013@cardiol.med.kyushu-u.ac.jp

The 12<sup>th</sup> International Symposium on Sputtering and Plasma Processes (ISSP 2013)

期日：2013年7月10日(水)～12日(金) 会場：京都リサーチパーク(京都市) 問合せ先：ISSP2013事務局 担当 堀 則子(金沢工業大学高度材料科学研究開発センター内) TEL [076] 274-9250, FAX [076] 274-9251 sec@issp2013.org <http://issp2013.org/>

2013年 光MEMS・ナノフォトニクス国際会議

期日：2013年8月18日(日)～22日(木) 会場：金沢市文化ホール(金沢市) 問合せ先：同国際会議事務局 TEL [03] 3346-8007, FAX [03] 3346-8002

第5回国際デザイン学会連合国際会議(※)

期日：2013年8月26日(月)～30日(金) 会場：芝浦工業大学豊洲キャンパス(東京都江東区) 問合せ先：同国際会議組織運営委員会 担当 古屋 繁(芝浦工業大学内) TEL [03] 6722-2774, FAX [03] 6722-2602 info@iasdr2013.jp

第18回複合情報技術の合成とシステム統合に関するワークショップ (SASIMI 2013)

期日：2013年10月21日(月), 22日(火) 会場：札幌ガーデンパレス(札幌市) 問合せ先：名城大学理工学部情報工学科 吉川雅弥 TEL [052] 838-2530, FAX [052] 832-1298 masay@meijo-u.ac.jp

第31回国際心理学会議 (ICP2016)

期日：2016年7月24日(日)～29日(金) 会場：パシフィコ横浜(横浜市) 問合せ先：日本心理学会 担当 鈴木, 亀岡 jpa@psych.or.jp TEL [03] 3814-3953, FAX [03] 3814-3954

**総合版ハンドブック**

**「知識ベース」の一般公開について**

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開を開始しております。一般公開は、会員限定β版での公開後3か月を経過した一部のコンテンツが対象となります。

閲覧にあたっては、本会ホームページ(トップページ)→「総合版ハンドブック「知識ベース」」または、以下のURLからお入りください。

<http://www.ieice-hbkb.org/portal/>



——シニア会員申請登録は

1月31日が締切です！——

平成20年から発足しましたシニア会員制度は、日頃の会員活動を通して本会の発展に寄与する継続的活動が認められ、本会への貢献が大きい正員に対してシニア会員の称号を贈呈し、より具体的に敬意を表明するとともに、将来にわたって引き続き学会活動の中心となって、学会の発展、ひいては社会への貢献をお願いするものです。また、本制度は将来、フェロー選出の母体となる制度でもあります。

- ・申請期間：平成24年10月1日から平成25年1月31日まで
- ・推薦基準：本会が関連する技術分野に原則10年以上従事しており、本会会員として在籍累計5年以上の正員、あるいは顕著な業績・貢献が認められる正員を対象とする。

- ・申請方法：Webでの自己申請で推薦者2名が必要
- ・推薦者：名誉員、フェロー、シニア会員とするが、平成25年のシニア会員称号の贈呈までは、本会会員として在籍累計10年以上の正員を推薦者として認める。

該当の会員の皆様、是非登録申請して下さい。

会員の皆様の周りの該当の方々に、申請登録されるようお勧め下さいますようお願い致します。

申請方法等の詳細は下記URLを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/senior/index.html>

——平成25年度会費お払込みのお願い——

平成25年度（平成25年4月～平成26年3月）の会費（追加ソサイエティ代等含む）のお払込みを12月初旬にお願いしましたが、1月中旬で入金の確認がとれない方につきましては、今回は2月中旬に再度振込用紙をお送りしますのでお支払いをお願い致します。

なお、本年5月末日までにお支払いの確認がとれない場合は7月号から会誌の送付及び論文誌の閲覧が停止してしまいますので、お早めのお支払いをお願い致します。

※法人会員（維持員・特殊員）の御請求は平成25年4月末にお送りする予定です。

——登録情報の変更・確認はマイページを

御利用下さい——

<http://www.ieice.org/jpn/service/member/mypage.html>

◆御利用方法

事前に、上記のURLからパスワードを取得の上御利用下さい。なお、パスワードは現在会員システムに登録されているメールアドレスに自動送信されます。

◆マイページで御利用頂ける内容

- (1) 登録情報の確認/変更について—送付先住所、会費支払方法(クレジットカードでのWeb決済、支払い方法の変更)、学生員申請、オンラインジャーナル購読内容の変更、満60歳以上の方の会費減額手続き、退会手続き
  - (2) 研究会情報配信サービスのための研究会名登録
- (注) †がついている内容は、会費の金額が変わる事項であり事

——本会のホームページ、メール転送サービスの臨時休業のお知らせ——

2月2日(土)の本会サーバ室の電力増幅工事及び2月3日(日)の機械振興会館の高圧受電設備点検による全館停電のため下記の間はホームページ、メール転送サービスを臨時休業させていただきます。皆様には大変御迷惑をお掛け致しますが、何卒御理解を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年2月2日(土)9時00分～4日(月)10時00分(予定)

なお、予定が変更になった場合は本会ホームページにてお知らせ致します。

——和文論文誌C 随時公開開始のお知らせ——

和文論文誌C 編集委員会

和文論文誌C 編集委員会では、論文投稿から掲載までの更なる迅速化を図るために、2013年1月号掲載分からオンライン版の論文の随時公開を開始することとしましたのでお知らせ致します。

採録された論文は、通常の編集組版作業を行い、掲載準備が整い次第、冊子版に先行してオンライン上で随時公開してまいります。

なお、冊子版は従来どおり毎月1回発行致します。

※本会論文誌においては、オンライン版が公開された日を公知日としておりますので御注意下さい。

——平成25年1月号及び2月号

和・英論文誌特集・小特集テーマ——

和・英論文誌編集委員会

(基礎・境界ソサイエティ)

1月号 [英文]・Cryptography and Information Security

・Wideband Systems

2月号 [英文]・Mathematical Systems Science and its Applications

・Analog Circuit Techniques and Related Topics

(通信ソサイエティ)

1月号 [英文] Network Virtualization, and Fusion Platform of Computing and Networking

2月号 [和文] 通信技術の進展を支える学生論文特集

2月号 [英文] Quality of Communication Services Improving Quality of Life

(エレクトロニクスソサイエティ)

1月号 [英文] Recent Progress in Electromagnetic Theory and Its Application

2月号 [英文] Recent Progress in Microwave and Millimeter-Wave Photonics Technology

(情報・システムソサイエティ)

1月号 [和文] ヒューマンコミュニケーション特集

一人にやさしい情報通信社会を実現するコミュニケーション技術—

2月号 [英文] Internet Architectures, Protocols, and Applications for Diversified Futures

——平成 25 年度各研究会（第一種）開催予定——

研究会の発表申込・聴講参加等に御活用下さい。なお、開催日や会場・テーマなど変更されることがありますので、詳細な情報は各研究会の開催スケジュールや会告で御確認下さい。

〔発表申込方法〕発表を御希望の方は研究会発表申込（Web による申込み）ページ（[http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushi\\_komi.html](http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushi_komi.html)）を御利用下さい、本システムにて運用・登録していない研究会につきましては、各研究会の Web ページを御覧頂き、直接研究会幹事宛てにお申込み下さい。また、発表申込締切日も各研究会ごとに設定しておりますので、御注意下さい。

——基礎・境界サイエティ——

回路とシステム研究会（CAS）

4月休会 5月休会 6月休会  
7月4日（木）、5日（金）or 11日（木）、12日（金）九州（熊本大）：システムと信号処理及び一般  
8月休会 9月休会 10月東海：一般  
11月未定：グラフ、バトリネット、ニューラルネット、及び一般  
12月休会 1月東京：一般 2月休会  
3月6日（木）、7日（金）関西（阪市大）：ネットワークプロセッサ、通信のための信号処理、無線LAN/PAN、一般

情報理論研究会（IT）

4月休会 5月北陸（福井大）：一般 6月休会  
7月東京（早大）：フレッシュマンセッション、一般  
8月休会 9月未定：一般 10月休会  
11月未定：若手研究者のための講演会  
12月休会 1月未定：一般 2月休会  
3月未定：一般、合同研究会

信頼性研究会（R）

4月休会  
5月24日（金）中国（尾道）：ソフトウェアの信頼性、信頼性一般  
6月14日（金）東京（機械振興会館）：電子・電気機器の信頼性、故障解析、劣化診断、信頼性一般  
7月26日（金）北海道（紋別）：信頼性理論、通信ネットワークの信頼性、信頼性一般  
8月29日（木）、30日（金）北海道（サンリフレ函館）：光部品・電子デバイス実装・信頼性、一般（OECC 報告）  
9月休会  
10月18日（金）九州（kyutech プラザ）：信頼性一般  
11月14日（木）関西（中央電気倶楽部）：半導体と電子デバイスの信頼性、信頼性一般  
12月13日（金）東京（機械振興会館）：信頼性国際規格、保水性、信頼性一般 1月休会  
2月東海：機構デバイスの信頼性、計算機システムの信頼性、信頼性一般 3月休会

超音波研究会（US）

4月東京（電通大）：非線形／一般  
5月27日（月）東京（機械振興会館）：一般  
6月東京（東大生研）：医用超音波／アコースティックイメージング／一般  
7月九州（九大春日キャンパス）：物性／一般  
8月東京：水中音響／一般 9月東北（東北大）：一般  
10月東海（産総研中部センター）：一般  
11月北陸（金沢工大）：一般  
12月東京（日大駿河台キャンパス）：強力超音波／一般  
1月関西（関西大）：一般／音響・超音波サブソサイエティ合同研究会  
2月未定：アコースティックイメージング／一般  
3月休会

応用音響研究会（EA）

4月休会  
5月中国（岡山大）：応用（電気）音響／信号処理／音声  
6月関西（NTTCS 研）：一般  
7月北海道（北海道医療大）：応用（電気）音響／音楽音響／聴覚  
8月東北（東北大）：音響信号処理／聴覚／一般 9月休会  
10月東京（NHK 技研）：空間音響／一般  
11月中国（広島県立大）：異種メディア融合／コンテンツ処理／メディア検索／電子透かし／一般  
12月北陸（金沢大）：一般  
1月関西：音響・超音波サブソサイエティ合同研究会／応用（電気）音響／超音波  
2月休会 3月17日（月）東京（機械振興会館）：一般

非線形問題研究会（NLP）

4月25日（木）、26日（金）東海（中京大）：一般  
5月九州（福岡大）：一般 6月休会  
7月九州（宮古島）：一般 8月休会 9月休会  
10月10日（木）、11日（金）東海（岐阜大）：一般  
11月四国（香川）：一般 12月海外（香港）：一般  
1月北海道：一般 2月休会 3月信越（新潟）：一般

VLSI 設計技術研究会（VLD）

4月休会  
5月16日（月）九州（北九州国際会議場）：システム設計及び一般  
6月休会 7月未定：システムと信号処理及び一般  
8月休会 9月休会  
10月未定：プロセッサ、DSP、画像処理技術及び一般  
11月未定：デザインガイア—VLSI 設計の新しい大地—  
12月休会 1月未定：FPGA 応用及び一般  
2月休会  
3月九州（那覇）：システムオンシリコンを支える設計技術

情報セキュリティ研究会（ISEC）

4月休会 5月未定：一般 6月休会  
7月未定：一般 8月休会  
9月20日（金）東京（機械振興会館）：一般  
10月休会 11月未定：一般  
12月11日（水）東京（機械振興会館）：一般  
1月休会 2月休会 3月未定：一般

信号処理研究会 (SIP)

4月休会  
5月16日(木), 17日(金) 関西(岡山大): 音声・音響信号処理及び一般 6月休会  
7月4日(木), 5日(金) 九州(熊本大): システムと信号処理及び一般 8月休会  
9月未定: マルチメディア通信/システム, ライフログ活用技術, IP放送/映像伝送, メディアセキュリティ, 一般  
10月休会 11月休会 12月休会  
1月未定: 無線通信のための信号処理及び一般  
2月休会  
3月未定: 無線LAN/MAN, PAN, ネットワークプロセッサ, 通信のための信号処理, 一般

ワイドバンドシステム研究会 (WBS)

4月休会  
5月東京(宇都宮大): 符号化, 変復調, 信号処理技術及び一般  
6月休会 7月未定: 一般 8月休会 9月休会  
10月未定: グリーンワイヤレス, 一般 11月休会  
12月未定: 一般, ポスター講演 1月休会 2月休会  
3月未定: 一般

システム数理と応用研究会 (MSS)

4月休会 5月休会 6月休会  
7月九州(熊本大): システムと信号処理及び一般  
8月休会 9月休会  
10月未定: グラフ, ペトリネット, ニューラルネット及び一般  
11月休会 12月休会 1月未定: 一般 2月休会  
3月未定: 一般

思考と言語研究会 (TL)

4月休会 5月休会 6月東京: 自然言語処理  
7月休会 8月関西(近畿大): 人間の言語理解  
9月休会 10月東京: 一般 11月休会  
12月東京: 言語と学習・場の共創・意味の創発  
1月休会 2月東京: 言語哲学 3月休会

技術と社会・倫理研究会 (SITE)

4月休会 5月東京(東京): 知的財産, 一般  
6月休会 7月北海道: セキュリティ, 一般  
8月休会 9月休会 10月未定: 未定  
11月休会 12月九州(沖縄): 情報教育, 一般  
1月休会 2月休会  
3月未定: インターネットと情報倫理教育, 一般

安全性研究会 (SSS)

4月休会  
5月23日(木) 東京(機械振興会館): 交通関係の安全性, その他  
6月休会 7月25日(木) 東京(日大): 機械安全, その他  
8月休会  
9月26日(木) 東京(機械振興会館): ヒューマンファクタ, その他 10月休会  
11月21日(木) 東京(芝浦工大): 消費者安全, その他  
12月19日(木) 東京(明大): エネルギーの安全, その他  
1月休会 2月休会  
3月13日(木) 東京(機械振興会館): 防災・安全性一般

ITS研究会 (ITS)

4月休会 5月東京(YRP): ITSコア技術, 一般  
6月休会 7月未定: ITSポジショニング, 一般  
8月休会 9月未定: 交通センシング, 通信, 情報処理, 一般  
10月休会 11月休会 12月未定: 一般, ポスター講演  
1月休会  
2月北海道(北大): ITS画像処理, 映像メディア, 視覚及び一般  
3月未定: ITS情報処理, 一般

スマートインフォメディアシステム研究会 (SIS)

4月休会 5月休会  
6月九州: スマートパーソナルシステム, 一般  
7月休会 8月休会  
9月東京: 知的マルチメディアシステム, 一般  
10月休会 11月休会  
12月中国: システムオンシリコン, RFID技術, 一般  
1月休会 2月休会  
3月関西: ソフトコンピューティング, 一般

イメージ・メディア・クオリティ研究会 (IMQ)

4月休会 5月17日(金) 東京(成蹊大): 一般  
6月休会 7月下旬東北(岩手大): CG  
8月休会 9月休会 10月下旬東京(千葉大): 医用画像  
11月休会 12月下旬東海(静岡大): ディスプレイ  
1月休会 2月休会 3月上旬未定: 未定

——通信ソサイエティ——

アンテナ・伝播研究会 (A・P)

4月18日(木) 関西(関西学院大): 一般  
5月16日(木), 17日(金) 九州(別府国際コンベンションセンター): 一般  
6月13日(木) 東京(機械振興会館): 一般  
7月25日(木), 26日(金) 北海道(サン・リフレ函館): 衛星通信, 電波伝搬, 一般  
8月29日(木), 30日(金) 東京(防衛大): メタマテリアル, 一般  
9月12日(木), 13日(金) 東京(NHK技研): マイクロ波ミリ波, 一般  
10月3日(木), 4日(金) 北陸(金沢大): 測定, 一般  
11月21日(木), 22日(金) 中国(松江): 一般  
12月12日(木) 東京(機械振興会館): 一般  
1月23日(木), 24日(金) 海外(ベトナムハノイ): 電波伝搬, 一般  
2月13日(木) 未定: 一般  
3月13日(木), 14日(金) 東北(福島): 一般

宇宙・航行エレクトロニクス研究会 (SANE)

4月25日(木), 26日(金) 信越(JAXA(白田)): 宇宙科学ミッション・衛星技術及び一般  
5月17日(金) 東京(幕張): リモートセンシング及び一般  
6月27日(木), 28日(金) 東京(JAXA(つくば)): 宇宙応用シンポジウム  
7月26日(金) 東京(電子航法研): 航法・交通管制及び一般  
8月23日(金) 信越(新潟大): 環境計測及び一般

9月休会

10月16日(水)~18日(金) 海外(ベトナム): ICSANE 2013  
(国際ワークショップ)

11月29日(金) 東北(東北大): 地下電磁計測ワークショップ

12月20日(金) 東京(日本工大): レーダ信号処理及び一般

1月23日(木), 24日(金) 九州(長崎): 測位・航法及び一般

2月13日(木), 14日(金) 未定: 衛星応用技術及び一般

3月休会

#### 衛星通信研究会 (SAT)

4月休会

5月東京(宇都宮大): 符号化, 変復調・信号処理技術及び一般

6月休会

7月25日(木), 26日(金) 北海道(サン・リフレ函館): 衛星通信, 電波伝搬, 一般

8月29日(木), 30日(金) 信越(信州大): 移動衛星通信, 放送, 誤り訂正, 無線通信一般

9月休会 10月未定: 衛星通信技術及び一般

11月休会 12月休会 1月休会

2月中国(山口): 衛星応用技術及び一般 3月休会

#### 環境電磁工学研究会 (EMCJ)

4月12日(金) 中国(岡山大): 一般

5月10日(金) 東京(東工大): 一般

6月21日(金) 関西(京大): 一般

7月11日(木) 東京(機械振興会館): 若手研究者発表会

7月12日(金) 東京(機械振興会館): 一般, 実装, 放電

8月休会 9月北海道(北大): 一般, 生体

10月東北: 一般, 電磁界解析, マイクロ波

11月東京: 一般 12月東海: 一般, 電力, 生体

1月九州: 一般, 通信, 無線電力伝送 2月休会

3月14日(金) 東京(機械振興会館): 一般

#### ネットワークシステム研究会 (NS)

4月18日(木), 19日(金) 北陸(輪島商工会議所): トラヒック, NW 評価, 性能, リソース管理・制御, トラヒックエンジニアリング, NW 信頼性・レジリエンス, 一般

5月16日(木), 17日(金) 東京(機械振興会館): 高度プロトコル・ネットワーク技術(IP及び高位レイヤルーチング・フィルタリング, マルチキャスト, 品質・経路制御, IPNWの利用技術(P2P, P4P, オーバレイ, SIP, NGN), ネットワークシステム関連技術(システム構成法, インタフェース, アーキテクチャ, ハードウェア・ソフトウェア・ミドルウェア), 一般

6月20日(木), 21日(金) 東北(日大): コア・メトロシステム, フォトニックネットワーク・システム, 光ネットワーク運用管理, 光ネットワーク設計, トラヒックエンジニアリング, シグナリング, GMPLS, ドメイン間経路制御, ネットワーク監視, イーサネット, 光伝達網(OTN), 高速インタフェース, 光制御(波長変換・スイッチング・ルーチング), 光ノード技術, 光クロスコネクタ(OXC), 光分岐挿入多重(OADM), 光多重・分離装置, 光信号処理, 光スイッチ素子, 一般

7月25日(木), 26日(金) 東海(アクティビティ浜松): 有線/無線シームレスネットワーク, ハンドオーバー, リレー, 分散MIMO, モバイル・アドホックネットワーク, ユビキタス・

センサネットワーク, 一般 8月休会

9月12日(木), 13日(金) 東北(東北大): ポストIPネットワーク, 新世代ネットワーク, ネットワークモデル, インターネットトラヒック, TCP/IP, マルチメディア通信, ネットワーク管理, リソース管理, プライベートネットワーク, NW 安全性及び一般

10月17日(木), 18日(金) 北海道(北大): ネットワークアーキテクチャ(オーバレイ, P2P, ユビキタスNW, スケールフリーNW, アクティブNW, NGN・新世代NW), 次世代パケットトランスポート(高速Ethernet, IP over WDM, マルチサービスパケット技術, MPLS), グリッド, 一般

11月14日(木), 15日(金) 九州(福江文化会館): ネットワーク品質, ネットワーク管理・計測, ネットワーク仮想化, 一般  
12月未定: モバイル, アドホック, ユビキタス, 無線, セキュリティ, マルチアクセス, アクセスネットワーク・UserNetworkInterface, Home ネットワーク, 一般

1月23日(木), 24日(金) 九州(琉球大): ネットワークソフトウェア(ソフトウェアアーキテクチャ, ミドルウェア), NW アプリケーション, SOA/SDP, NGN/IMS/API, 分散制御・ダイナミックルーチング, グリッド, NW 及びシステム信頼性, NW 及びシステム評価, 一般 2月休会

3月6日(木), 7日(金) 九州(シーガイア): 一般

#### 情報ネットワーク研究会 (IN)

4月18日(木), 19日(金) 関西(京都府中小企業会館): ホームネットワーク, グリーン・省電力ICT, スマートグリッド, 省エネルギー, 障害対策・BCP, データ分析・処理基盤, ビッグデータ及び一般

5月16日(木), 17日(金) 東京(機械振興会館): アドホック・センサネットワーク・MANET, モバイルネットワーク, M2M 通信制御, 無線LAN(Wi-Fi), IEEE802.15(ZigBee)及び一般

6月20日(木), 21日(金) 北陸(福井大): Web サービス/ SOA/ROA 基盤, ソーシャルネットワーク(SNS), 認証/ID管理, ネットワークコーディング, データ分析・処理基盤及び一般

7月18日(木), 19日(金) 北海道(北大): クラウドネットワーク技術, SDN, OpenFlow, プライベートネットワーク(VPN), オーバレイネットワーク・P2P, ネットワーク構成技術及び一般 8月休会

9月12日(木), 13日(金) 東北(東北大): ポストIPネットワーク, 次世代・新世代ネットワーク(NGN), 障害対策・BCP, ネットワークコーディング, セッション管理(SIP・IMS), 相互接続技術/標準化, ネットワーク構成管理及び一般

10月17日(木), 18日(金) 関西(阪大): 信頼性技術, セキュリティ・プライバシー保護技術, DDoS, 認証/ID管理, 障害対策・BCP, トラヒック・フロー制御及び一般

11月21日(木), 22日(金) 九州(熊本大): ホームネットワーク, ユビキタスネットワーク, モバイルネットワーク, クラウドコンピューティング, コンテキストウェア, 位置情報サービス, e-コマース, モバイルアプリケーション及び一般

12月19日(木), 20日(金) 中国(広島市大): 性能評価とシミュレーション, 信頼性技術, スループットやトラヒックの計測, 品質(QoS)制御, 輻輳制御, トラヒック・フロー制御, オーバレイネットワーク・P2P, IPv6, マルチキャスト, ルー

チング, DDoS 及び一般

- 1月23日(木), 24日(金) 東海(名古屋): コンテンツ配信/流通, ソーシャルネットワーク(SNS), データ分析・処理基盤, ビッグデータ及び一般 2月休会  
3月6日(水)~8日(金) 九州(宮崎フェニックス・シーガイア・リゾート): 一般

#### 通信方式研究会 (CS)

- 4月18日(木), 19日(金) 信越(佐渡島): ユビキタス/ブロードバンドネットワーク品質, サービス品質, クラウド, SDN (Software-Defined Network), コンテンツ配信, 一般  
5月休会 6月休会  
7月1日(月), 2日(火) 九州(与那国島): 次世代ネットワーク, アクセスネットワーク, ブロードバンドアクセス方式, 電力線通信, 無線通信方式, 符号化方式, 一般 8月休会  
9月12日(木), 13日(金) 東北(東北大): ポストIPネットワークキング, 新世代ネットワーク, ネットワークモデル, インターネットトラフィック, TCP/IP, マルチメディア通信, ネットワーク管理, リソース管理, プライベートネットワーク, NW安全性及び一般 10月休会  
11月北海道: ブロードバンドアクセス, ホームネットワーク, ネットワークサービス, 通信利用アプリケーション, 一般  
12月関西(京都工繊大): 画像符号化, 通信・ストリーム技術, 一般  
1月23日(木), 24日(金) 東京(八丈島): コア・メトロシステム, 光アクセスシステム・次世代PON, ブロードバンドアクセス方式, (広域)イーサネット, 光伝達網(OTN), 高速インタフェース, アナログ光伝送, 量子通信, 一般  
2月休会  
3月6日(木), 7日(金) 関西(阪市大): ネットワークプロセッサ, 通信のための信号処理, 無線LAN/PAN, 一般

#### 電子通信エネルギー技術研究会 (EE)

- 4月休会  
5月東京: スイッチング電源, エネルギー関連及び家電・民生技術, 一般  
6月休会 7月未定: エネルギー技術, 半導体変換技術, 一般  
8月休会 9月休会  
10月東京: 部品・照明・デバイス・材料技術関連, 一般  
11月東京: 回路・制御技術関連, 無線電力伝送, 一般  
12月休会  
1月九州: エネルギー変換技術, 電池技術関連, 一般  
2月休会 3月休会

#### 光通信システム研究会 (OCS)

- 4月休会  
5月17日(金) 東京(機械振興会館): 光変復調方式, 多値光変復調, コヒーレント光通信, 光増幅・中継技術, 非線形・偏波問題, コア・メトロシステム, 海底伝送システム, 光伝送システム設計・ツール, 一般 (OFC報告)  
6月20日(木), 21日(金) 東北(日大郡山): コア・メトロシステム, フォトニックネットワーク・システム, 光ネットワーク運用管理, 光ネットワーク設計, トラフィックエンジニアリング, シグナリング, GMPLS, ドメイン間経路制御, ネットワーク監視, イーサネット, 光伝達網(OTN), 高速インタフェース, 光制御(波長変換・スイッチング・ルーチング),

光ノード技術, 光クロスコネクト(OXC), 光分岐挿入多重(OADM), 光多重・分離装置, 光信号処理, 光スイッチ素子, 一般

- 7月25日(木), 26日(金) 東京: 【光通信機器】光変復調方式, 多値光変復調, コヒーレント光通信, 非線形・偏波問題, 分散補償デバイス, 光信号処理, 光測定器, 光通信用デジタル信号処理, 光通信計測, 光通信用LSI, 誤り訂正, 一般  
8月22日(木), 23日(金) 北海道: 【光ファイバ伝送路】光ファイバケーブル・コード, 通信用光ファイバ, 光ファイバ線路構成部品, 光線路保守監視・試験技術, 接続・配線技術, 光ファイバ測定技術, 光コネクタ, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ, 光信号処理, 光ファイバ型デバイス, 光測定器, レーザ加工, ハイパワーレーザ光輸送, 光給電, 一般  
9月休会  
10月24日(木), 25日(金) 九州(門司港レトロ・港ハウス): 超高速伝送・変復調・分散補償技術, 超高速光信号処理技術, 広帯域光増幅・WDM技術, 受光デバイス, 高光出力伝送技術, 一般 (ECOC報告)  
11月21日(木), 22日(金) 信越(長岡技科大): 光アクセスシステム・次世代PON, 地上・衛星放送システム, 衛星通信システム, CATVシステム, イーサネット, 伝送監視制御, 光ファイバケーブル・コード, 通信用光ファイバ, 光線路保守監視・試験技術, 光ファイバ測定技術, 地上・衛星放送関連デバイス・機器・設備, 家庭用受信デバイス・機器, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ, 光ファイバ線路構成部品, 光回路部品, 周波数有効利用技術, 変復調技術, 電磁界解析及びシミュレーション技術, 無線・光伝送境界領域, 光ケーブル布設技術, 光ファイバ線路設計技術, 光ファイバ線路構成部品信頼性, 空間・可視光伝送, 一般 12月休会  
1月23日(木), 24日(金) 東京(八丈島): コア・メトロシステム, 光アクセスシステム・次世代PON, ブロードバンドアクセス方式, (広域)イーサネット, 光伝達網(OTN), 高速インタフェース, アナログ光伝送, 量子通信, 一般  
2月27日(木), 28日(金) 九州(沖縄): 光ファイバ(ホーリーファイバ, マルチコアファイバ等含む)伝送とファイバ光増幅・接続技術, 光波センシング, 光波制御・検出, 光計測, ニューロ, 光ファイバ計測応用, 一般 3月休会

#### 無線通信システム研究会 (RCS)

- 4月11日(木), 12日(金) 九州(石垣島): 無線アクセス技術, 一般  
5月16日(木), 17日(金) 東京(機械振興会館): ワイヤレスインターネット, マルチホップネットワーク, メッシュネットワーク, ネットワーク符号化, クロスレイヤ技術, 無線通信及び一般  
6月20日(木), 21日(金) 北海道(北大): 初めての研究会, 鉄道, 車々間・路車間通信, リソース制御, スケジューリング, 無線通信一般  
7月24日(水)~26日(金) 東海(アクトシティ浜松): 有線/無線シームレスネットワーク, ハンドオーバー, リレー, 分散MIMO, モバイル・アドホックネットワーク, ユビキタス・センサネットワーク, 一般  
8月29日(木), 30日(金) 信越(信州大): 移動衛星通信, 放送, 誤り訂正, 無線通信一般 9月休会  
10月17日(木), 18日(金) 東京(上智大): 無線通信方式, 無線通信システム, 標準化及び一般

- 11月21日(木), 22日(金) 中国(松江テルサ): アダプティブアンテナ, 等化, 干渉キャンセラ, MIMO, 無線通信, 一般
- 12月19日(木), 20日(金) 四国(高松市文化芸術ホール): モバイル, アドホック, ユビキタス, 無線, セキュリティ, マルチアクセス, アクセスネットワーク, UserNetworkInterface, Home ネットワーク, 一般
- 1月23日(木), 24日(金) 九州(九大): 無線通信のための信号処理及び一般 2月休会
- 3月5日(水)~7日(金) 東京(早大): 移动通信ワークショップ

コミュニケーションクオリティ研究会 (CQ)

- 4月18日(木), 19日(金) 信越(佐渡): サービス品質, クラウド, SDN (Software-Defined Network), コンテンツ配信, 一般 5月休会 6月休会
- 7月11日(木), 12日(金) 北海道(北大): 映像/音声サービスの品質, メディア品質, ネットワークの品質・QoS 制御, 次世代/新世代ネットワークアーキテクチャ, 超臨場感コミュニケーション, 信頼性, 一般 8月休会
- 9月12日(木), 13日(金) 北陸(金沢工大): モバイルネットワーク, モバイルサービスとアプリケーション, マルチメディアコンテンツと配信, 及びこれらの品質, 一般
- 10月休会
- 11月14日(木), 15日(金) 九州(五島列島 or 九大): ネットワーク品質, ネットワーク管理・計測, ネットワーク仮想化, 一般 12月休会
- 1月24日(金) 東京(東京都市大): 映像/音声サービスの品質, メディア品質, ネットワークの品質・QoS 制御, 次世代/新世代ネットワークアーキテクチャ, 災害時のネットワークとコミュニケーション, 一般 2月休会
- 3月6日(木), 7日(金) 九州(別府 or 大分大): 五感メディアの品質, コミュニケーションデザイン, 画像符号化, 一般

フォトニックネットワーク研究会 (PN)

- 4月休会 5月休会
- 6月20日(木), 21日(金) 東北(日大): フォトニックネットワーク・システム, 光制御(波長変換, スwitチング, ルーチング), 光ノード技術, WDM 技術, マルチレイヤ・クロスレイヤ, 次世代トランスポート(高速 Ethernet, ASON/OTN), 一般
- 7月休会 8月未定: 一般 9月休会 10月休会
- 11月東京: フォトニックネットワークシステム, 光ルーチング, ブロードバンドアプリケーション, 一般(未定)
- 12月休会
- 1月関西: フォトニック NW デバイス, フォトニック結晶・ファイバとその応用, 光集積回路, 光導波路素子, 光スウィチング, 導波路解析, 一般(未定)
- 2月休会 3月九州: 一般

光ファイバ応用技術研究会 (OFT)

- 4月休会 5月23日(木), 24日(金) 九州: 一般
- 6月休会 7月休会
- 8月22日(木), 23日(金) 北海道: 光ファイバケーブル・コード, 通信用光ファイバ, 光ファイバ線路構成部品, 光線路保守監視・試験技術, 接続・配線技術, 光ファイバ測定技術, 光コネクタ, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ, 光信号処理,

光ファイバ型デバイス, 光測定器, レーザ加工, ハイパワーレーザ光輸送, 光給電, 一般

- 9月休会 10月24日(木), 25日(金) 関西: 一般
- 11月21日(木), 22日(金) 信越: 光アクセスシステム・次世代 PON, 地上・衛星放送システム, 衛星通信システム, CATV システム, イーサネット, 伝送監視制御, 光ファイバケーブル・コード, 通信用光ファイバ, 光線路保守監視・試験技術, 光ファイバ測定技術, 地上・衛星放送関連デバイス・機器・設備, 家庭用受信デバイス・機器, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ, 光ファイバ線路構成部品, 光回路部品, 周波数有効利用技術, 変復調技術, 電磁界解析及びシミュレーション技術, 無線・光伝送境界領域, 光ケーブル布設技術, 光ファイバ線路設計技術, 光ファイバ線路構成部品信頼性, 空間・可視光伝送, 一般
- 12月休会 1月23日(木), 24日(金) 東京: 一般
- 2月27日(木), 28日(金) 九州: 光波センシング, 光波制御・検出, 光計測, ニューロ, 光ファイバ(ホーリーファイバ, マルチコアファイバ等含む) 伝送とファイバ光増幅・接続技術, 光ファイバ計測応用, 一般 3月休会

情報通信マネジメント研究会 (ICM)

- 4月休会
- 5月9日(木), 10日(金) 東北(弘前大): サービス管理, 運用管理技術, 及び一般(仮) 6月休会
- 7月11日(木), 12日(金) 北海道: 管理機能, 理論・運用方法論, 及び一般(仮)
- 8月休会 9月休会 10月休会
- 11月14日(木), 15日(金) 関西: ネットワーク管理, ネットワーク品質, 及び一般(仮) 12月休会
- 1月16日(木), 17日(金) 九州: ライフログ活用技術, オフィス情報システム, ビジネス管理, 一般(仮) 2月休会
- 3月13日(木), 14日(金) 九州: エレメント管理, 管理機能, 理論・運用方法論, 及び一般(仮)

モバイルネットワークとアプリケーション研究会 (MoNA) (名称変更)

- 4月休会
- 5月23日(木), 24日(金) 九州(石垣市民会館): モバイルアプリケーション, ユビキタスサービス, モバイル分散クラウド, モバイルアドホックネットワーク, センサネットワーク, モバイルネットワーク及び一般 6月休会
- 7月北海道: モバイルネットワーク, モバイルアプリケーション, 及び一般 8月休会
- 9月12日(木), 13日(金) 北陸(金沢工大): モバイルネットワーク, モバイルサービスとアプリケーション, マルチメディアコンテンツと配信, 及びこれらの品質, 一般
- 10月休会
- 11月21日(木), 22日(金) 九州(熊本大): ホームネットワーク, ユビキタスネットワーク, モバイルネットワーク, クラウドコンピューティング, コンテキストウェア, 位置情報サービス, e-コマース, モバイルアプリケーション及び一般
- 12月休会
- 1月未定: モバイルユビキタス/センサ技術, アドホックネットワーク, RFID, 一般及び技術展示 2月休会
- 3月未定: モバイルネットワーク, モバイルアプリケーション, フィールドセンシング及び一般

インターネットアーキテクチャ研究会 (IA)

- 4月休会 5月休会
- 6月27日(木), 28日(金) or 20日(木), 21日(金) 信越 (アオーレ長岡): インターネットセキュリティ, 一般
- 7月休会 8月休会
- 9月東京 (IIJ 神保町三井ビルディング): インターネット運用・管理, 一般
- 10月東京: ネットワーク研究開発テストベッド運用・利用, 一般
- 10月海外: Future Internet, 一般
- 11月未定: 学生セッション, 一般
- 12月中国 (広島市大): インターネットやイントラネットの信頼性, 品質, 計測, 監視, セキュリティ, トラヒック理論及び一般
- 1月休会
- 2月14日(木), 15日(金) 未定: スマートグリッド, 一般
- 3月東京 (武蔵大): インターネットと情報倫理教育, 一般

ソフトウェア無線研究会 (SR)

- 4月休会
- 5月23日(木), 24日(金) 中国 (広島市): コグニティブ無線ネットワーク, ヘテロジニアスネットワーク, クロスレイヤ無線技術, 一般 6月休会
- 7月10日(水)~12日(金) 東海 (静岡大): 無線分散ネットワーク, 一般 8月休会 9月休会
- 10月24日(木), 25日(金) 関西 (阪大): 技術展示・製品展示, ソフトウェア無線機, 無線ハードウェア技術, 一般
- 11月休会 12月休会
- 1月23日(木), 24日(金) 東北: コグニティブ/ソフトウェア無線, M2M/D2D, 標準化・国際ワークショップ
- 2月休会
- 3月5日(水)~7日(金) 東京: 移動通信ワークショップ

知的環境とセンサネットワーク研究会 (ASN) (新設)

- 4月休会 5月未定: フレッシュマンセッション及び一般
- 6月休会
- 7月24日(水)~26日(金) 東海 (アクティシティ浜松): 無線分散ネットワーク及び一般
- 8月休会 9月休会 10月休会
- 11月28日(木), 29日(金) 東京 (機械振興会館): 一般
- 12月休会
- 1月23日(木), 24日(金) 未定: モバイルネットワーク, モバイルアプリケーション, アンビエントインテリジェンス, センサネットワーク, 一般及び技術展示
- 2月休会 3月休会

短距離無線通信研究会 (SRW) (新設)

- 4月19日(金) 東京 (機械振興会館): ミリ波関連技術, 一般
- 5月休会
- 6月17日(月) 東京 (富士通研): WLAN, WPAN 関連技術, 一般 7月休会
- 8月19日(月) 東京 (芝浦工大): WPAN, センサ関連技術, 一般 9月休会
- 10月21日(月) 東京 (NICT 本部): WLAN 関連技術, 一般
- 11月休会
- 12月16日(月) 東京 (東工大): Network, MAC, Adhoc 関連技術, 一般 1月休会 2月休会
- 3月6日(木) 東京 (早大): 移動通信ワークショップ

——エレクトロニクスサイエティ——

機構デバイス研究会 (EMD)

- 4月休会 5月17日(金) 北海道 (千歳科技大): 一般
- 6月21日(金) 東京 (機械振興会館): エレソ材料デバイスサマーマーケティング
- 7月12日(金) 東京 (機械振興会館): 放電・EMC, 及び一般
- 8月29日(木), 30日(金) or 22日(木), 23日(金) 北海道 (サンリフレ函館): 光部品・電子デバイス実装技術, 一般
- 9月休会
- 10月18日(金) 東京 (NTT): トライボロジ, 及び一般
- 11月海外 (中国・武漢): 国際セッション IS-EMD2013
- 12月20日(金) 東京 (機械振興会館): 一般
- 1月17日(木) or 25日(金) 東京 (日本航空電子): 一般
- 2月21日(金) 関西 (パナソニック): 機構デバイスの信頼性, 信頼性一般
- 3月7日(金) 東京 (横浜国大): ショートノート特集 (卒論・修論特集)

磁気記録・情報ストレージ研究会 (MR)

- 4月休会 5月休会
- 6月20日(木), 21日(金) 東北 (東北大): 記録システム+一般
- 7月12日(金) 東京 (中大): 固体メモリ・媒体+一般
- 8月休会 9月休会
- 10月24日(木), 25日(金) 九州 (九大): ヘッド・スピントロニクス+一般
- 11月15日(金) 東京 (早大): ハードディスクドライブ+一般
- 12月12日(木), 13日(金) 四国 (愛媛大): 信号処理+一般
- 1月24日(金) 関西 (パナソニック): 映像・情報ストレージ応用技術+一般
- 2月休会 3月7日(金) 東海 (名大): 光記録+一般

超伝導エレクトロニクス研究会 (SCE)

- 4月18日(木), 19日(金) 東京 (機械振興会館): マイクロ波, 一般 5月休会 6月休会
- 7月17日(水) 東京 (機械振興会館): 信号処理基盤技術及びその応用, 一般 8月休会 9月休会
- 10月22日(火) 東京 (機械振興会館): 超伝導エレクトロニクス基盤技術, 一般 11月休会 12月休会
- 1月24日(金) 未定: 超伝導センシング基盤技術及びその応用, 一般 2月休会 3月休会

電子ディスプレイ研究会 (EID)

- 4月休会 5月休会 6月休会 7月東京: SID 報告会
- 7月東京: ディスプレイ一般 8月休会 9月休会
- 10月東京: 画像技術・視覚・その他一般
- 11月東京: 高臨場感ディスプレイフォーラム
- 11月東京: IMID 報告会 12月休会
- 1月未定: 発光型・非発光型ディスプレイ合同
- 2月休会 3月休会

電子デバイス研究会 (ED)

- 4月東北 (東北大): TFT (有機, 酸化物), 一般
- 5月東海: 結晶成長, 評価及びデバイス (化合物, Si, SiGe, 電子・光材料) 6月休会
- 7月北陸: 半導体プロセス・デバイス (表面, 界面, 信頼性),

一般 8月休会 9月休会  
10月関西：電子管と真空ナノエレクトロニクス及びその評価技術 11月未定：窒化物及び混晶半導体デバイス  
12月東北（東北大）：ミリ波・テラヘルツ波デバイス・システム  
1月15日（水）～17日（金）東京（機械振興会館）：化合物半導体デバイス及び超高周波デバイス／一般  
2月北海道（北大）：機能ナノデバイス及び関連技術 3月休会

#### 電子部品・材料研究会（CPM）

4月休会  
5月東海（静岡大）：結晶成長，評価技術及びデバイス（化合物，Si，SiGe，電子・光材料）  
6月21日（金）東京（機械振興会館）：酸化物エレクトロニクス，有機エレクトロニクス，一般（材料デバイスサマーミーティング）  
7月休会 8月北海道（室蘭工大）：電子部品・材料，一般  
8月北海道（サンリフレ函館）：光部品・電子デバイス実装技術・信頼性，及び一般  
9月東京：光記録技術，一般  
10月信越（新潟大）：薄膜プロセス・材料，一般  
11月九州：LSIシステムの実装・インタフェース技術及びテスト技術（デザインガイア）  
11月関西：窒化物半導体，光・電子デバイス・材料及び関連技術，一般 12月休会  
1月未定：回路技術，高効率エネルギー変換技術，電池技術関連，一般 2月休会 3月休会

#### 電磁界理論研究会（EMT）

4月休会 5月休会 6月未定：電磁界理論一般  
7月北海道（稚内）：光・電波ワークショップ  
8月休会 9月休会 10月休会  
11月未定：電磁界理論シンポジウム 12月休会  
1月関西：フォトリソグラフィ NW・デバイス，フォトリソグラフィ結晶，ファイバとその応用，光集積回路，光導波路素子，光スイッチング，導波路解析，及び一般  
2月休会 3月休会

#### シリコン材料・デバイス研究会（SDM）

4月九州（沖縄）：薄膜機能デバイス・材料・評価技術及び一般  
5月東海（豊橋技科大）：結晶成長，評価及びデバイス（化合物，Si，SiGe，電子・光材料）  
6月東海：ゲート絶縁膜，容量膜，機能膜及びメモリ技術  
7月休会  
8月北陸（金沢）：VLSI回路，デバイス技術（高速，低電圧，低消費電力） 9月休会  
10月東北（東北大）：プロセス科学と新プロセス技術  
11月東京：プロセス・デバイス・回路シミュレーション及び一般  
12月関西（京大）：シリコン関連材料の作製と評価  
1月東京：IEDM特集（先端 CMOS デバイス・プロセス技術）  
2月東京：配線・実装技術と関連材料技術  
2月北海道（北大）：機能ナノデバイス及び関連技術  
3月東京：不揮発メモリと関連技術及び一般

#### マイクロ波研究会（MW）

4月18日（木），19日（金）東京（機械振興会館）：マイクロ波超伝導／マイクロ波一般

5月23日（木），24日（金）関西（龍谷大）：マイクロ波一般  
6月27日（木），28日（金）東海（名工大）：マイクロ波一般  
7月18日（木），19日（金）北海道（稚内総合文化センター）：マイクロ波フォトニクス技術／マイクロ波シミュレータ／マイクロ波一般 8月休会  
9月12日（木），13日（金）東京（NHK 技研）：マイクロ波ミリ波，一般  
10月東北（東北大）：EMC／マイクロ波シミュレータ／マイクロ波一般  
11月21日（木），22日（金）九州（種子島宇宙センター）：マイクロ波一般  
12月19日（木），20日（金）東京（埼玉大）：学生研究会／マイクロ波一般  
1月15日（水）～17日（金）東京（機械振興会館）：化合物半導体 IC 及び超高速・超高周波デバイス／マイクロ波一般  
2月休会  
3月7日（木），8日（金）四国（愛媛大）：マイクロ波一般

#### 集積回路研究会（ICD）

4月東京（つくば）：メモリ技術（DRAM，SRAM，フラッシュ，新規メモリ） 5月休会 6月休会  
7月4日（木），5日（金）北海道（サンリフレ函館）：アナログ，アナデジ混載，RF 及びセンサインタフェース回路  
8月1日，（木），2日（金）北陸（金沢大角間キャンパス）：低電圧／低消費電力技術，新デバイス・回路とその応用  
9月休会  
10月未定：プロセッサ，DSP，画像処理技術及び一般  
11月九州：三次元 LSI 技術，実装技術  
12月関西：学生・若手研究会  
1月未定：アーキテクチャ（プロセッサ，DSP，システム LSI，DVFS） 2月休会 3月休会

#### 有機エレクトロニクス研究会（OME）

4月九州：薄膜（Si，化合物，有機，フレキシブル）機能デバイス・材料・評価技術  
5月東京：作製・評価技術・一般  
6月21日（金）東京（機械振興会館）：材料デバイスサマーミーティング  
7月信越：有機ナノ材料・構造制御，デバイス応用，一般  
8月休会 9月休会  
10月東京：有機デバイス・センサ，デバイス，一般  
11月東京：光機能性有機材料・デバイス，光非線形現象，一般  
12月関西：有機材料・一般 1月東海：有機材料・一般  
2月休会 3月東京：ポリマー光回路

#### 光エレクトロニクス研究会（OPE）

4月休会  
5月17日（金）東京（機械振興会館）：光波ネットワーク・光アクセスに向けた光波デバイス，光集積回路，一般（OFC 報告）  
6月21日（金）東京（機械振興会館）：アクティブデバイスと集積化技術，一般「材料デバイスサマーミーティング」  
7月18日（木），19日（金）北海道（稚内総合文化センター）：マイクロ波フォトニクス技術，一般「光・電波ワークショップ」  
8月29日（木），30日（金）北海道（サンリフレ函館）：光部品・電子デバイス実装技術，信頼性，一般（OECC 報告）

9月休会

10月24日(木), 25日(金)九州(門司港):超高速伝送・変復調・分散補償技術,超高速光信号処理技術,広帯域光増幅・WDM技術,受光デバイス,高光出力伝送技術,一般(ECOC報告)

11月22日(金)東京(機械振興会館):光機能性有機材料・デバイス,光非線形現象,一般

12月20日(金)東京(機械振興会館):光パッシブコンポーネント(フィルタ,コネクタ,MEMS),光ファイバ,シリコンフォトニクス,一般

1月23日(木),24日(金)関西:フォトニックNW・デバイス,フォトニック結晶,光集積回路,光導波路素子,光スイッチング,導波路解析,マイクロ波・ミリ波フォトニクス,ファイバとその応用,一般

2月27日(木),28日(金)九州(沖縄):光波センシング,光波制御・検出,光計測,ニューロ,光ファイバ,一般

3月休会

レーザ・量子エレクトロニクス研究会(LQE)

4月休会

5月17日(金)北陸:量子光学,非線形光学,超高速現象,レーザ基礎,及び一般

6月21日(金)東京(機械振興会館):量子効果デバイス(光信号処理,LD,光増幅,変調等)と集積化技術,及び一般

7月休会

8月29日(木),30日(金)北海道(函館リフレ):光部品・電子デバイス実装・信頼性,及び一般(OECC報告)

9月休会

10月24日(木),25日(金)九州(門司港):超高速伝送・変復調・分散補償技術,超高速光信号処理技術,広帯域光増幅・WDM技術,受光デバイス,高光出力伝送技術,及び一般(ECOC報告)

11月未定:窒化物半導体光・電子デバイス・材料,及び関連技術,及び一般

12月13日(金)東京(機械振興会館):半導体レーザ関連技術,及び一般

1月23日(木),24日(金)or16日(木),17日(金)関西:フォトニックNW・デバイス,フォトニック結晶・ファイバとその応用,光集積回路,光導波路素子,光スイッチング,導波路解析,マイクロ波・ミリ波フォトニクス,及び一般

2月休会 3月休会

エレクトロニクスシミュレーション研究会(EST)

4月休会

5月10日(金)東京(NTT厚木研究所):シミュレーション技術,一般 6月休会

7月18日(木),19日(金)北海道(稚内総合文化センター):マイクロ波フォトニクス技術,一般

8月休会 9月休会

10月東北(仙台):シミュレーション技術,EMC,一般

11月休会 12月休会

1月関西:フォトニックNW・デバイス,フォトニック結晶,ファイバとその応用,光集積回路,光導波路素子,光スイッチング,導波路解析,一般

2月休会 3月休会

マイクロ波・ミリ波フォトニクス研究会(MWP)

4月東京:未定 5月休会 6月休会

7月18日(木),19日(金)北海道(稚内総合文化センター):マイクロ波フォトニクス技術,一般

8月休会 9月休会 10月東京:未定

11月休会 12月休会

1月23日(木),24日(金)or16日(木),17日(金)関西:フォトニックNW・デバイス,フォトニック結晶,光集積回路,光導波路素子,光スイッチング,導波路解析,マイクロ波・ミリ波フォトニクス,及び一般

2月休会 3月休会

情報・システムソサイエティ

MEとバイオサイバネティクス研究会(MBE)

4月休会 5月北陸(富山県立大):ME,一般

6月北海道(北大):ME,一般

7月四国(徳島大):ME,一般 8月休会

9月信越(新潟大):ME,一般

10月関西(阪電通大):ME,一般

11月東北(東北大):BCI/BMIとその周辺,一般

12月東海(名大):ME,一般

1月九州(佐賀大):ME,一般 2月休会

3月東京(玉川大):ME,一般

ライフインテリジェンスとオフィス情報システム研究会(LOIS)

4月休会

5月16日(木),17日(金)東京:ライフログ活用技術,グループウェアとネットワーク,一般 6月休会

7月18日(木),19日(金)東北:ドキュメントオートメーションとオンサイトデータ活用技術,及び一般 8月休会

9月17日(火),18日(水)中国:マルチメディア通信,マルチメディアシステム,ライフログ活用技術,IP放送/映像伝送,一般 10月休会

11月関西:情報セキュリティ,ライフログ活用技術,ライフインテリジェンス,オフィス情報システム,一般

12月休会

1月16日(木),17日(金)九州:情報通信マネジメント,ライフログ活用技術,オフィス情報システム,一般 2月休会

3月6日(木),7日(金)九州:ライフログ活用技術,オフィスインフォメーションシステム,ライフインテリジェンス,及び一般

画像工学研究会(IE)

4月26日(金)東京:画像処理・符号化及び一般

5月東海(愛知工大):医療画像解析及び映像の符号化と理解

6月休会 7月関西:画像映像処理・システム,一般

8月休会

9月九州(熊本大):マルチメディア通信/システム,ライフログ活用技術,IP放送/映像伝送,メディアセキュリティ,一般

10月東北(弘前市):プロセッサ,DSP,画像処理技術及び一般

11月九州:高精細画像処理・表示及び一般

12月関西(京都工繊大):画像符号化,通信・ストリーム技術,一般 1月休会

2月北海道(北大):ITS画像処理,映像メディア,視覚及び一般

3月九州(別府コンベンションセンター):未定

言語理解とコミュニケーション研究会 (NLC)

4月休会 5月未定：一般 6月休会 7月休会  
8月東京：テキストマイニングシンポジウム 9月休会  
10月休会 11月休会 12月東京：集合知シンポジウム  
1月休会 2月関西：テキストマイニングシンポジウム  
3月休会

コンピュータシステム研究会 (CPSY)

4月東京（首都大東京）：ディペンダブルコンピューティング及び一般 5月休会 6月休会 7月休会  
8月未定：並列・分散・協調処理に関する夏のワークショップ (SWoPP2013) 9月休会 10月休会  
11月8日(金) 中国(広島大)：クラウド、ネットワーク及び一般  
11月九州：デザインガイア2013 12月休会  
1月東京(慶大)：FPGA技術及び一般 2月休会  
3月未定：組込み技術とネットワークに関するワークショップ

コンピューテーション研究会 (COMP)

4月関西(神戸大)：一般 5月北海道(小樽商科大)：一般  
6月関西(奈良女子大)：一般 7月休会 8月休会  
9月中国(鳥取環境大)：一般 10月東海(名工大)：一般  
11月休会 12月九州(沖縄産業支援センター)：一般  
1月休会 2月休会 3月東京(明大)：一般

人工知能と知識処理研究会 (AI)

4月休会 5月休会  
6月東京：AIとグリーンICT及び一般 7月休会  
8月東京：サービス・クラウドにおけるAI応用及び一般  
9月休会 10月休会  
11月九州：コンテキストを意識した知識の利用及び一般  
12月休会 1月休会  
2月関西：言語グリッドと異文化コラボレーション  
3月北海道：社会システムと情報技術

ソフトウェアサイエンス研究会 (SS)

4月休会 5月未定：一般 6月休会  
7月26日(金)、27日(土)未定：一般 8月休会  
9月休会 10月休会 11月未定：一般 12月休会  
1月未定：一般 2月休会 3月未定：一般

データ工学研究会 (DE)

4月休会 5月休会  
6月上旬東京：ビッグデータとスマート社会と一般  
7月休会  
8月上旬北海道：ソーシャルコンピューティングと一般  
9月休会  
10月上旬東京：食メディアとデータ工学と一般  
11月休会  
12月中旬関西：クラウドソーシングと一般  
1月休会 2月休会 3月休会

パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU)

4月休会  
5月東海(愛知工大)：医用画像の計測・認識・理解、少子高齢化社会の課題  
6月10日(月)、11日(火) 東京(NTT)：一人称ビジョン、セ

セキュリティとプライバシーの確保

7月休会 8月休会  
9月2日(月)、3日(火) 中国(鳥取大)：パターン認識・メディア理解のための機械学習及び視覚、ハイリスク作業の支援  
10月東京(幕張メッセ)：大規模データとパターン認識・メディア理解、地球をとらえる 11月休会  
12月5日(木)、6日(金) 東海(三重大)：事象の監視・検出・解析、安全・安心社会の実現  
1月関西：人体・動作の認識と理解、福祉と共生  
2月九州：パターン認識・メディア理解の基礎と境界領域、環境・エネルギーの課題  
3月東京：パターン認識・メディア理解における組み合わせと統合、文化の振興と教育

ディペンダブルコンピューティング研究会 (DC)

4月東京(東工大)：ディペンダブルコンピュータシステムとセキュリティ技術  
5月休会 6月東京：設計/テスト/検証 7月休会  
8月未定：並列/分散/協調とディペンダブルコンピューティング 9月休会  
10月東京：ネットワーク環境でのディペンダビリティ  
11月未定：VLSIの設計/検証/テスト  
12月未定：安全性 1月休会  
2月東京：VLSI設計とテスト  
3月未定：組込み技術とネットワーク

ニューロコンピューティング研究会 (NC)

4月休会 5月休会  
6月九州(琉球大)：機械学習によるバイオデータマイニング、一般  
7月四国(徳島大)：一般 8月休会  
9月信越(新潟大)：一般  
10月九州：ニューロコンピューティングの実装及び人間科学のための解析・モデル化、一般  
11月東北(東北大)：BCI/BMIとその周辺、一般  
12月東海(名大)：ME、一般 1月北海道：ME、一般  
2月休会 3月東京(玉川大)：ME、一般

知能ソフトウェア工学研究会 (KBSE)

4月休会 5月関西(京都)：一般 6月休会  
7月北海道：一般 8月休会 9月九州(沖縄)：一般  
10月休会 11月四国(愛媛)：一般 12月休会  
1月27日(月)、28日(火) 東京(機械振興会館)：一般  
2月休会 3月東京(慶大)：一般

音声研究会 (SP)

4月休会  
5月16日(木)、17日(金) 中国(岡山大)：電気音響、信号処理、音声一般  
6月東海(愛知淑徳大)：未定  
7月未定：認識、理解、対話、一般  
8月休会 9月休会 10月未定：音声・言語・対話、一般  
11月関西(奈良先端大)：合成、生成、韻律、音声一般  
12月東京：第15回音声言語シンポジウム  
1月未定：音声・言語・対話、一般 2月休会  
3月未定：未定

教育工学研究会 (ET)

4月休会  
5月18日(土) 関西(和歌山大):新しいインタラクショ  
ンを取り入れた学習の分析と支援/一般  
6月22日(土) 東海(南山大):教育・学習支援に  
対する新展開/一般  
7月27日(土) 九州(熊本大):e-learning  
新展開/一般  
8月休会  
9月28日(土) 中国(広島大):学習支援シ  
ステムの新展開/一般  
10月19日(土) 北陸(富山大):LMSとe-  
ポートフォリオ/一般  
11月16日(土) 東北(会津大):Internet  
of Thingsと学習支援/一般 12月休会  
1月11日(土) 東京(目白大):スキル教育  
と学習支援環境/一般  
2月休会  
3月8日(土) 四国(高知高専):マルチ  
メディア技術の教育活用/一般

医用画像研究会 (MI)

4月休会  
5月24日(金), 25日(土) 東海(愛知工大):  
医用画像の計測・認識・理解  
6月休会 7月東北(東北大):未定 8月休会  
9月東京(千葉大):未定 10月休会  
11月中国(広島市大):未定 12月休会  
1月24日(木), 25日(金) 九州(那覇  
てんぶす館):未定  
2月休会 3月休会

ソフトウェアインタプライズモデリング研究会 (SWIM)

4月休会  
5月24日(金) 東京(機械振興会館):  
インタプライズモデル化技術, 他 6月休会 7月休会  
8月21日(水) 東北(宮城県立大):  
インタプライズモデル化技術, 他 9月休会 10月休会  
11月29日(金) 東京(東海大高輪校舎):  
インタプライズモデル化技術, 他 12月休会 1月休会  
2月21日(金) 東京(機械振興会館):  
インタプライズモデル化技術, 他 3月休会

リコンフィギャラブルシステム研究会 (RECONF)

4月休会 5月未定:リコンフィギャラブル  
システム, 一般  
6月休会 7月休会 8月休会  
9月未定:リコンフィギャラブルシ  
ステム, 一般  
10月休会  
11月未定:デザインガイア2013-VLSI  
設計の新しい大地—  
12月休会 1月東京(慶大):FPGA  
応用及び一般  
2月休会 3月休会

情報通信システムセキュリティ研究会 (ICSS)

4月休会 5月休会  
6月27日(木), 28日(金) or 20日(木),  
21日(金) 信越(アオーレ長岡):  
ネットワークセキュリティ  
7月未定:一般 8月休会 9月休会 10月休会  
11月未定:一般 12月休会 1月休会 2月休会  
3月東京:一般

情報論的学習理論と機械学習研究会 (IBISML)

4月休会 5月休会 6月未定:機械学習  
一般  
7月休会 8月休会  
9月2日(月), 3日(火) 中国(鳥取大):  
学習とパターン認識・メディア  
信号処理 10月休会  
11月東京:機械学習一般(情報論  
的学習理論ワークショップ  
IBIS2013)  
12月休会 1月休会 2月休会 3月未定:  
機械学習一般

マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究会 (EMM)

4月休会 5月四国(高知市内):一般 6月休会  
7月北海道:セキュリティ, 一般 8月休会  
9月九州(九州東海大):マルチ  
メディア通信, マルチメディア  
システム, ライフログ活用技術,  
IP放送/映像伝送, メディア  
セキュリティ, 一般 10月休会  
11月中国(広島県立大):異種  
メディア融合, コンテンツ処理,  
メディア検索, 電子透かし, 一般 12月休会  
1月東北(東北大):臨場感生成,  
ユニバーサルメディア, デイ  
ジタルエンタテインメント, 一般 2月休会  
3月北陸(北陸先端大金沢サテ  
ライトキャンパス):画質・音質  
評価, 知覚・認知メトリクス,  
人間視聴覚システム, 一般

クラウドネットワークロボット研究会 (CNR)

4月休会  
5月東京(慶大):データ共有を  
利用したシステムとアプリケ  
ーション及び一般  
6月休会 7月関西(大阪):ユー  
ザ参加型の開発及び一般  
8月休会 9月休会 10月休会  
11月東北(東北大):街で動く  
ネットワークサービス及び一般  
12月休会 1月休会  
2月東京:ネットワークを介  
したリソース管理及び一般  
3月休会

サービスコンピューティング研究会 (SC)

4月休会  
5月東京(NII):Webサービス  
及びクラウドの構築・運用・  
管理及び一般 6月休会  
7月東京(NII):Webサービス  
及びクラウドにおけるAI応用  
及び一般 8月休会 9月休会 10月休会  
11月関西(京大):Webサー  
ビス及びクラウドの応用及び  
一般  
12月休会 1月休会 2月休会  
3月東京(NII):Webサー  
ビス及びクラウドの品質・  
セキュリティ・ビジネス  
モデル及び一般

——ヒューマンコミュニケーショングループ——

ヒューマンコミュニケーション基礎研究会 (HCS)

4月休会  
5月下旬九州(沖縄産業支  
援センター):コミュニケーション  
支援及び一般 6月休会 7月休会  
8月下旬未定:言語・非言語  
コミュニケーション及び一般  
9月休会  
10月中旬未定:感情とコ  
ミュニケーション及び一般  
11月休会 12月休会  
1月下旬未定:コミュニケ  
ーションの心理及び一般

2月休会 3月上旬東海（浜松）：HCS ワークショップ

ヒューマン情報処理研究会（HIP）

4月休会

5月九州（沖縄産業支援センター）：コミュニケーション支援、  
ヒューマンコミュニケーション、感覚情報処理一般

6月休会

7月未定：実・バーチャル空間の知覚・認知、感覚情報処理一般

8月休会

9月関西（ATR 京都）：眼球運動と知覚、感覚情報処理一般

10月休会

11月東北（東北大）：マルチモーダル、感性情報処理、視知覚と  
その応用 12月休会 1月休会

2月未定：未定（手、触覚関係） 3月休会

マルチメディア・仮想環境基礎研究会（MVE）

4月休会 5月関西（阪大）：未定

6月25日（火）、26日（水）東京（東大山上会館）：未定

7月休会 8月休会

9月北海道（利尻町交流促進施設どんと）：未定

10月休会 11月休会 12月休会 1月関西：未定

2月休会 3月九州（別府国際コンベンションセンター）：未定

福祉情報工学研究会（WIT）

4月休会 5月休会

6月信越（新潟大）：福祉情報工学と音声 7月休会

8月未定：福祉情報工学一般 9月休会

10月東京：福祉情報工学一般 11月休会

12月東京（産総研臨海センター）：福祉情報工学一般

1月休会 2月休会 3月未定：一般

## 本会発行図書案内

プログラムによる実動作の理解

# Excel で学ぶ組込みシステム要素技術

並木淳治 著

B5 判並製 定価 2,940 円(税込)

日本の産業競争力の基盤となる家電、携帯情報端末等の機器には“組込みソフト”と呼ばれるソフトウェアが実装され、特有のサービスを提供している。その多くは、体系的・継続的な開発よりも“一品開発”的要素が強く、個々の要素技術について洗練されたエレガントな理解力を得ることは難しい。そこで今回、組込み系に必要な代表的要素技術を抽出・網羅し、全て Excel による状態変数解析で実際の動作を理解できる教育プログラムを作成した。各要素技術に関わるパラメータのスライド変化等によって、その本質を理解し、更に具体的な処理内容についても事例で追えるようにした。本書は、組込み系の修士課程程度の学生を対象に書かれているが、難易度からは学部低学年学生や、既に職場で活躍されている技術者の方々にも受入可能な内容となっている。是非、一度手にとり御購読頂きたい。

《内容目次》制御基礎（一次系制御）／高次系制御／最適制御／位相同期／直交原理に基づく第二の制御形／マルコフ過程の定常解／直交変換／暗号化／複雑系／電話網設計／ランダムアクセス／誤り制御／変復調方式／サンプル値系の折返し雑音／回路解析／ラプラス多項式の時間解／付録

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内 振替口座 00120-0-35300

TEL [03] 3433-6691(代) FAX [03] 3433-6659 E-mail: kaiin@ieice.org

正員、学生員等の個人会員の方の注文を承ります。2割引・送本費 500 円 上記番号で御注文下さい。

一般社団法人 電子情報通信学会

## ●…………… 論文特集原稿募集 ……………●

### ——暗号と情報セキュリティ小特集

(英文論文誌 A) 論文募集——

暗号と情報セキュリティ小特集編集委員会

基礎・境界サイエティでは、英文論文誌 IEICE Transactions on Fundamentals において、「暗号と情報セキュリティ小特集」(Special Section on Cryptography and Information Security) を 2014 年 1 月号に掲載する予定で企画しています。

本小特集では、このテーマに関する英文論文を一般に広く募集します。特に、2013 年 1 月下旬に本会情報セキュリティ研究専門委員会が主催する「2013 年暗号と情報セキュリティシンポジウム (SCIS2013)」での発表論文の積極的な御投稿をお願いします。なお、同名同目的の小特集は、1990 年 7 月号、1991 年 8 月号、1993 年から 2012 年の各 1 月号及び 2013 年 1 月号に掲載実績があります。

#### 1. 対象分野

暗号及び情報セキュリティに関する分野、特に新しく発展しつつある研究分野。

#### 2. 論文の投稿規程及びフォーマット

論文の投稿規程は、電子情報通信学会の Web サイト「The Information for Authors」([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_ess.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html)) を御参照下さい。フォーマットは同 Web サイトの 3 章「Manuscript Style Specifications」を御参照下さい。なお、刷り上がりのページ数は、本論文の場合 8 ページ、レターの場合 2 ページを基準とします。

また、「<http://www.ieice.org/eng/ads.html>」にあります二重投稿に関するポリシーを注意深くお読み下さい。

#### 3. 論文の投稿

Web による投稿のみ受け付けます。下記の投稿手順に従って下さい。

1. 電子情報通信学会 Web サイト「[https://review.ieice.org/regist\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist_e.aspx)」を使って投稿して下さい。Type of issue (section)/Category of Transactions では [Special-EA] Cryptography and Information Security を選択して下さい。[Regular-EA] Fundamentals は選択しないで下さい。
2. “Copyright Transfer and Page Charge Agreement” と “Confirmation Sheet of Manuscript” を下記住所へ送付して下さい。送付方法は、郵送、FAX、スキャンし PDF 化したもののメール添付、のいずれの手段でも構いません。これらの書類がないと査読が開始されません。

#### 4. 論文投稿締切日 2013 年 3 月 22 日 (金) 必着

“Copyright Transfer and Page Charge Agreement” と “Confirmation Sheet of Manuscript” がこの期日までに下記送付先 (寺西) に届くようにして下さい。

#### 5. 採否判定通知

著者には 2013 年 8 月中旬頃までに採否判定結果を通知します。なお、論文採録の場合には、掲載別刷代 (別刷 50 部含) をお支払い頂きます。

#### 6. 送付先及び問合せ先

寺西 勇 NEC 情報・ナレッジ研究所 セキュアシステム TG  
〒211-8666 川崎市中原区下沼部 1753 SC 棟 12 階南側 N7

TEL [044] 396-3131, FAX [044] 431-7680

E-mail: [teranisi@ah.jp.nec.com](mailto:teranisi@ah.jp.nec.com)

※問合せはなるべく電子メールにてお願いします。

#### 7. 小特集編集委員会

委員長 田中俊昭 (KDDI 研)

委員 有田正剛 (情報セキュリティ大), 伊豆哲也 (富士通研), 岩田 哲 (名大), 岡本 健 (筑波技大), 桶屋勝幸 (ルネサスエレクトロニクス), 河内亮周 (東工大), 菊池浩明 (東海大), 清本晋作 (KDDI 研), 國廣 昇 (東大), 桑門秀典 (神戸大), 小池正修 (東芝ソリューション), 境 隆一 (阪電通大), 崎山一男 (電通大), 佐々木 悠 (NTT), 四方順司 (横浜国大), 渋谷香士 (ソニー), 手塚 悟 (東京工科大), 時田俊雄 (三菱電機), 中西 透 (岡山山), 花岡悟一郎 (産総研), 花谷嘉一 (東芝), 廣瀬勝一 (福井大), 本間尚文 (東北大), 松尾和人 (神奈川大), 松尾真一郎 (NICT), 松崎なつめ (パナソニック), 宮地充子 (北陸先端大), 安永憲司 (九州先端研), 吉田真紀 (阪大)

幹事 金岡 晃 (筑波大), 寺西 勇 (NEC)

### ——システム数理学と応用小特集

(英文論文誌 A) 論文募集——

システム数理学と応用小特集編集委員会

システム数理学は、数理モデルに基づいた設計、解析、検証、制御のための方法論を研究する分野であり、サイバーフィジカルシステム、人間-機械システム、オープンシステムサイエンス、システムバイオロジーなど、最近注目されている様々なシステムに応用することができます。

そこで、システム数理学とその応用に関して、最新の成果や将来の課題を展望することを目的として、小特集 (平成 26 年 2 月) を企画しました。皆様の積極的な御投稿をお願いします。

#### 1. 対象分野

システム数理学の基礎理論、それに基づいた解析、設計、検証、制御のための方法論、各種応用事例に関する研究成果を期待します。

- (1) システム理論 (ペトリネット, コンカレントシステム, 離散事象システム, ハイブリッドシステム)
- (2) システム設計・検証 (モデル検査, 証明系, スケジューリング, スーパーバイザ制御)
- (3) サイバーフィジカルシステム (組込みシステム, リアルタイムシステム)
- (4) ヒューマンファクタの数理 (人間行動の解析とモデル化, ビジネスプロセス, サービスサイエンス)
- (5) 新しい数理的手法 (オープンシステムサイエンス, システムバイオロジー)
- (6) システム数理的手法の応用・ケーススタディ (マルチカーエレベータ, 生産システム, 交通システム, 企業情報システム)

#### 2. 論文の執筆と取扱い

・通常の英文論文と同一とし、原則として、論文は刷り上がり 8 ページ以内、レターは 2 ページ以内とします。詳細は、「投稿のしおり」[http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_ess.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html) を御参照下さい。

・投稿は電子投稿でのみ受け付けます。登録と投稿は [https://review.ieice.org/regist\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist_e.aspx) で行えます。なお、登録の際、“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”については “[Special-EA] Mathematical Systems Science and its Applications” を選択して下さい。“[Regular-EA]” を選択しないよう御注意願います。また、“Copyright Transfer and Page Charge Agreement” と “Confirmation Sheet of Manuscript Registration” を論文投稿締切日までに下記送付先（ゲストエディタ）まで E-mail, FAX, 郵送のいずれかによりお送り下さい。

橋爪 進 名古屋大学大学院工学研究科化学・生物工学専攻  
〒464-8603 名古屋市中種区不老町  
TEL [052] 789-3594, FAX [052] 789-3267  
E-mail: hashi@nuce.nagoya-u.ac.jp  
郵送の場合には、封筒には「システム数理学と応用小特集」と朱書して下さい。

・本小特集に論文を投稿する場合、著者のうち少なくとも1名は電子情報通信学会の会員である必要があります。ただし、招待論文に関してはこの限りではありません。また、全ての著者が会員であることを推奨致します。入会につきましては下記 URL を参照下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

### 3. 査読後の再提出（条件付採録）

期間が通常の60日以内よりも短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。採録若しくは不採録通知は平成25年10月上旬までにお知らせする予定です。採録論文数が多くなった場合には、一部次号に掲載される可能性があります。なお、論文採録の場合は掲載別刷代が必要となります。

### 4. 論文投稿締切日 平成25年3月31日（日）必着

### 5. 小特集編集委員会

ゲストエディタ：橋爪 進（名大）

編集委員：磯部祥尚（産総研）、太田 淳（愛知県立大）、北村聖一（三菱電機）、田岡智志（広島大）、土屋達弘（阪大）、名嘉村盛和（琉球大）、宮本俊幸（阪大）、山口真悟（山口大）、山崎達志（撰南大）、山根 智（金沢大）

## ——通信技術の革新を担う学生論文特集

（和文論文誌 B）論文募集——

### 通信技術の革新を担う学生論文特集編集委員会

ますます高度化する通信技術の世界で、日本のプレゼンスを継続的に向上させていくには、進取の気概にあふれる若手研究者を育成することが重要です。和文論文誌は、その一助となるべく学生に活躍の場を提供し、次世代を担う若手研究者を涵養するとともに通信分野活性化の契機となるよう学生が執筆した論文の特集号を発行します。本特集は6回目を迎え、これまで5回の学生特集では、多くの投稿を頂いてきました。

対象とする分野は通信技術全般とし、論文の筆頭著者を学生または学生のときの成果に限定し、年度内の発行（2014年2月号）とすることで、研究開発活動をより円滑に継続できることに配慮しています。博士課程学生、修士課程学生、学部生、更には社会人博士課程等の学生の皆様からの積極的な御投稿をお待ちしております。特に、優れた研究成果が得られているものの論文投稿の経験がない方、あるいは少ない方々には、是非、この機会を利用

し論文発表されることを期待致します。

### 1. 対象分野

【通信技術全般】（和文論文誌 B が対象とする全技術分野）

基礎理論、通信デバイス・回路、伝送方式・機器、光ファイバ、光ファイバ伝送、交換、移動体交換方式、ネットワーク、ネットワーク管理・オペレーション、インターネット、無線通信技術、地上無線通信、衛星通信、光無線通信、アンテナ・伝搬、電磁環境・EMC、計測・探査、航行・誘導・制御方式、電子通信エネルギー、端末、マルチメディアシステム、放送システム、総合システム、宇宙利用システム

### 2. 対象論文

大学等に籍を置く学生（大学院生・社会人学生を含む）が筆頭著者である論文に限ります。ただし、投稿時点で大学等を卒業若しくは修了していたとしても、学生の時に行った研究（ただし5年以内）であれば受け付けることとします。

### 3. 論文の執筆と取扱い

・論文の執筆、査読の取扱いは一般論文と同一とします。詳細は、投稿のしおりを御参照下さい。

[http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs\\_mokuji.html](http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html)

・論文は原則として刷り上がり8ページ以内とします。

・査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

### 4. 主なスケジュール

投稿締切日	2013年5月23日（木）厳守
初回判定通知	2013年7月中旬を予定
最終判定通知	2013年10月中旬を予定
発行月	2014年2月号

### 5. 投稿方法

#### (A) 郵送

[https://review.ieice.org/regist\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist_j.aspx) にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

#### (B) 電子投稿

[https://review.ieice.org/regist\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist_j.aspx) にアクセスし、投稿原稿のPDFファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

### 【注意】

登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール（Notification of completion for Temporary Registration）が送信されますので、メール内に記載の URL から「仮登録情報の修正／削除、電子投稿（原稿のアップロード）画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができますので、必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

### 【送付先】

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課  
〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館内  
郵送の場合は、封筒に「学生論文特集」と朱記して下さい。  
FAX [03] 3433-6616 E-mail: wabun-b@ieice.org

### 6. 特集編集委員会

委員長 高橋応明（千葉大）  
幹事 佐波孝彦（千葉工大）  
委員 通信ソサイエティ和文論文誌編集委員

## 7. 連絡先

佐波孝彦 (千葉工業大学情報工学科)  
TEL [047] 478-0532, FAX [047] 478-0549  
E-mail : saba@m.ieice.org

## ——次世代電子機器を支える三次元積層技術と 先端実装の設計・評価技術特集

(和文論文誌 C) 論文募集——

次世代電子機器を支える三次元積層技術と  
先端実装の設計・評価技術特集編集委員会

スマートフォンやタブレット端末などのモバイル機器の普及に伴い、高速・低電力・高帯域幅ロジック／メモリシステムに加えて、高精細小形カメラモジュール、高周波無線通信システム、MEMS 技術を用いた各種センサ、薄形ディスプレイなどが急速に進化しています。次世代の電子機器では更なる利便性が求められ、今後も軽薄短小化、高速動作化、高機能化を可能とする先端実装技術が要求されてきます。

これまで集積回路の高性能化は半導体素子の微細化により達成されてきました。しかし、この高性能化によりチップの消費電力が激増しており、微細化を実現するための加工技術も限界に近づいています。従来の平面に構成された集積回路では、機能ブロック間の長い電気配線を用いてチップ駆動するために膨大な電力を必要とします。この配線負荷を軽減するため、デバイスや回路ブロックを分割して立体的に積層し、シリコン貫通配線 (TSV) で接続する三次元実装技術などに近年非常に大きな期待がかかっています。また、異種デバイスを高密度に実装し、システム全体で高性能化を図るシステムインテグレーション技術にも高い注目が集まり、異分野融合がブレークスルーを創出する鍵になると言われています。

本特集では、次世代の電子機器をけん引する高密度実装技術 (三次元実装にかかわらず、電子部品実装、光回路実装、環境調和型実装、プリンタブルデバイス実装なども含む) とそれらの信頼性を担う先端の設計・解析・評価技術に焦点を置き、この研究分野における研究開発を更に進展させることを目的として、研究成果を集約した特集の企画を行いました。平成 25 年 11 月号の発行を予定していますので、多くの方々の積極的な投稿をお願い致します。

### 1. 対象分野

- ・三次元チップ積層技術
- ・シリコン貫通配線 (Through-Si Via: TSV) 形成技術 (電解／無電解めっき, スパッタ, 絶縁膜形成等)
- ・バンパ形成技術, 低温接合技術, ソルダレス接続技術
- ・ウェーハ薄化技術, CMP 技術
- ・洗浄及びウエットエッチング技術
- ・フラックスレス及び無洗浄ソルダーリング技術
- ・ウェーハ接合技術及びチップ／ウェーハ接合技術
- ・フリップチップ実装技術
- ・アンダーフィル技術及びモールド技術
- ・テンポラリー接合技術 (接着及び剥離技術)
- ・高温はんだ及び鉛フリーはんだ技術
- ・システムインパッケージ技術
- ・ウェーハレベルパッケージ技術
- ・部品内蔵基板技術
- ・シリコン及び有機基板インタポーザ技術

- ・評価及びシミュレーション技術
- ・信頼性解析及び分析技術
- ・実装設計技術
- ・放熱及び水冷技術
- ・材料技術
- ・光回路実装技術
- ・光／電気複合実装技術
- ・フレキシブル／プリントドエレクトロニクス技術
- ・MEMS 実装技術
- ・環境調和型実装技術
- ・受動素子実装技術
- ・LED 実装技術
- ・SiC/GaN 等, パワーデバイス技術
- ・太陽電池等, 環境発電デバイス技術
- ・燃料電池等, バッテリー技術
- ・有機 EL 等, ディスプレイ技術

### 2. 論文投稿締切日 平成 25 年 2 月 28 日 (木) 必着

### 3. 論文投稿方法

投稿は原則、電子投稿とします。 [https://review.ieice.org/regist\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist_j.aspx) にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に電子メール添付 (推奨), FAX, 郵送のいずれかの方法で送付して下さい。

#### 【注意】

登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール (Notification registration completion) が送付されます。メール内に記載の URL にアクセスし、「電子投稿 (ファイルアップロード)」から必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

送付先：一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課  
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内  
FAX [03] 3433-6616 E-mail : wabun-c@ieice.org

### 4. 問合せ先

福島誉史 東北大学未来科学技術共同研究センター (NICHe)  
TEL [022] 795-4119, FAX [022] 795-6907  
E-mail : fukushima@bmi.niche.tohoku.ac.jp

### 5. 特集編集委員会

編集委員長 高橋健司 (東芝)  
編集幹事 福島誉史 (東北大), 久我宣裕 (横浜国大)  
編集委員 井上雅博 (群馬大), 奥洞明彦 (ソニー), 重藤暁津 (物質・材料研究機構), 末益龍夫 (フジクラ), 須藤俊夫 (芝浦工大), 谷元昭 (富士通研), 乃万裕一 (日本 IBM), 橋本薫 (明星大), 畑尾卓也 (住友ベークライト), 畠山友行 (富山県立大), 廣畑賢治 (東芝), 三橋敏郎 (超先端電子技術開発機構), 渡辺直也 (産総研)

## ——大学発マイクロ波論文特集

### (和文論文誌 C) 論文募集——

#### 大学発マイクロ波論文特集編集委員会

近年の携帯電話、無線 LAN などに代表されるワイヤレス情報通信機器の飛躍の普及に伴い、マイクロ波・ミリ波帯におけるデバイス、回路、システム等の技術は急速に進歩し続けております。更には無線電力伝送等の新しいマイクロ波応用分野が拡大しつつあり、将来に向けてより高度な技術が求められています。こうした要求に対して、大学等の教育研究機関による基礎的研究、産業界との共同研究の推進は、技術的貢献のみならず若手技術者の育成などの面でも、この分野の発展に大きく寄与することは言うまでもありません。そこで、和文論文誌 C 分冊では、大学をはじめとする教育機関が主体となって行われた研究、開発成果を集約した「大学発マイクロ波論文特集」(平成 25 年 12 月)の発行を企画致しました。本特集の目的は、教育機関でのマイクロ波・ミリ波技術の基礎研究から応用研究にわたる優れた研究成果を発掘し、それらの成果を、産業界をはじめとする幅広い分野の方々を紹介することとしております。対象分野は、各種回路、アンテナ、通信システム、シミュレーション技術、測定評価技術などマイクロ波・ミリ波技術全般としていますので、教育機関の皆様からの積極的な御投稿を期待しております。

#### 1. 対象分野

マイクロ波・ミリ波技術全般が対象で、トピックスを以下に示しますが、これらに限定するものではありません。

- ・能動回路・受動回路・アンテナ
- ・通信システム
- ・測定評価技術
- ・シミュレーション技術
- ・マイクロ波・ミリ波応用

#### 2. 論文の執筆と取扱い

通常の和文論文誌と同様とし、論文は刷り上がりページ数 8 ページ程度、ショートノートは 2 ページ程度とします。執筆の詳細は、「和文論文誌 C 投稿のしおり」[http://www.ieice.org/jpn/shiori/es\\_mokuji.html](http://www.ieice.org/jpn/shiori/es_mokuji.html) を御参照下さい。なお、査読後の再提出期間(通常は 60 日)を短縮する機会があることをあらかじめ御了承下さい。

#### 3. 論文投稿締切日 平成 25 年 3 月 29 日(金)必着

#### 4. 論文投稿方法

投稿は原則、電子投稿とします。[https://review.ieice.org/regist\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist_j.aspx) にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法で送付して下さい。

#### 【注意】

登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール(Notification registration completion)が送付されます。メール内に記載の URL にアクセスし、「電子投稿(ファイルアップロード)」から必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

送付先：一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課  
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内  
FAX [03] 3433-6616 E-mail: wabun-c@ieice.org

#### 5. 問合せ先

石川 亮 電気通信大学大学院情報理工学研究科情報・通信工学専攻

〒182-8585 調布市調布ヶ丘 1-5-1

TEL [042] 443-5788, FAX [042] 443-5230

E-mail: r.ishikawa@uec.ac.jp

#### 6. 特集編集委員会

委員長 本城和彦(電通大)

幹事 石川 亮(電通大)

編集委員 石崎俊雄(龍谷大)、伊東健治(金沢工大)、加屋野博幸(東芝)、河合 正(兵庫県立大)、久保徳郎(富士通研)、佐藤 圭(NTT ドコモ)、清水隆志(宇都宮大)、津留正臣(三菱電機)、山之内慎吾(NEC)

## ——電磁界理論の進展とその応用小特集

### (英文論文誌 C) 論文募集——

#### 電磁界理論の進展とその応用小特集編集委員会

近年、メタマテリアル、大規模構造の散乱問題、更には光通信システムにおける伝搬解析など、電磁界理論を中心とした応用技術がますます盛んになってきています。電磁界理論研究専門委員会では、電磁界理論の進展とその応用に関する最近の新しい研究成果を総括することを目的として、平成 24 年 11 月 15 日(木)～17 日(土)に熊本県で開催された「電磁界理論シンポジウム」の研究会での発表を中心に、「電磁界理論の進展とその応用」小特集“Special Section on Recent Progress in Electromagnetic Theory and Its Application”(平成 26 年 1 月号)を企画しました。また、本小特集では、これらの関連の国際会議(2012 AP-S and URSI, PIERS 2012, ISAP2012)等での発表成果を発展させた論文も受け付けます。

#### 1. 対象分野

以下に示すような電磁界理論の進展とその応用に関する分野を含め、これ以外の分野も投稿可能です。

電磁界理論(基礎理論)/放射・伝搬/電磁現象/散乱・回折/レーザ断面積/アンテナ理論/リモートセンシング/信号処理/数学的解析理論と応用/周期構造/数値解法理論/計算電磁気学/ランダム媒質・粗面/量子電磁力学/キラル媒質/非線形媒質/メタマテリアル/電磁環境/時間領域解析/生体への電磁波応用/高周波漸近解法/波動情報処理/逆問題・逆散乱/他系との結合理論と解析/光・マイクロ波・ミリ波導波路/非線形問題(電子波・X線導波路含む)

#### 2. 論文の執筆と取扱い

本小特集ではペーパーとブリーフペーパーのみ受け付けます。論文の形式等の執筆の詳細は Information for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_es.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html)) を御参照下さい。ただし、論文誌の掲載ページ数は、ペーパーは 8 ページ以内、ブリーフペーパーは 4 ページ以内(厳守)を原則と致します。なお査読後の再提出期間(通常は 60 日)を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。本小特集への論文投稿については下記に従いくれぐれも間違いのないようお願い致します。

#### 3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため、本小特集では論文の電子投稿を行います。次の手順で、投稿を進めて下さい。

手順 1: 電子投稿 論文の仮登録と論文(図、表を含む)の電子

ファイルを学会の Web ページ ([https://review.ieice.org/regist\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist_e.aspx)) でアップロードして下さい。なお、Web での登録にあたり、“Type of Issue(Section)/Category of Transactions”は、“[Special-EC] Recent Progress in Electromagnetic Theory and Its Application”を選択して下さい。[Regular-EC] を選ばないで下さい。

手順2: 著作権譲渡承諾書の送付 著作権譲渡承諾書 (Copyright Transfer and Page Charge Agreement) と仮登録確認用紙 (Confirmation Sheet of Manuscript Registration) を下記まで電子メール添付, FAX, または郵送のいずれかの方法で送付して下さい。

4. 論文投稿締切日 平成 25 年 4 月 5 日 (金) 必着

5. 送付先及び問合せ先

安藤芳晃 電気通信大学大学院情報理工学研究科情報・通信工学専攻

〒182-8585 調布市調布ヶ丘 1-5-1

TEL & FAX [042] 443-5160

E-mail: y-ando@uec.ac.jp

6. 小特集編集委員会

Guest Editors-in-Chief (2 名)

西本昌彦 (熊本大), 白井 宏 (中央大)

Secretaries (2 名)

安藤芳晃 (電通大), 平山浩一 (北見工大)

Guest Associate Editors (15 名)

稲沢良夫 (三菱電機), 上田哲也 (京都工繊大), 大久保 寛 (首都大東京), 大貫進一郎 (日大), 柏 達也 (北見工大), 木寺正平 (電通大), 黒田道子 (東京工科大), 佐藤亮一 (新潟大), 田中雅宏 (岐阜大), 中嶋徳正 (福岡工大), 平野拓一 (東工大), 藤崎清孝 (九大), 森本健志 (近畿大), 横田光広 (宮崎大), 渡辺仰基 (福岡工大)

7. 付記

\*本小特集は、該当分野の海外キーパーソン 50 名に送付される予定です。

\*投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 (<<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>>)

### 複製される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌掲載著作物の複製に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複製を御希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし、企業等法人による社内利用目的の複製については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター((社)学術著作権協会が社内利用目的の複製に関する権利を再委託している団体)と包括複製許諾契約を締結している場合にあつては、その必要はございません。(社外頒布目的の複製については、許諾が必要です。)

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル 3F FAX [03] 3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

複製以外の許諾 (著作物の引用, 転載, 翻訳等) に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

### Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

Please obtain permission from the following Japan Reproduction Rights Center (JRRC) to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction.

Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

→Users in countries and regions where there is a local RRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

Website <http://www.jaacc.jp/> E-mail: info@jaacc.jp Fax: +81-33475-5619

論文特集論文募集カレンダー

◎基礎・境界ソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
情報理論とその応用小特集	・25年2月8日(金) ・英文誌 A 25年12月号	野村 亮：専修大学ネットワーク情報学部 TEL [044] 911-1261, FAX [044] 900-7813 E-mail: nomu@senshu-u.jp	10月号	A 分冊 10～12月号 EA 分冊 10～12月号
VLSI 設計と CAD アルゴリズム小特集	・25年3月14日(木) ・英文誌 A 25年12月号	瀬戸謙修：東京都市大学工学部電気電子工学科 TEL [03] 5707-0104 (2801), FAX [03] 5707-1229 E-mail: kseto@tcu.ac.jp	10月号	A 分冊 10～12月号 EA 分冊 10～12月号
Special Section on Recent Progress in Nonlinear Theory and Its Applications	・25年1月10日(木) ・NOLTA 25年10月号	Hiroo Sekiya：Graduate School of Advanced Integration Science, Chiba University FAX [043] 290-3258 E-mail: sekiya@faculty.chiba-u.jp	11月号	
スマート通信・マルチメディアシステム小特集	・25年1月25日(金) ・英文誌 A 25年11月号	吉澤真吾：北見工業大学工学部電気電子工学科 TEL [0157] 26-9284, FAX [0157] 26-9284 E-mail: yosizawa@mail.kitami-it.ac.jp	11月号	A 分冊 11～1月号 EA 分冊 11～1月号
バイオメトリクス小特集	・25年3月12日(火) ・和文誌 A 25年12月号	伊藤康一：東北大学大学院情報科学研究科 TEL [022] 795-7169, FAX [022] 263-9308 E-mail: ito@aoki.ecei.tohoku.ac.jp	12月号	A 分冊 12～2月号
暗号と情報セキュリティ小特集	・25年3月22日(金) ・英文誌 A 26年1月号	寺西 勇：日本電気(株)情報・ナレッジ研究所セキュアシステム TG TEL [044] 396-3131, FAX [044] 431-7680 E-mail: teranisi@ah.jp.nec.com	1月号	A 分冊 1～3月号 EA 分冊 1～3月号
システム数理学と応用小特集	・25年3月31日(日) ・英文誌 A 26年2月号	橋爪 進：名古屋大学大学院工学研究科化学・生物工学専攻 TEL [052] 789-3594, FAX [052] 789-3267 E-mail: hashi@nuce.nagoya-u.ac.jp	1月号	A 分冊 1～3月号 EA 分冊 1～3月号

◎通信ソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
ワイヤレスシステムを支える技術を融合するアンテナ・伝搬技術論文特集	・25年1月7日(月) ・和文誌 B 25年9月号	笹森崇行：秋田県立大学システム科学技術学部 TEL [0184] 27-2103, FAX [0184] 27-2212 E-mail: sasa@akita-pu.ac.jp	8月号	B 分冊 8～10月号
ヒト・モノ・データをつなげるインターネットアーキテクチャ特集	・25年1月31日(木) ・和文誌 B 25年10月号	山井成良：岡山大学情報統括センター TEL [086] 251-7238, FAX [086] 251-7244 E-mail: yamai@cc.okayama-u.ac.jp	9月号	B 分冊 9～11月号
ISAP2012 関連最先端アンテナ・伝搬技術小特集	・25年1月21日(月) ・英文誌 B 25年10月号	広川二郎：東京工業大学大学院電気電子工学専攻 TEL [03] 5734-2567, FAX [03] 5734-2901 E-mail: ap_ac-isap2012ss@mail.ieice.org	10月号	B 分冊 10～12月号 EB 分冊 10～12月号
光応用電磁界計測技術の最新動向小特集	・25年6月10日(月) ・和文誌 B 26年3月号	大西輝夫：(株)NTT ドコモ先進技術研究所 TEL [046] 840-6230 E-mail: teruo.onishi@m.ieice.org	11月号	B 分冊 11～1月号
知的環境を実現するセンサネットワークの基盤と応用技術論文特集	・25年3月4日(月) ・和文誌 B 25年12月号	内田大誠：日本電信電話(株)未来ねっと研究所 TEL [046] 859-2369, FAX [046] 855-1497 E-mail: an-usn-2013@mail.ieice.org	12月号	B 分冊 12～2月号
情報通信分野における新しい情報ネットワーク科学の展開小特集	・25年3月15日(金) ・英文誌 B 25年11月号	井上 武：(独)科学技術振興機構 ERATO 湊離散構造処理系プロジェクト TEL [011] 728-8280, FAX [011] 728-8277 E-mail: netsci-ss@mail.ieice.org	12月号	B 分冊 1～3月号 EB 分冊 12～2月号

サステイナブルな社会の実現に向けたネットワーク・システム技術小特集	・25年3月14日(木) ・英文誌 B 25年12月号	萬代雅希：上智大学理工学部情報理工学科 TEL [03] 3238-3272, FAX [03] 3238-3272 E-mail : ns-ss2013-kanji@mail.ieice.org	12月号	B分冊 1～3月号 EB分冊 12～2月号
通信技術の革新を担う学生論文特集	・25年5月23日(木) ・和文誌 B 26年2月号	佐波孝彦：千葉工業大学情報工学科 TEL [047] 478-0532, FAX [047] 478-0549 E-mail : saba@m.ieice.org	1月号	B分冊 1～3月号

◎エレクトロニクスソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
機構デバイスの最新動向 (IS-EMD2012) 小特集	・25年1月4日(金) ・英文誌 C 25年9月号	久我宣裕：横浜国立大学大学院工学研究院電気電子ネットワークコース TEL [045] 339-4279, FAX [045] 339-1157 E-mail : kuga@ynu.ac.jp	10月号	C分冊 10～12月号 EC分冊 10～12月号
マイクロ波・ミリ波システムのための最新技術小特集	・25年2月15日(金) ・英文誌 C 25年10月号	加屋野博幸：(株)東芝研究開発センター機能材料ラボラトリー TEL [044] 549-2110, FAX [044] 520-1286 E-mail : hiroyuki.kayano@toshiba.co.jp	11月号	C分冊 11～1月号 EC分冊 11～1月号
電子ディスプレイ小特集	・25年2月22日(金) ・英文誌 C 25年11月号	藤田悦昌：シャープ(株)研究開発本部材料・デバイス技術研究所第二研究室 TEL [04] 7135-6215, FAX [04] 7135-6296 E-mail : fujita.yoshimasa@sharp.co.jp	12月号	C分冊 12～2月号 EC分冊 12～2月号
情報ストレージのための最新要素技術小特集	・25年3月25日(月) ・英文誌 C 25年12月号	三浦健司：岩手大学工学部電気電子・情報システム工学科 TEL [019] 621-6458, FAX [019] 621-6458 E-mail : kmiura@iwate-u.ac.jp	12月号	C分冊 12～2月号 EC分冊 12～2月号
次世代電子機器を支える三次元積層技術と先端実装の設計・評価技術特集	・25年2月28日(木) ・和文誌 C 25年11月号	福島誉史：東北大学未来科学技術共同研究センター(NICHe) TEL [022] 795-4119, FAX [022] 795-6907 E-mail : fukushima@bmi.niche.tohoku.ac.jp	1月号	C分冊 1～3月号
大学発マイクロ波論文特集	・25年3月29日(金) ・和文誌 C 25年12月号	石川 亮：電気通信大学大学院情報理工学研究科情報・通信工学専攻 TEL [042] 443-5788, FAX [042] 443-5230 E-mail : r.ishikawa@uec.ac.jp	1月号	C分冊 1～3月号
電磁界理論の進展とその応用小特集	・25年4月5日(金) ・英文誌 C 26年1月号	安藤芳晃：電気通信大学大学院情報理工学研究科情報・通信工学専攻 TEL [042] 443-5160, FAX [042] 443-5160 E-mail : y-ando@uec.ac.jp	1月号	C分冊 1～3月号 EC分冊 1～3月号

◎情報・システムソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
ソフトウェア基礎・応用特集	・25年2月7日(木) ・和文誌 D 25年11月号	岡野浩三：大阪大学大学院情報科学研究科 E-mail : okano@ist.osaka-u.ac.jp	10月号	D分冊 10～12月号
ソフトウェアエージェントとその応用特集	・25年2月10日(日) ・和文誌 D 25年12月号	栗原 聡：大阪大学産業科学研究所 TEL [06] 6879-8427, FAX [06] 6879-8428 E-mail : kurihara@sanken.osaka-u.ac.jp	10月号	D分冊 10～12月号
システム開発論文特集	・25年1月11日(金) ・和文誌 D 25年10月号	山田武士：NTTコミュニケーション科学基礎研究所 TEL [0774] 93-5100, FAX [0774] 93-5105 E-mail : yamada.tak@lab.ntt.co.jp	11月号	D分冊 11～1月号
ヒューマンコミュニケーション特集～価値ある生活環境構築のための情報技術～	・25年3月28日(木) ・和文誌 D 26年1月号	安藤英由樹：大阪大学 TEL [06] 6879-7830 E-mail : hide@ist.osaka-u.ac.jp	12月号	D分冊 12～2月号

# IEICE Communications Express (ComEX)

## 投稿のご案内

IEICE Communications Express 編集委員会

通信ソサイエティでは、2012年6月にWebを用いたオンライン英文レター誌 IEICE Communications Express (ComEX)を創刊致しました。査読付き原著論文のオンラインジャーナルで、下記の特徴を有します。

- Webを用いた論文公開により世界中の読者へ発信可能
- 動画等のマルチメディアコンテンツの掲載が可能
- 迅速な論文公開(目標:投稿受付から約1ヵ月での掲載)

2013年5月31日までに投稿されますと**掲載料が半額になるキャンペーン**を実施しております。この機会に、是非、速報性の高いComEXへの論文投稿を御検討下さい。

○ 対象分野

基礎、光、ネットワーク、無線、無線システム、マルチメディアシステムなど、通信ソサイエティ英文論文誌と同一分野

詳細は、下記 URL をご参照下さい。

<http://www.comex.ieice.org/>

○ 問合せ先

一般社団法人 電子情報通信学会 編集出版部 (comex@ieice.org)

IEICE Communications Express 編集委員会 (2012年10月1日現在)

編集委員長: 菊間信良(名工大)

編集副委員長: 山田寛喜(新潟大), 太田能(神戸大)

編集委員: 大槻知明(慶大), 上山憲昭(NTT), 関口高志(三菱電機), 関屋大雄(千葉大), 関谷勇司(東大), 太郎丸真(福岡大), 長谷川幹雄(東京理科大), 原井洋明(NICT), 萬代雅希(上智大), 藤元美俊(福井大), 松本隆太郎(東工大), 米永一茂(NTT), Jian Yang(清華大)

アドバイザーメンバ(国内):

青山友紀(慶大), 井上友二(トヨタIT開発センター), 酒井善則(放送大), 吉田進(京大)

アドバイザーメンバ(海外):

Vijay K. Bhargava (The University of British Columbia, Canada) ,  
Nevil Brownlee (The University of Auckland, New Zealand) ,  
Serge Fdida (Pierre and Marie Curie University, France) ,  
Lajos Hanzo (University of Southampton, UK) ,  
Jim Kurose (University of Massachusetts, USA) ,  
Kyeong-Sik Min (Korea Maritime University, Korea) ,  
Toshio Morioka (Technical University of Denmark, Denmark) ,  
Theodore S. Rappaport (New York University, USA) ,  
Raymond Wai-Ho Yeung (The Chinese University of Hong Kong, China)



# FIT2013 第12回情報科学技術フォーラム 査読付き論文・一般論文 講演募集予告

会 期：2013年9月4日(水)～6日(金)  
会 場：鳥取大学鳥取キャンパス(鳥取市湖山町南4-101)

FIT2013 Web ページ <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2013/>

査読付き論文受付期間(予定)：2013年3月6日(水)～4月17日(水)  
一般論文 受付期間(予定)：2013年4月24日(水)～5月23日(木)

◆論文ページ数：2～8 ページ程度 ◆講 演 時 間：20分  
◆3 ページ目以降はエクストラページ料金(3,000円/ページ)が必要です

電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ (ISS) 並びにヒューマンコミュニケーショングループ (HCG) と情報処理学会 (IPSJ) とは、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム (FIT: Forum on Information Technology)」を開催しており、2013年9月には第12回目を鳥取大学で開催します。

本フォーラムは、両学会の大会の流れをくむものですが、従来の大会の形式にとらわれずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきております。

また、今回の FIT より一般発表のセッションごとに座長の裁量で優秀な発表を1件選定(該当なしもあり)する「FIT 奨励賞」を創設致しました。

皆様の研究成果発表の場として、標記のとおり論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。

## ●論文誌への道! 「FIT 査読付き論文」論文誌推薦制度 (6～8 ページ程度)

FIT では、情報分野のより一層の活性化を目的として、「FIT 査読付き論文」について優秀な論文を FIT として電子情報通信学会または情報処理学会の論文誌へ推薦する制度がございます。

「FIT 査読付き論文」の申込みと併せて「論文誌への推薦希望」も受け付け致しますので、御希望の方は、Web からの講演申込みの際に「論文誌への推薦希望」欄にチェックを入れて下さい。論文誌へ推薦されるためには、完成度の高い論文であることが求められます。論文誌への推薦可否結果は、2013年6月末頃に推薦を希望された皆様にお知らせする予定です。本制度を利用し是非チャレンジして下さい。

※論文誌掲載の採否は、それぞれの学会の論文誌編集委員会が決定致します。

## ●申込主要日程(予定) ※査読付き論文と一般論文では、登録申込/投稿受付開始時期が異なりますので御注意下さい。

### ■査読付き論文

登録申込/投稿受付開始：2013年3月6日(水)  
登録申込締切/査読用原稿の投稿締切  
：2013年4月17日(水)  
査読の採否結果通知：2013年6月21日(金)  
論文誌への推薦可否結果通知(推薦希望者のみ)  
：2013年6月21日(金)  
最終掲載原稿締切：2013年7月1日(月)

### ■一般論文

登録申込/投稿受付開始：2013年4月24日(水)  
登録申込締切：2013年5月23日(木)  
最終掲載原稿締切：2013年7月1日(月)

※登録申込と原稿投稿は、上記の FIT2013 Web ページよりお願い致します。

※登録申込、原稿投稿要領の詳細は、決定次第 FIT2013 Web ページでお知らせ致します。

## ●査読付き論文 (4～8 ページ程度)

査読付き論文は、FIT 設立に伴い新たに導入された企画です。

査読者や読者に研究内容が十分に伝わるように、最大8ページ程度に制限緩和された論文ページ数を活用して下さい。また、採録された論文の中から、査読会議において各分野の応募総数の5%を上限として優秀な論文を推薦、その中から船井ベストペーパー賞3件程度、FIT 論文賞7件程度を選定し、表彰式(FIT2013会期中)にて表彰致します。船井ベストペーパー賞受賞論文には船井情報科学振興財団より賞金20万円、FIT 論文賞受賞論文には FIT 推進委員会より賞金5万円を贈呈します。皆様、是非ともチャレンジして下さい。

なお、査読付き論文に投稿されて不採録となった場合には、一般論文として扱います(一般論文発表となります)。

※一部の研究分野では査読付き論文の募集を致しません。査読付き論文の募集を行う研究分野については、Web ページを御覧下さい。

## ●一般論文 (2～8 ページ程度)

当該 FIT での発表件数の1.5%を上限として、2013年12月31日現在で33歳未満の講演者(査読付き論文及び一般論文)を対象に優れた発表を選定し、ヤングリサーチャー賞(賞金3万円)として FIT2014 の表彰式で贈呈します。

## ●問い合わせ先 (FIT2013 幹事学会)

〒101-0062 千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
一般社団法人 情報処理学会 事業部門 TEL [03] 3518-8373 FAX [03] 3518-8375 E-mail : jigyo@ipsj.or.jp